
坂東市

男女共同参画に関する住民意識調査報告書

令和4年9月

坂東市

目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| I. 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査の概要 | 3 |
| II. 男女共同参画調査結果概要 | 5 |
| III. 男女共同参画調査結果 | 11 |
| あなたご自身について | 13 |
| 男女平等意識について | 18 |
| 家庭生活について | 33 |
| ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について | 40 |
| 仕事について | 46 |
| 学校教育について | 51 |
| 男女の人権について | 53 |
| 女性の視点に立った防災対策について | 74 |
| 男女共同参画について | 81 |

I . 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 目的

坂東市では、男女共同参画社会の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。本調査は、「第4次ばんどう男女共同参画プラン」の策定にあたり、市民のみなさまのご意見を聞かせていただき、現状と課題を把握して今後の計画策定の参考にしたいと考え、このアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和4年7月22日（金）～ 令和4年8月4日（木）

(3) 調査対象者

坂東市内に在住で、18歳以上の市民1,000人を無作為抽出により選ばせていただき、調査票を郵送いたしました。

(4) 配布数及び回収数

| | 配布数 | 回収数 | 回収率 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|------|--------|------|-------|-------|-------|
| 住民調査 | 1,000件 | 407件 | 40.7% | 406件 | 40.6% |

※白紙回答1件あり

(5) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値は100%にならない場合もあります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一（○は一つ）回答は「合計」、複数（○はいくつでも）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

※横積み上げグラフにおける項目の「0%」は、表記していません。

II. 男女共同参画調査結果概要

あなたご自身について

- 性別については、「女」が58.1%、「男」が41.4%、「どちらでもない」が0.2%となっています。
- 年齢については、「60歳～69歳」が25.4%と最も多く、次いで「40歳～49歳」、「70歳以上」がともに18.0%となっています。
- 職業については、「勤め人（正社員・正職員）」が32.8%と最も多く、次いで「勤め人（パート・アルバイト等）」が19.0%、「無職」が16.7%となっています。
- 家族構成については、「親と子（二世帯）」が49.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ（配偶者のみ）」が22.2%、「親と子と孫（三世帯）」が16.3%となっています。
- 結婚については、「している（事実婚を含む）」が71.9%と最も多く、次いで「していない」が19.2%、「離婚または死別」が8.6%となっています。

男女平等意識について

- 男女共同参画に関する「ことば」や「事柄」の認識度について、「知っている」、「聞いたことがある」の合計が最も多いのは、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」で94.8%、次いで「DV、デートDV」が89.4%、「男女雇用機会均等法」が84.5%となっています。反対に「知らない」が最も多いのは、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」で67.5%、次いで「ダイバーシティ（多様性）」が34.7%、「女性活躍推進法」が33.5%となっています。
- 家庭や職場などの分野で、男女の地位は平等になっていると思うかについては、「男性が優位」、「やや男性が優位」の合計が最も多いのは、「社会全体として見た場合」で83.0%、次いで「政治・政策決定の場」が79.3%、「慣習・しきたり」が68.7%となっています。「平等」が最も多いのは「学校教育（生徒会、部活動等）」で56.4%、次いで「生涯学習（サークル活動等）」が54.9%、「家庭での意思決定」が35.7%となっています。「やや女性が優位」、「女性が優位」はどちらも少なく、1割以下となっています。
- 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、どのようなことが重要だと思うかについては、「男性の家事・育児・介護への積極的な参加」が51.2%と最も多く、次いで「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣、しきたりの改善」が40.6%、「女性の雇用の安定、経済力の向上」が37.9%となっています。

家庭生活について

- 「男は仕事、女は家庭（家事）」という旧来の考え方についてどう思うかについては、「同感しない」が40.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば同感しない」が27.6%、「どちらかといえば同感する」が22.4%となっています。
- 家庭における夫婦の役割分担についてどうあるべきかについては、「夫婦がお互いの意見を尊重し、仕事・家事・育児・介護を分担する。」が65.0%と最も多く、次いで「夫婦がともに職業をもち、家事・育児・介護は平等に分担する」が24.4%となっています。
- 家庭での役割分担については、「妻（母）」が多く、最も多いのは「料理」で76.1%、次いで「洗濯」が70.9%、「掃除」が58.4%となっています。「夫（父）と妻（母）」で最も多

いのは「掃除」で24.6%、次いで「洗濯」が14.3%、「料理」が11.6%となっています。
「夫（父）」、「夫婦（父母）以外の家族」はどちらも1割以下となっています。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

- 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度については、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』のいずれも大切にしたい」が30.3%と最も多く、次いで『仕事』と『家庭生活』を優先したい」が27.6%、『家庭生活』を優先したい」が18.0%となっています。
- 優先度の現状に最も近いものについては、『仕事』と『家庭生活』を優先している」が25.9%と最も多く、次いで『仕事』を優先している」が20.0%、『家庭生活』を優先している」が19.2%となっています。
- 男性が育児休業や介護休業を取得することについて、「育児休業」については、「積極的に取得したほうがよい（46.1%）」、「どちらかといえば取得したほうがよい（38.9%）」合わせて85.0%となっています。「介護休業」については、「積極的に取得したほうがよい（49.8%）」、「どちらかといえば取得したほうがよい（36.5%）」合わせて86.3%となっています。
- 男女が共に、家事、子育て、介護等に参加するために必要なことについては、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」が71.7%と最も多く、次いで「労働時間短縮や育児休業・介護休業制度を充実させること」が51.2%、「家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が29.3%となっています。

仕事について

- 女性の働き方についての考えについては、「出産や子育てで一時的に仕事を辞めても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」が43.8%と最も多く、次いで「意思を尊重したい」が29.1%、「子どもが生まれても、仕事を続ける方がよい」が21.4%となっています。
- 仕事と家庭生活を両立させる上での悩みや問題については、「仕事の負担が大きく体力的・精神的に大変である」が29.6%と最も多く、次いで「家事を十分に行う時間がない」が26.4%、「自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない」が23.6%となっています。また、「特に悩みや問題はない」の回答は29.6%となっています。
- 誰もが働きやすい社会にするために必要だと思うことについては、「育児・介護休業中の賃金など、経済的保障を充実させる」が42.4%と最も多く、次いで「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」が39.2%、「保育施設や介護のための施設・サービスを充実する」が38.7%となっています。

学校教育について

○学校教育のなかで男女平等を進めるための取組みとして、特に力を入れるべきことについては、「男女平等の意識を育てる授業をする」が59.4%と最も多く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」が53.4%、「性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する」が33.5%となっています。

男女の人権について

○DVを受けた経験があるかについては、「ない」が89.2%と最も多く、次いで「ある（あった）」が6.9%となっています。

○あなたが経験したDVはどのようなものかについては、「何回もあった」が最も多いのは、「大声でどなられたり、「ばか、役立たず」などと人格を否定された」で12件、次いで「何を言っても無視された」、「交友関係や電話等を細かく監視された」、「実際に物を投げられたり、叩かれたりした」がともに8件となっています。「1～2回あった」が最も多いのは、「何を言っても無視された」、「物を投げるまねや、叩くまねで脅された」、「実際に物を投げられたり、叩かれたりした」でともに8件、次いで「大声でどなられたり、「ばか、役立たず」などと人格を否定された」が6件となっています。

○DVの被害にあったとき、相談したかについては、「相談しようとは思わなかった」が13件と最も多く、次いで「相談した」、「相談したかったが、できなかった」がともに5件となっています。

○相談相手については、「親・きょうだいなどの親族」が3件と最も多く、次いで「友人・知人」が2件、「医療機関」、「弁護士などの専門家」がともに1件となっています。

○相談しなかった理由については、「誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから」、「相談しても無駄だと思ったから」がともに7件となっています。

○職場や地域、学校でセクシュアル・ハラスメントや立場や権利を利用した嫌がらせを受けた経験もしくは目撃した経験があるかについては、セクシュアル・ハラスメントについては、「経験がある」、「見たり、聞いたりしたことがある」を合わせて最も多いのは、「容姿について不快なことを言われた」で33.7%、次いで「宴会等の席でお酌やデュエットを強要された」が28.6%、「嫌がっているのに性に関する話をされた」が20.9%となっています。パワハラ（パワーハラスメント）については、「経験がある」、「見たり、聞いたりしたことがある」を合わせて最も多いのは、「仲間外れ・無視など人間関係から疎外された」で36.9%、次いで「脅迫や暴言など精神的な攻撃を受けた」が34.0%、「達成不可能な業務を強要された」が22.7%となっています。

○嫌がらせを受けたときに相談した相手については、「家族」が32.9%、「友人、知人」が29.9%となっています。また、「誰（どこ）にも相談はしなかった」の回答は、33.5%となっています。

女性の視点にたった防災対策について

- 防災活動に関して男女共同参画社会の視点をとりいれていく上で、何が重要だと思うかについて、「大変重要だと思う」、「重要だと思う」を合わせて最も多いのは、「妊産婦・乳幼児をもつ女性に対応した避難マニュアルの作成」で83.5%、次いで「女性に配慮した安全・安心な避難所（プライバシー・防犯対策など）」が83.3%、「女性及び子育て世帯のための防災情報の提供」で78.1%となっています。「重要とは思わない」で最も多いのは、「女性消防団員の育成・支援」で26.1%、次いで「地域防災組織の役員やリーダーへの女性の登用」が14.8%となっています。
- 最近1年間に健康診査を受けたかについては、「勤務先で受けた」が38.7%と最も多く、次いで「市の健康診査を受けた」が21.4%、「個人的に医療機関で受けた（人間ドックを含む）」が17.5%となっています。
- 健康診査を受けなかった理由については、「病気で医師の診察を受けていたから」が23.2%と最も多く、次いで「面倒だったから」が17.4%、「健康なので必要ないと思ったから」が15.9%となっています。

男女共同参画について

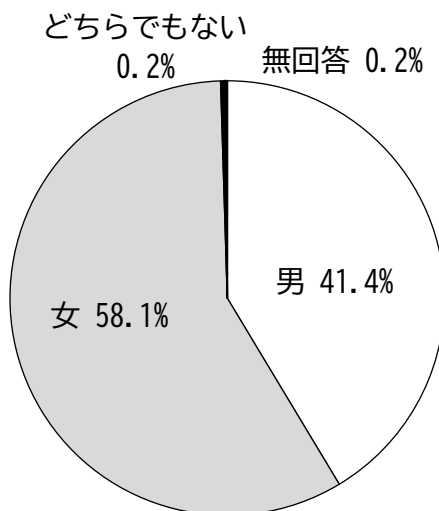
- 女性の意見をより反映させるために、女性の参画を進める必要がある分野だと思われるものについては、「国や地方の議員」が62.6%と最も多く、次いで「企業の管理職」が42.4%、「町内会などの自治会役員」が36.7%となっています。
- 今後、男女共同参画について、坂東市はどのようなことに力を入れていくべきだと思うかについては、「男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する」が44.6%と最も多く、次いで「企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる」が35.7%、「学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる」が30.0%となっています。

Ⅲ. 男女共同参画調査結果

あなたご自身について

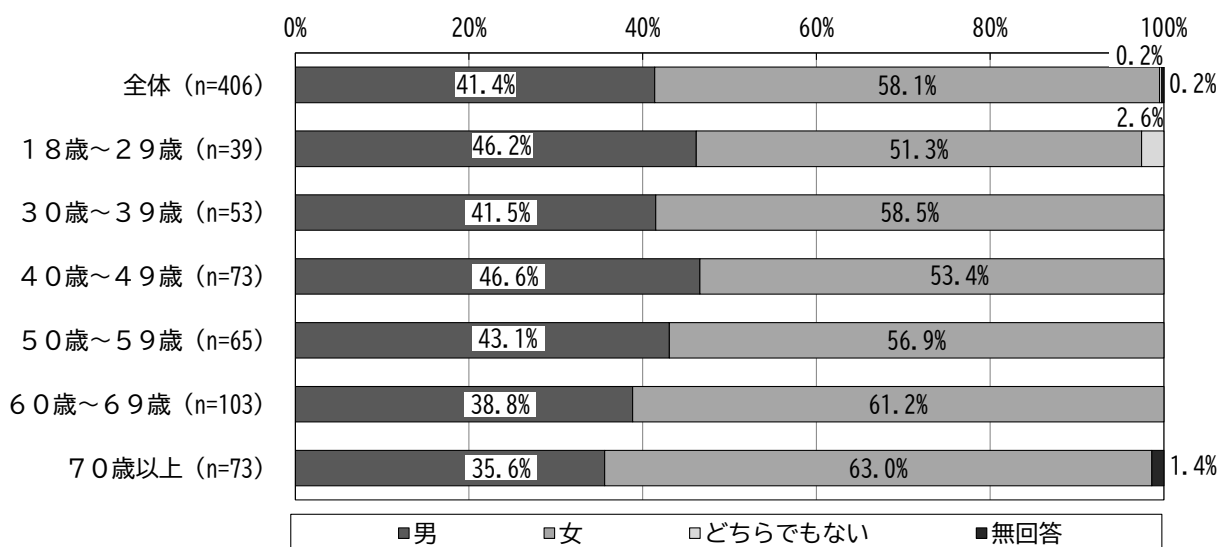
問1 あなたの性別を教えてください。

性別については、「女」が58.1%と最も多く、次いで「男」が41.4%、「どちらでもない」が0.2%となっています。



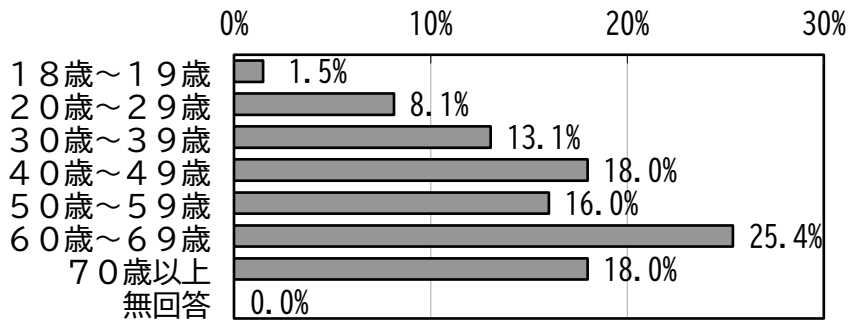
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 男 | 168 | 41.4% |
| 女 | 236 | 58.1% |
| どちらでもない | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【年齢別クロス】



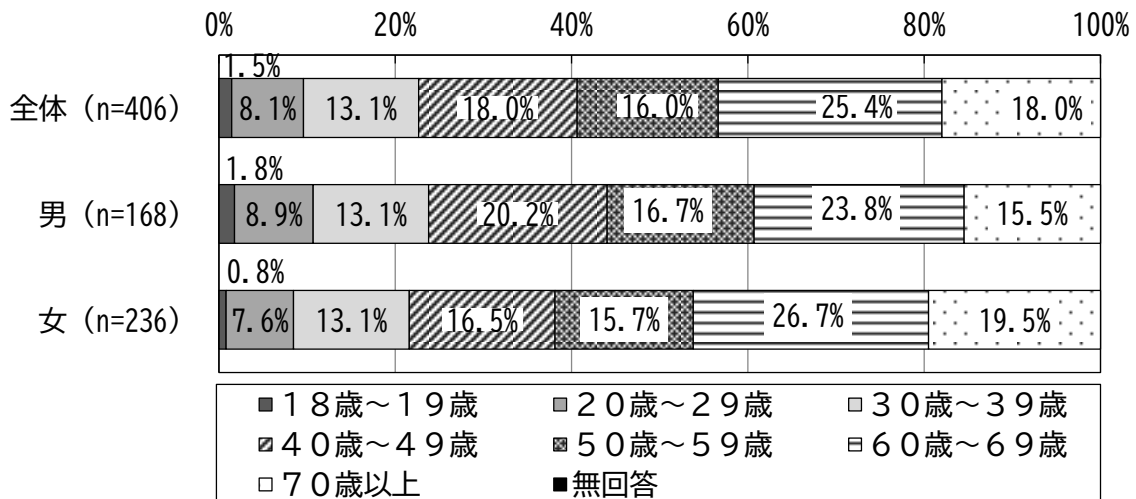
問2 あなたの年齢を教えてください。

年齢については、「60歳～69歳」が25.4%と最も多く、次いで「40歳～49歳」、「70歳以上」がともに18.0%となっています。



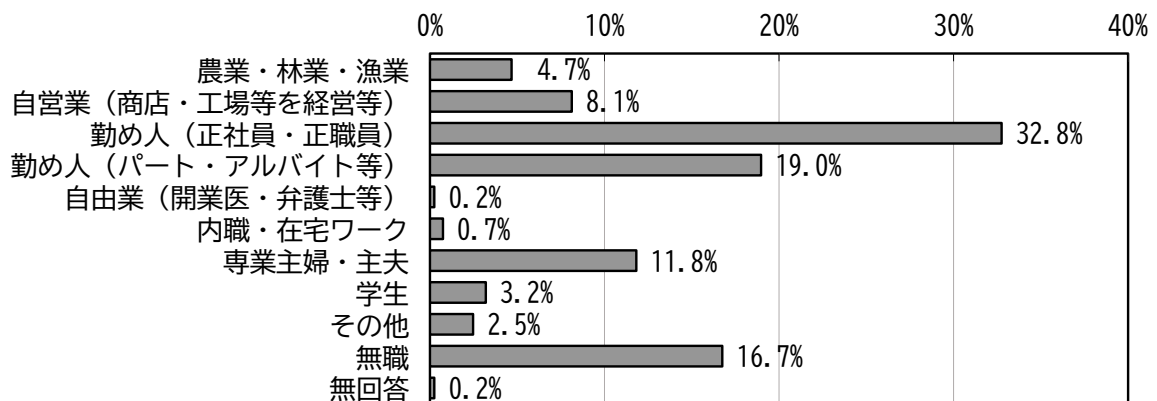
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 18歳～19歳 | 6 | 1.5% |
| 20歳～29歳 | 33 | 8.1% |
| 30歳～39歳 | 53 | 13.1% |
| 40歳～49歳 | 73 | 18.0% |
| 50歳～59歳 | 65 | 16.0% |
| 60歳～69歳 | 103 | 25.4% |
| 70歳以上 | 73 | 18.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別クロス】



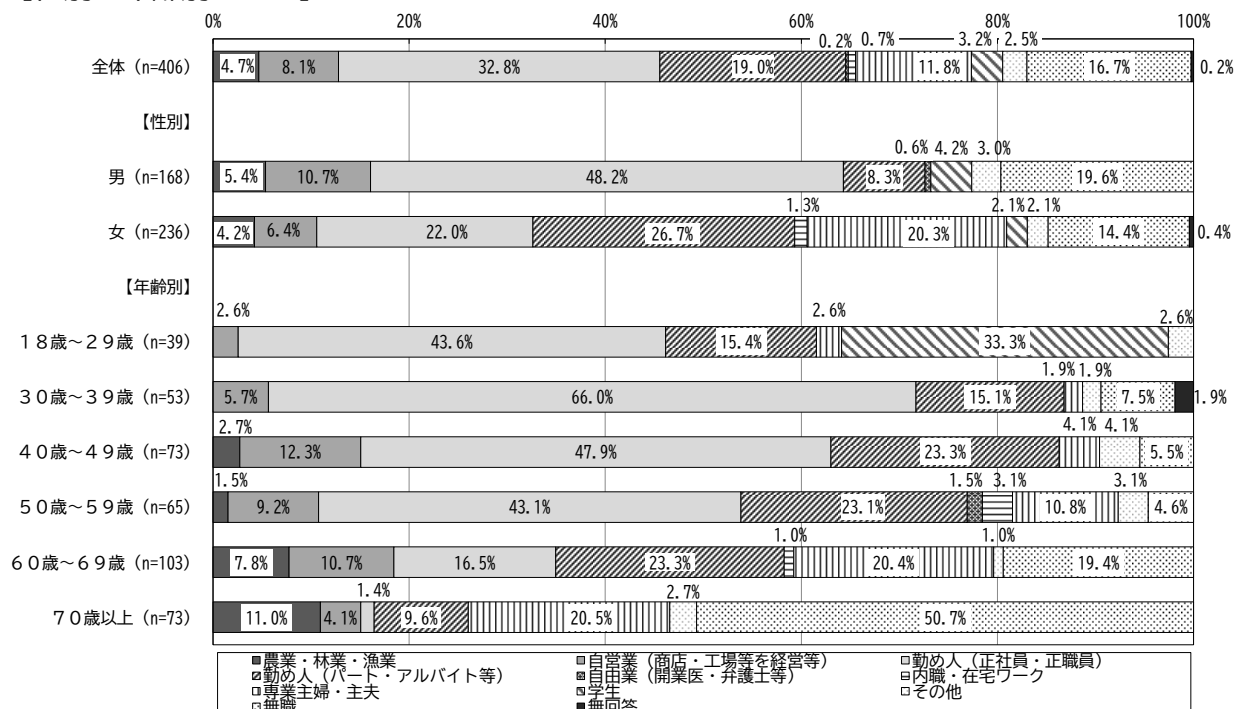
問3 あなたのご職業は次のどれにあたりますか。最も近いものを1つ選んでください。

職業については、「勤め人（正社員・正職員）」が32.8%と最も多く、次いで「勤め人（パート・アルバイト等）」が19.0%、「無職」が16.7%となっています。



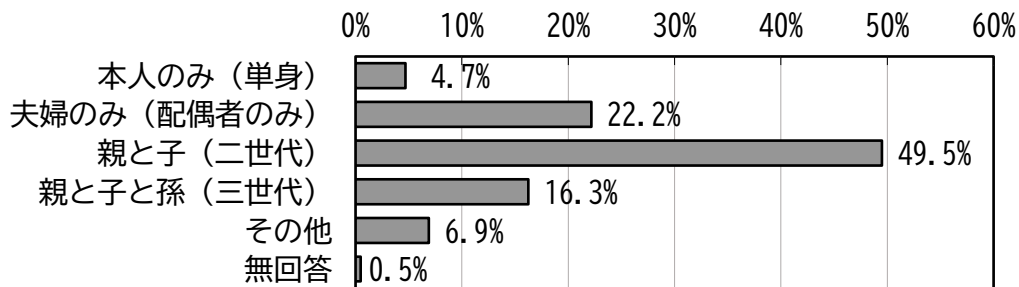
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| 農業・林業・漁業 | 19 | 4.7% |
| 自営業（商店・工場等を経営等） | 33 | 8.1% |
| 勤め人（正社員・正職員） | 133 | 32.8% |
| 勤め人（パート・アルバイト等） | 77 | 19.0% |
| 自由業（開業医・弁護士等） | 1 | 0.2% |
| 内職・在宅ワーク | 3 | 0.7% |
| 専業主婦・主夫 | 48 | 11.8% |
| 学生 | 13 | 3.2% |
| その他 | 10 | 2.5% |
| 無職 | 68 | 16.7% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



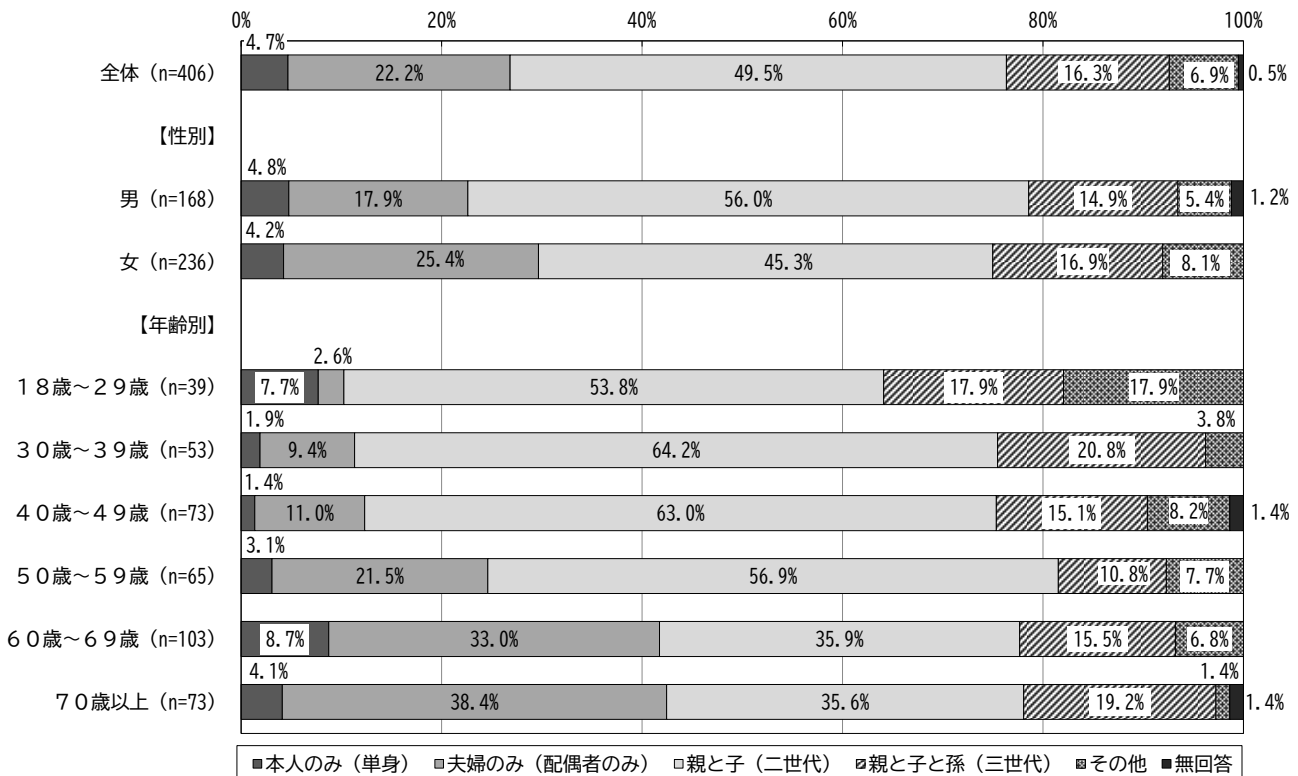
問4 あなたから見て同居しているご家族の構成を教えてください。

家族構成については、「親と子（二世代）」が49.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ（配偶者のみ）」が22.2%、「親と子と孫（三世代）」が16.3%となっています。



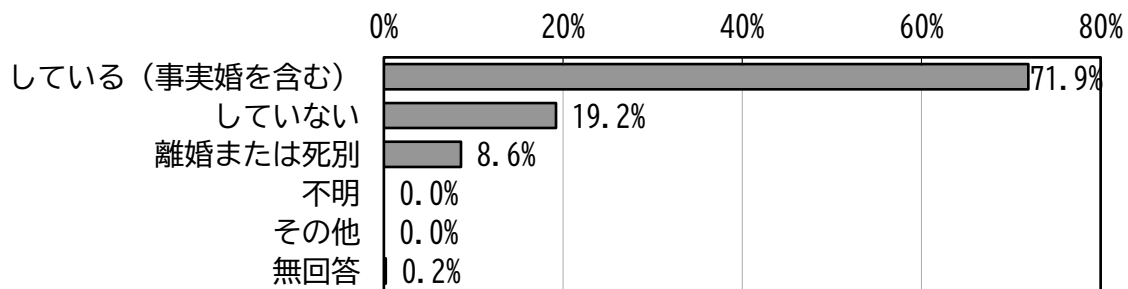
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| 本人のみ (単身) | 19 | 4.7% |
| 夫婦のみ (配偶者のみ) | 90 | 22.2% |
| 親と子 (二世代) | 201 | 49.5% |
| 親と子と孫 (三世代) | 66 | 16.3% |
| その他 | 28 | 6.9% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



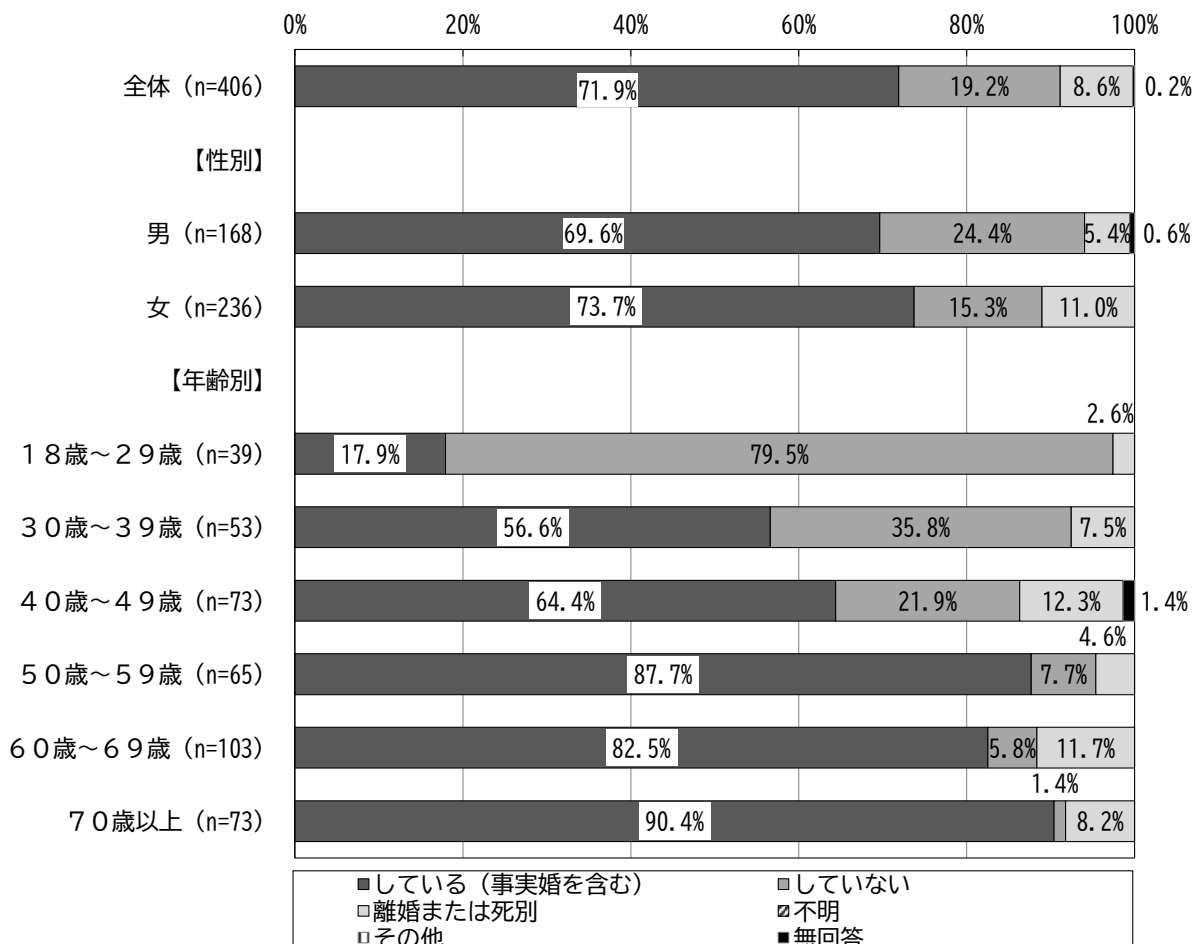
問5 あなたは結婚されていますか。

結婚については、「している（事実婚を含む）」が71.9%と最も多く、次いで「していない」が19.2%、「離婚または死別」が8.6%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| している（事実婚を含む） | 292 | 71.9% |
| していない | 78 | 19.2% |
| 離婚または死別 | 35 | 8.6% |
| 不明 | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】

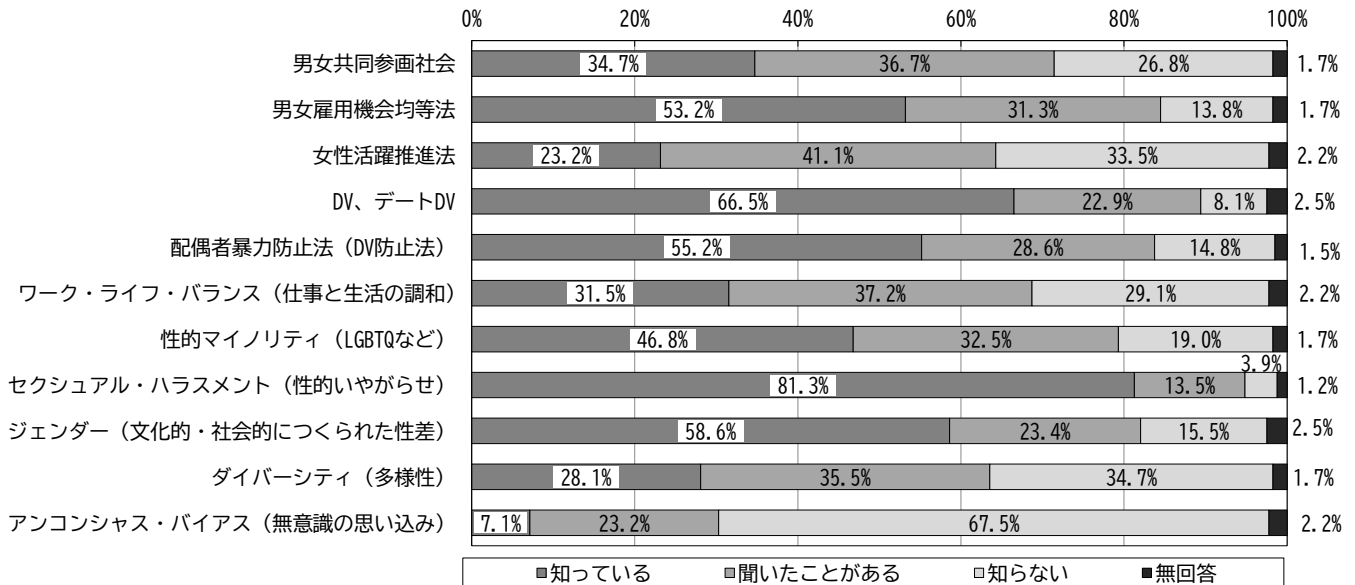


男女平等意識について

問6 男女共同参画に関する次の「ことば」や「事柄」を知っていますか。

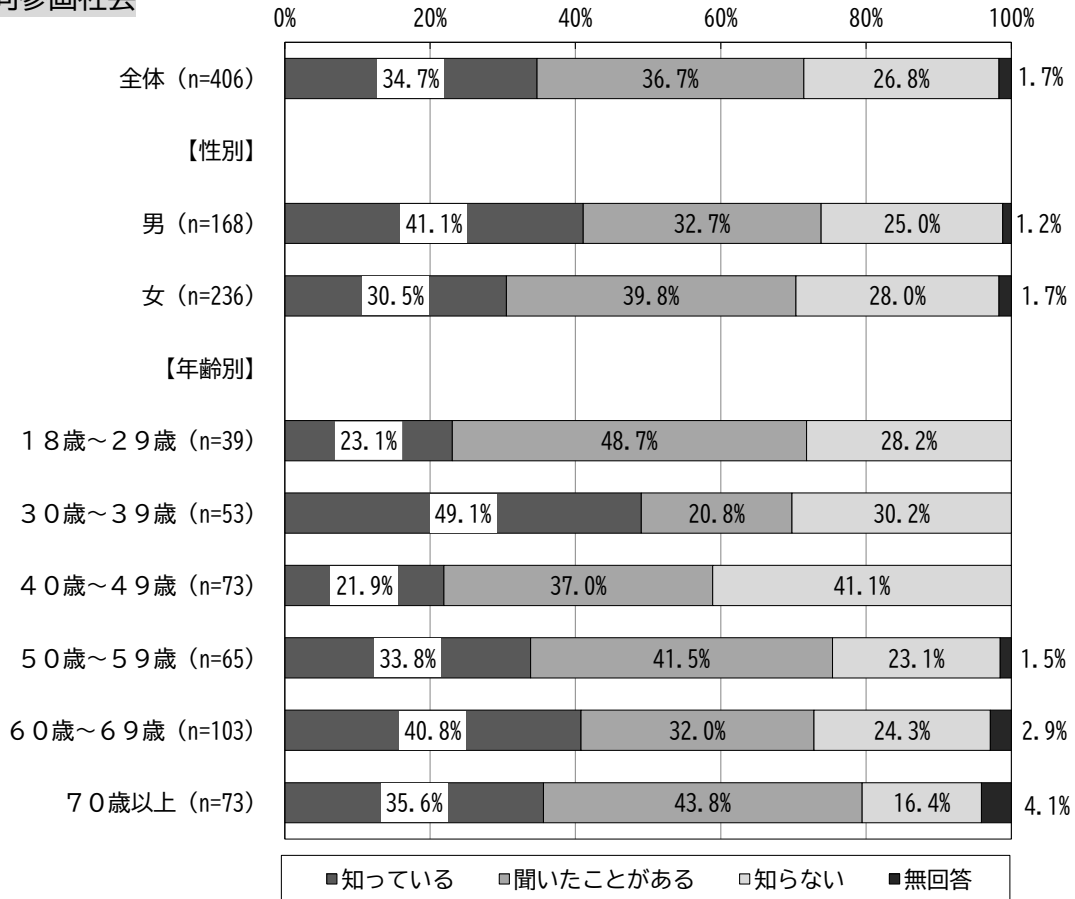
男女共同参画に関する「ことば」や「事柄」の認識度について、「知っている」と回答したのは、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が81.3%で最も多く、次いで「DV、デートDV」が66.5%、「ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）」が58.6%となっています。

「知らない」と回答したのは、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」が67.5%で最も多く、次いで「ダイバーシティ（多様性）」が34.7%、「女性活躍推進法」が33.5%となっています。

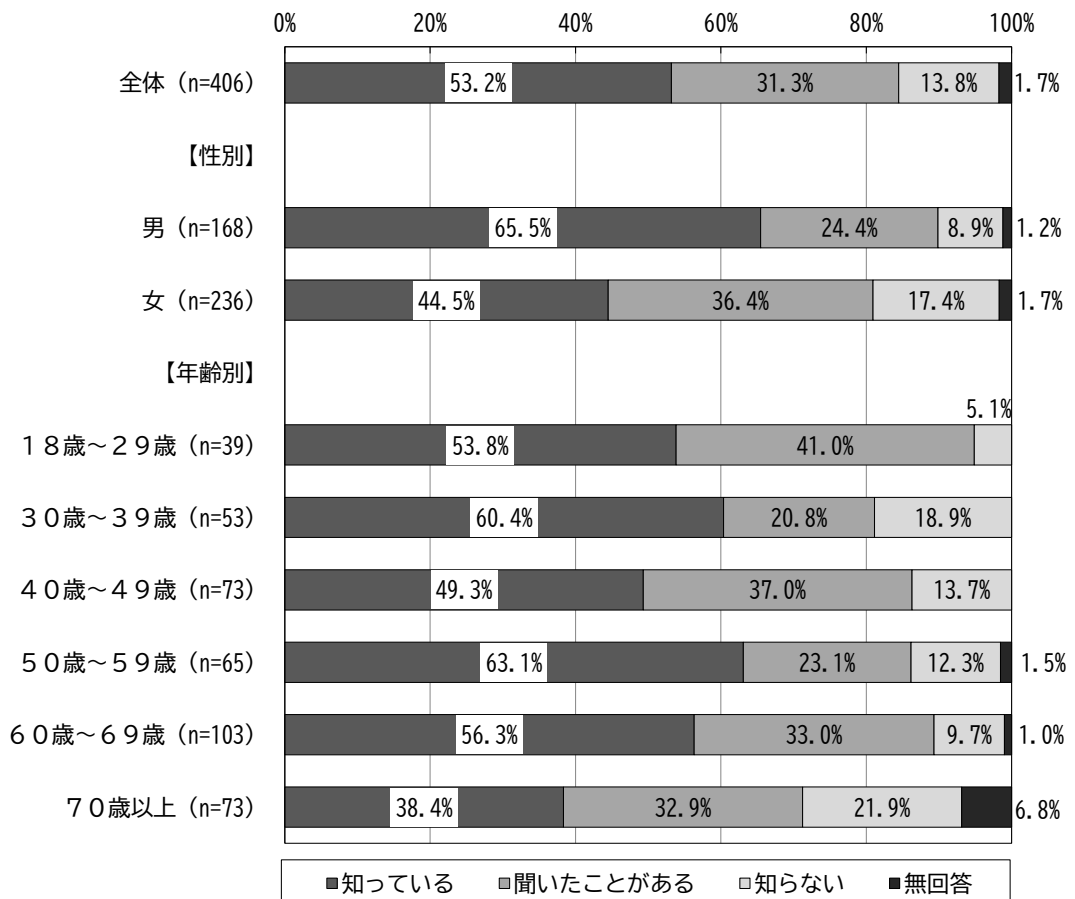


| 項目（度数） | 知っている | 聞いたことがある | 知らない | 無回答 | 回答者数 |
|-------------------------------|-------|----------|-------|------|--------|
| 男女共同参画社会 | 141 | 149 | 109 | 7 | 406 |
| 男女雇用機会均等法 | 216 | 127 | 56 | 7 | 406 |
| 女性活躍推進法 | 94 | 167 | 136 | 9 | 406 |
| DV、デートDV | 270 | 93 | 33 | 10 | 406 |
| 配偶者暴力防止法（DV防止法） | 224 | 116 | 60 | 6 | 406 |
| ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | 128 | 151 | 118 | 9 | 406 |
| 性的マイノリティ（LGBTQなど） | 190 | 132 | 77 | 7 | 406 |
| セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ） | 330 | 55 | 16 | 5 | 406 |
| ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差） | 238 | 95 | 63 | 10 | 406 |
| ダイバーシティ（多様性） | 114 | 144 | 141 | 7 | 406 |
| アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み） | 29 | 94 | 274 | 9 | 406 |
| 項目（構成比） | 知っている | 聞いたことがある | 知らない | 無回答 | 回答者数 |
| 男女共同参画社会（n=406） | 34.7% | 36.7% | 26.8% | 1.7% | 100.0% |
| 男女雇用機会均等法（n=406） | 53.2% | 31.3% | 13.8% | 1.7% | 100.0% |
| 女性活躍推進法（n=406） | 23.2% | 41.1% | 33.5% | 2.2% | 100.0% |
| DV、デートDV（n=406） | 66.5% | 22.9% | 8.1% | 2.5% | 100.0% |
| 配偶者暴力防止法（DV防止法）（n=406） | 55.2% | 28.6% | 14.8% | 1.5% | 100.0% |
| ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）（n=406） | 31.5% | 37.2% | 29.1% | 2.2% | 100.0% |
| 性的マイノリティ（LGBTQなど）（n=406） | 46.8% | 32.5% | 19.0% | 1.7% | 100.0% |
| セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）（n=406） | 81.3% | 13.5% | 3.9% | 1.2% | 100.0% |
| ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）（n=406） | 58.6% | 23.4% | 15.5% | 2.5% | 100.0% |
| ダイバーシティ（多様性）（n=406） | 28.1% | 35.5% | 34.7% | 1.7% | 100.0% |
| アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）（n=406） | 7.1% | 23.2% | 67.5% | 2.2% | 100.0% |

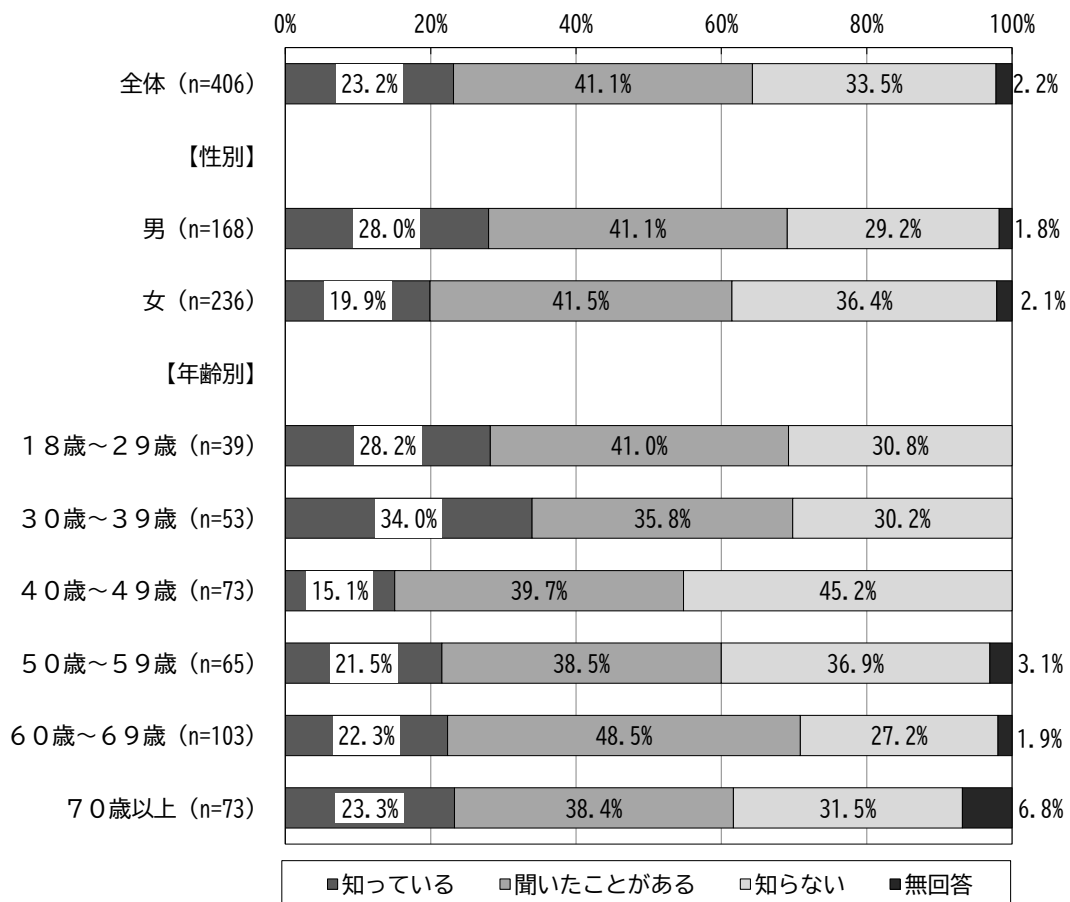
【性別・年齢別クロス】
男女共同参画社会



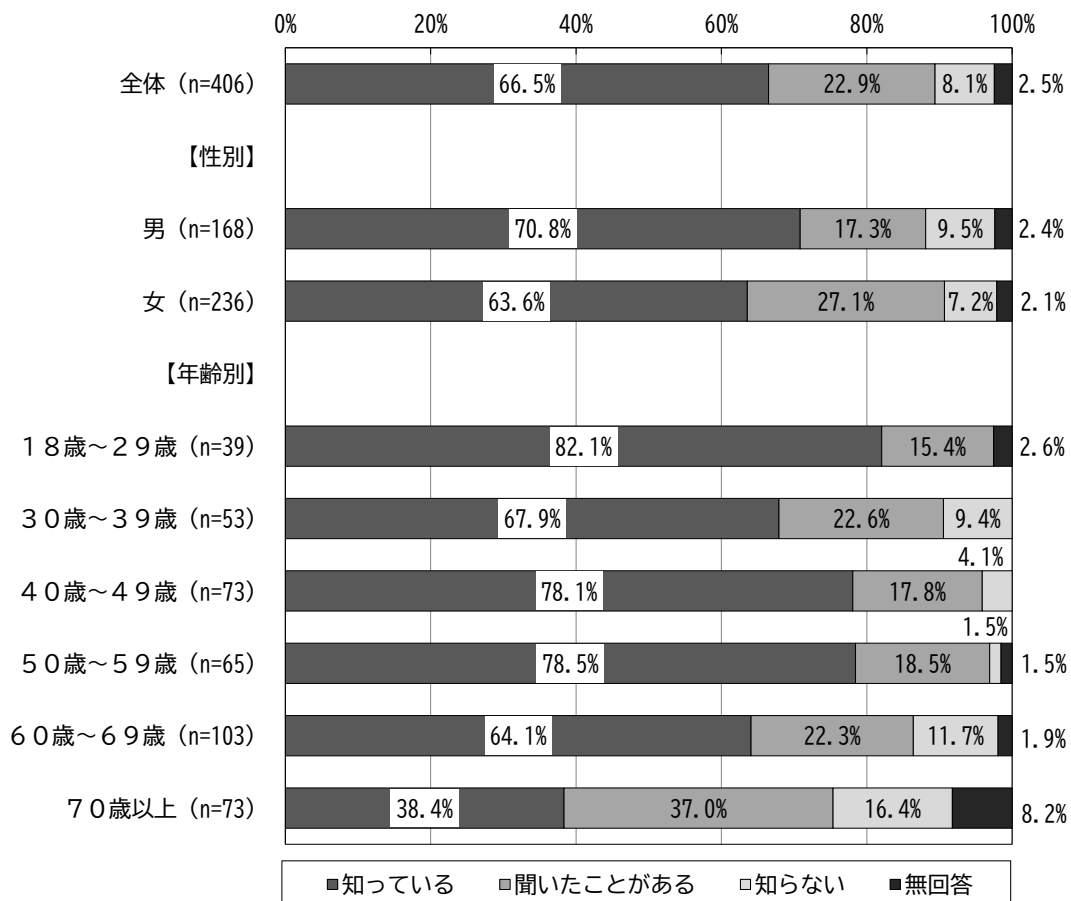
男女雇用機会均等法



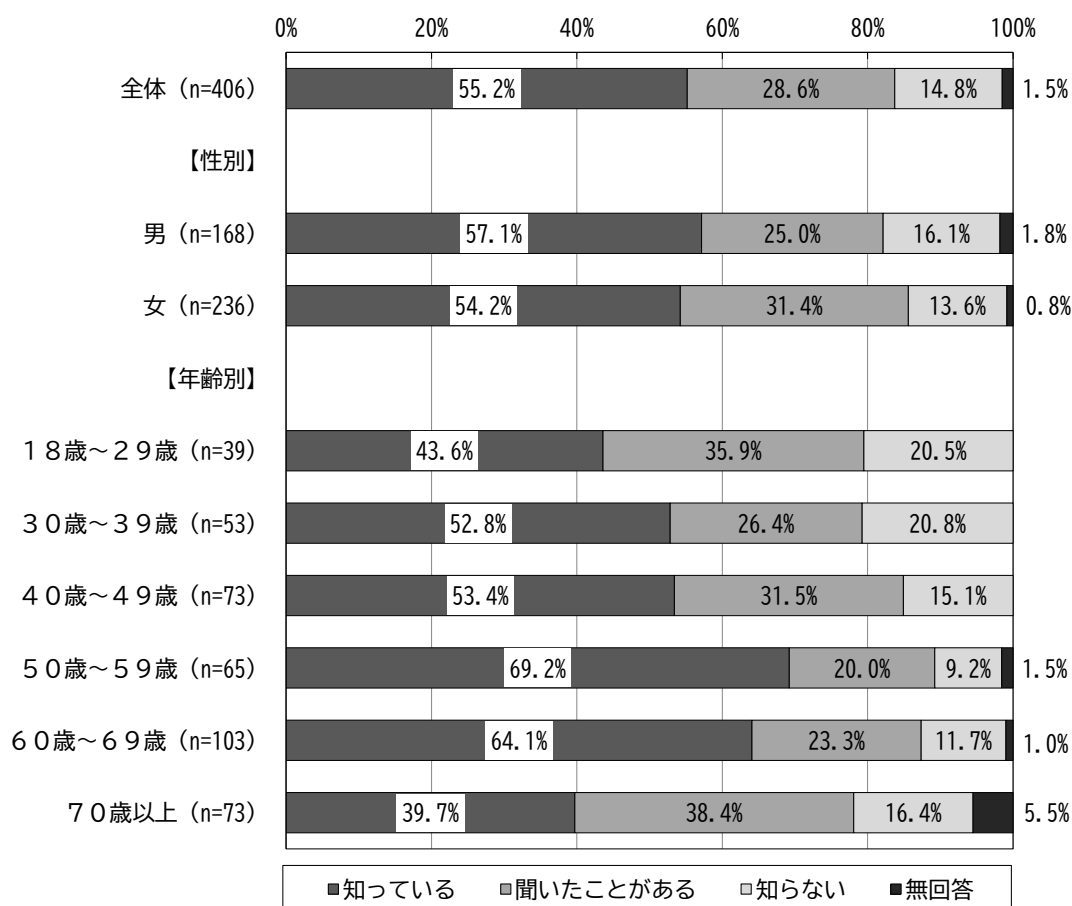
女性活躍推進法



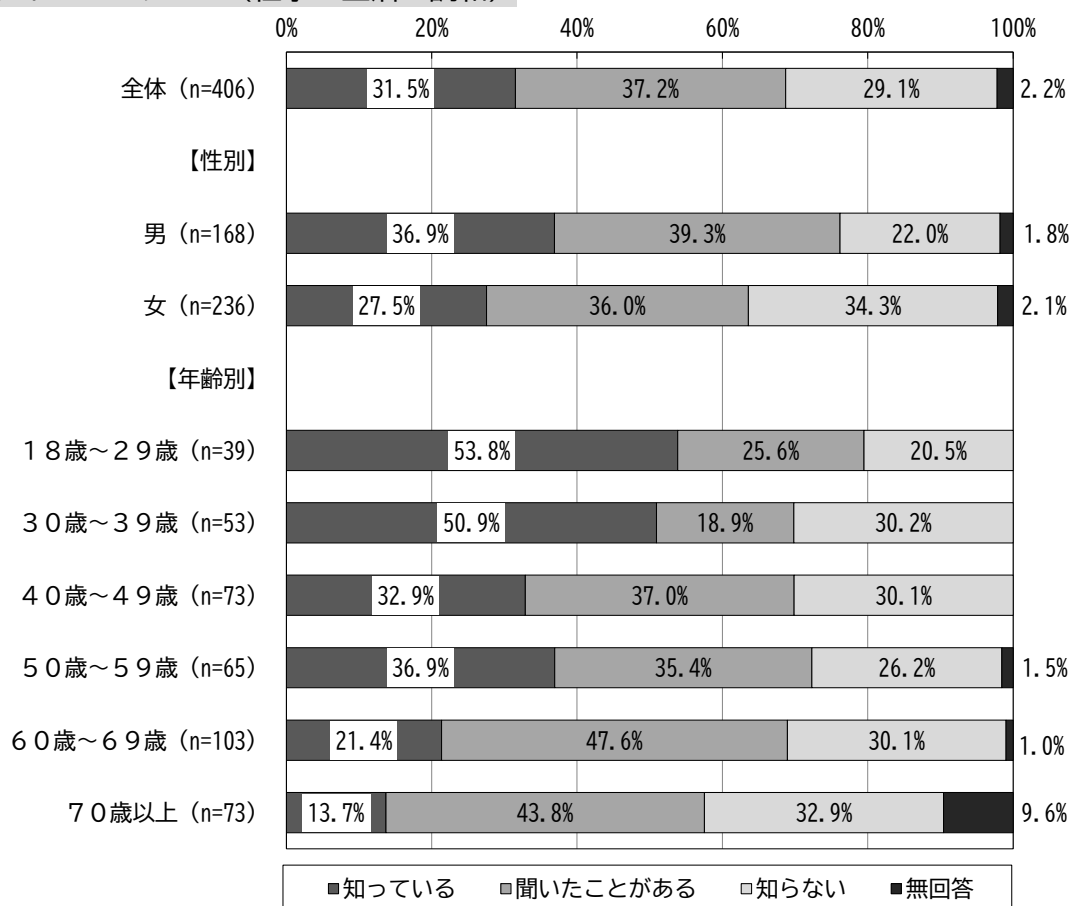
DV、デートDV



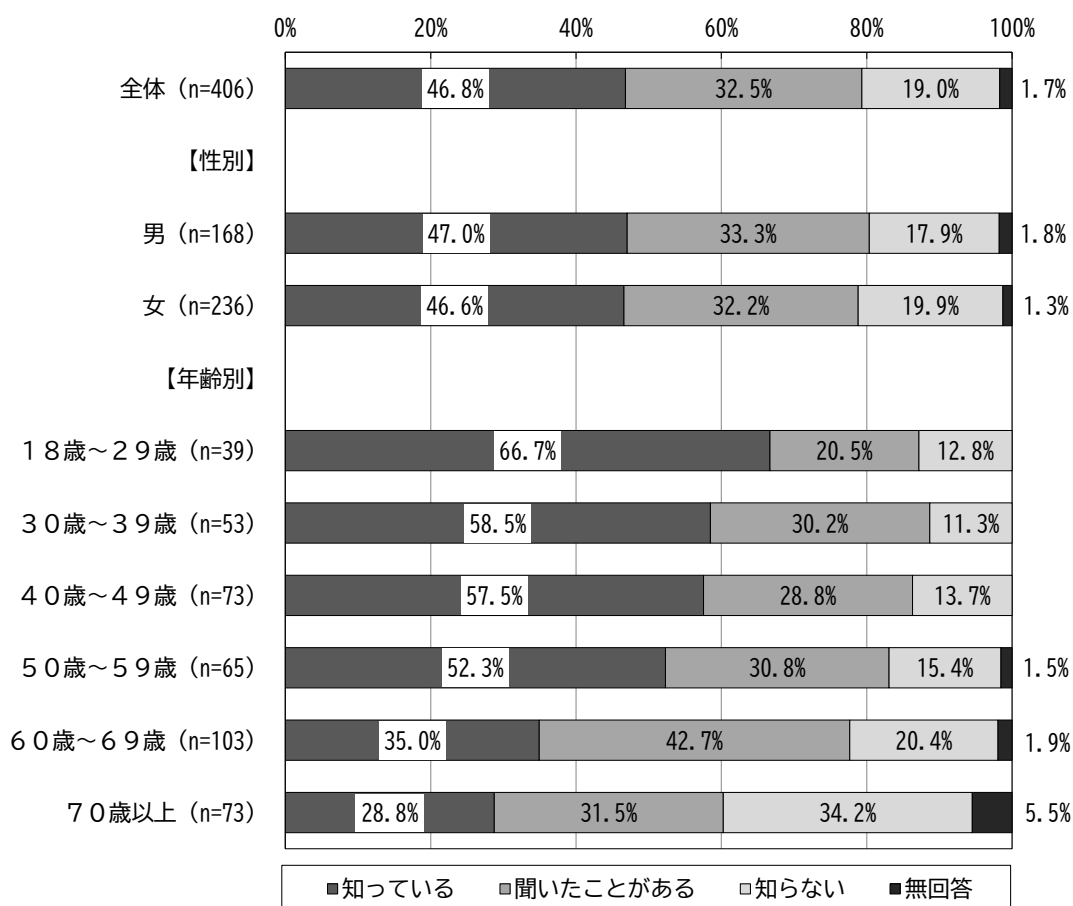
配偶者暴力防止法 (DV 防止法)



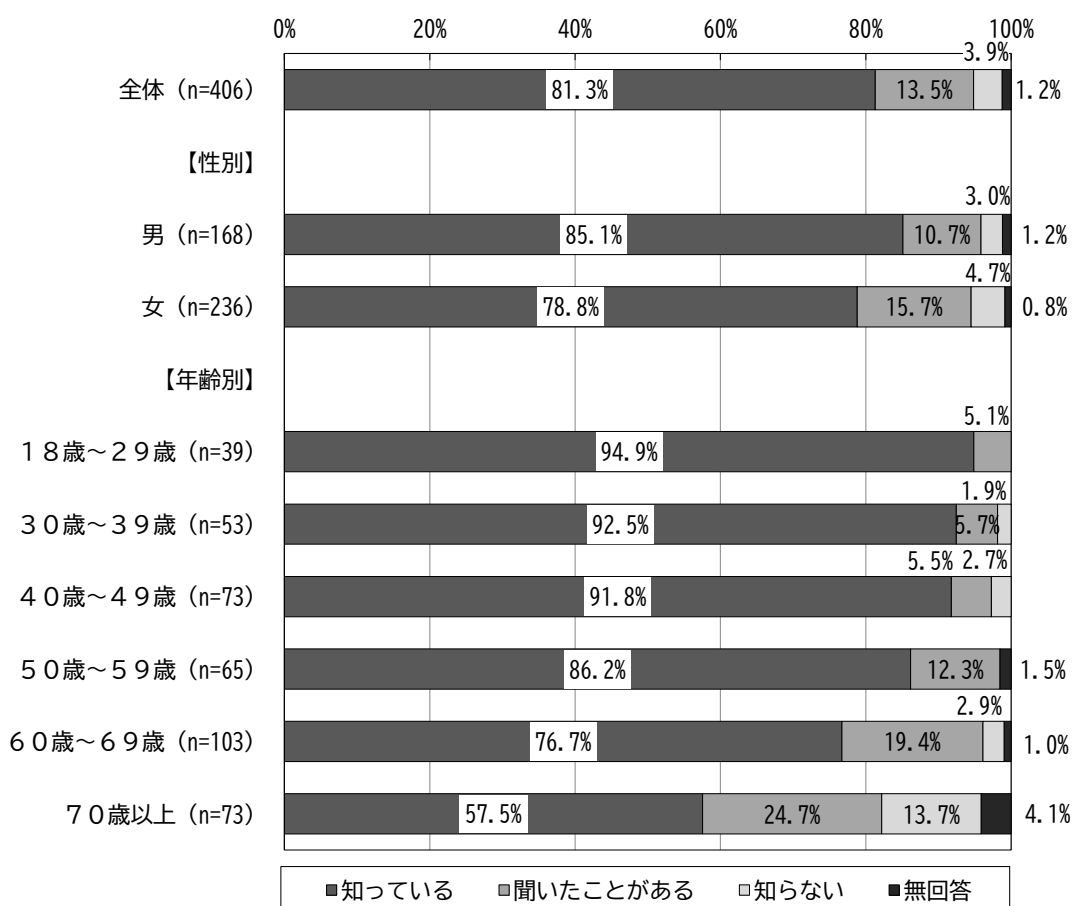
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)



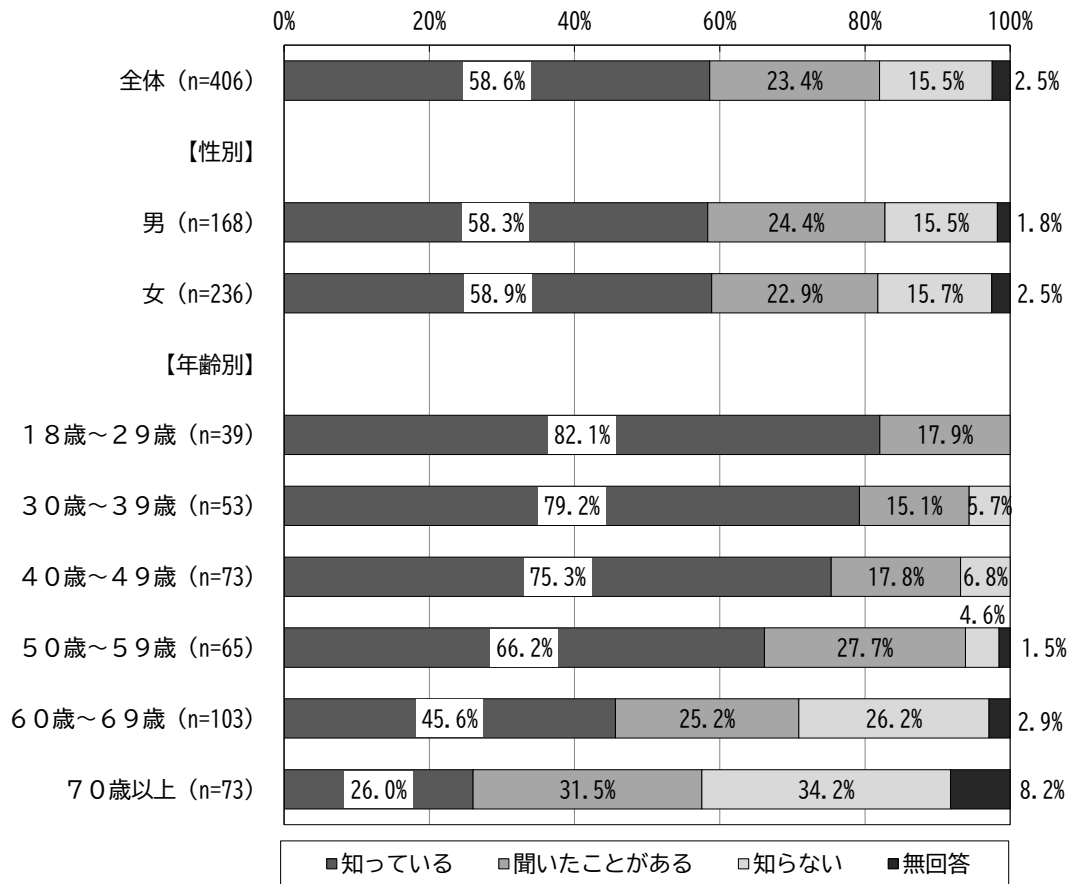
性的マイノリティ (LGBTQ など)



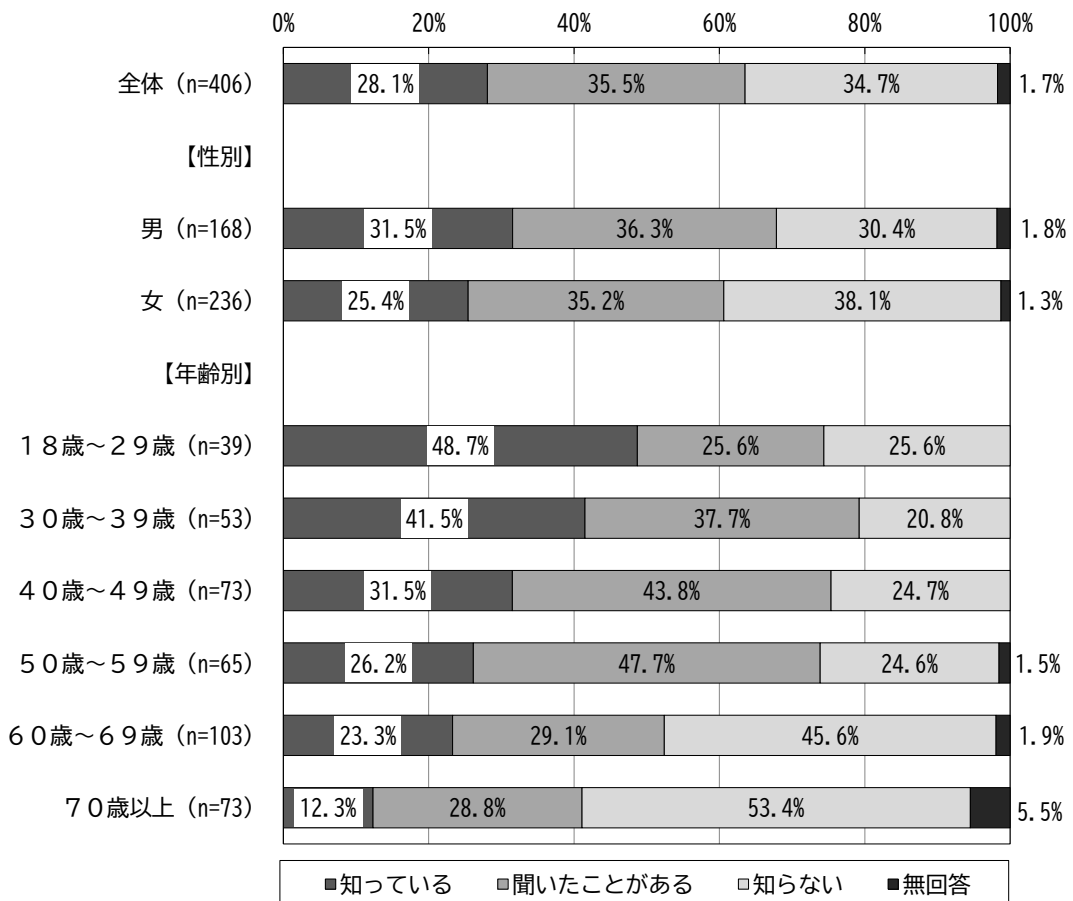
セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)



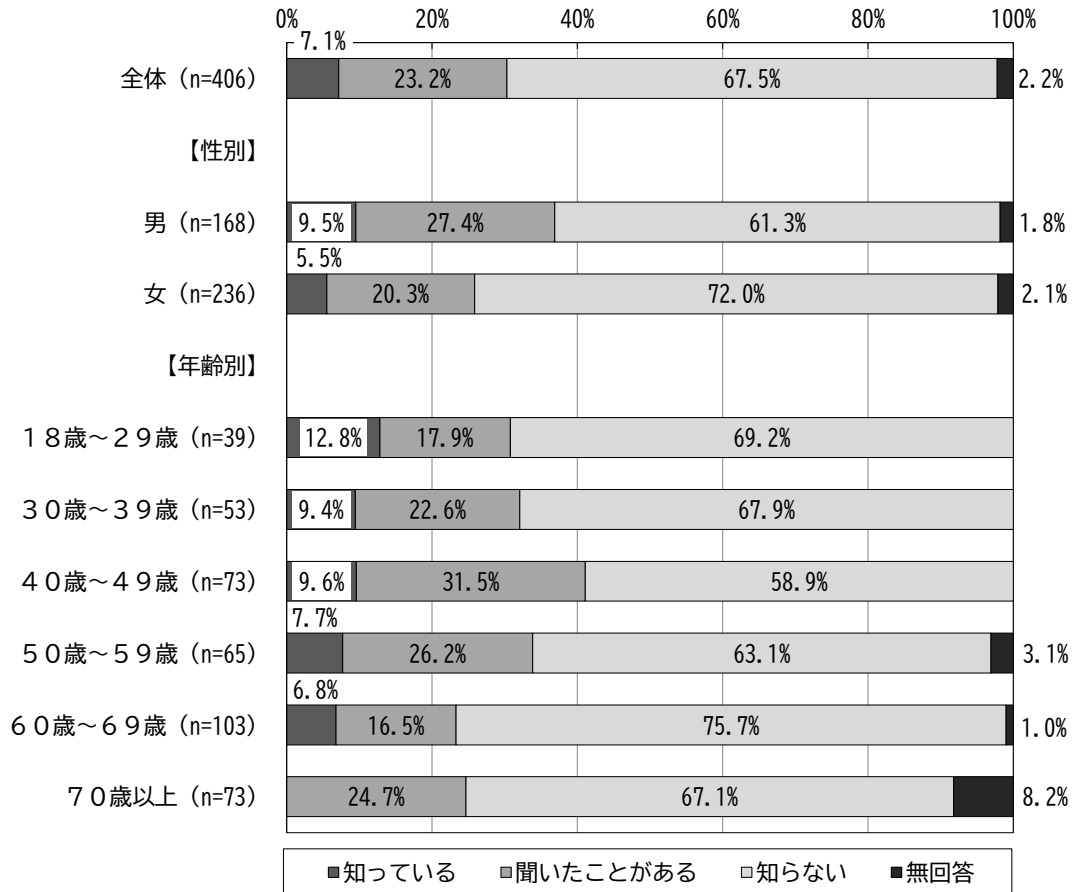
ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）



ダイバーシティ（多様性）



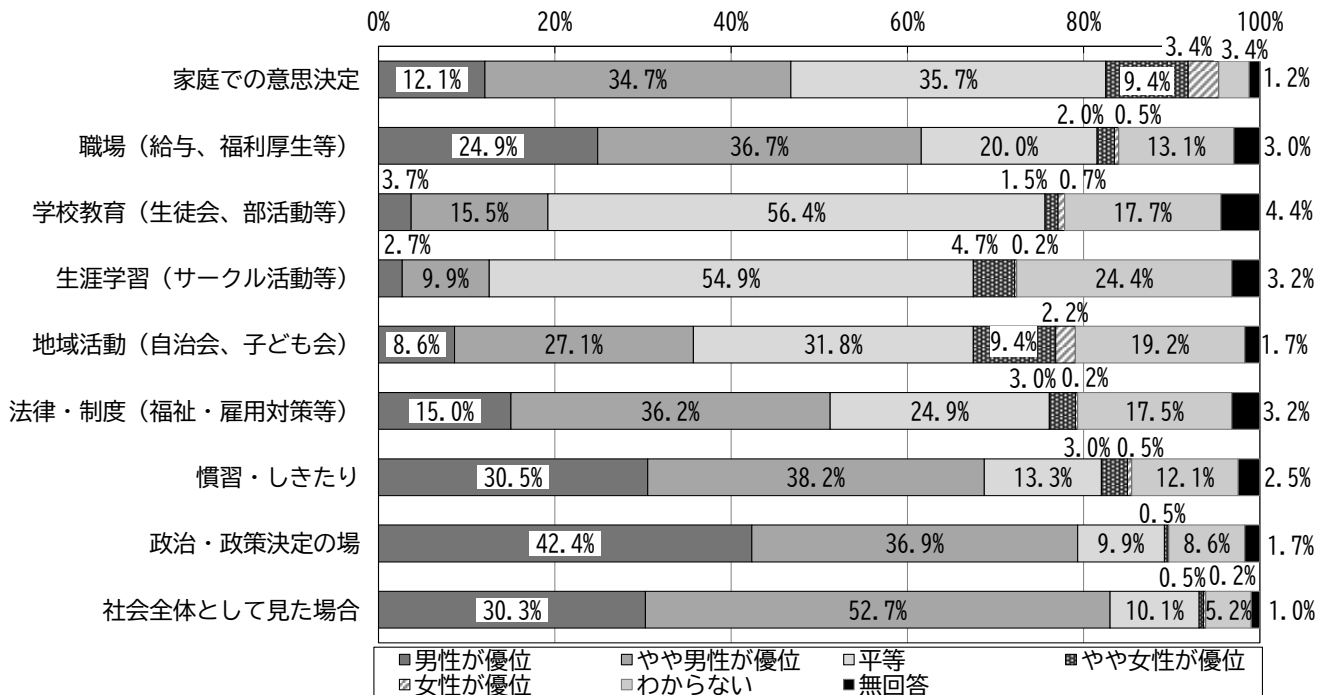
アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）



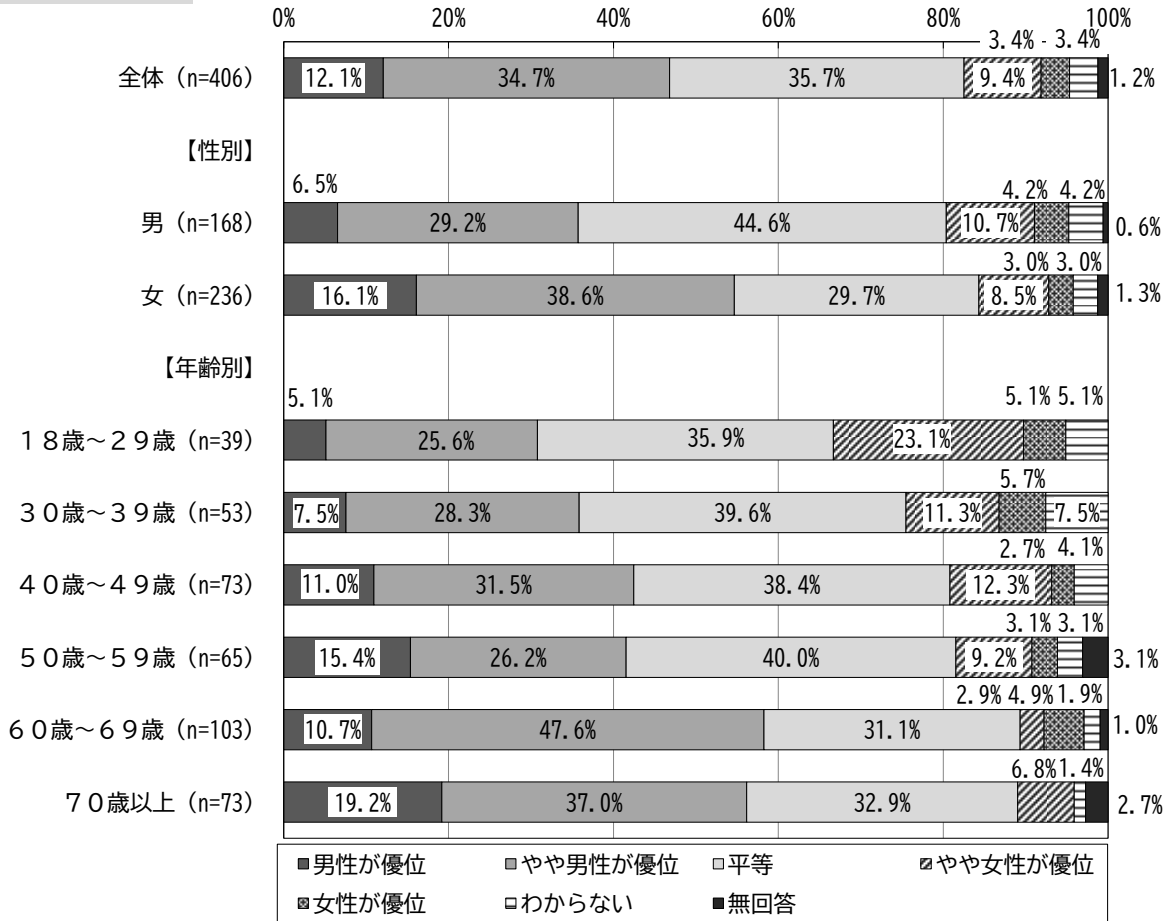
問7 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

男女の地位は平均になっていると思うかについて、「平等」と回答したのは、「学校教育（生徒会、部活動等）」が 56.4%で最も多く、次いで「生涯学習（サークル活動等）」が 54.9%、「家庭での意思決定」が 35.7%となっています。

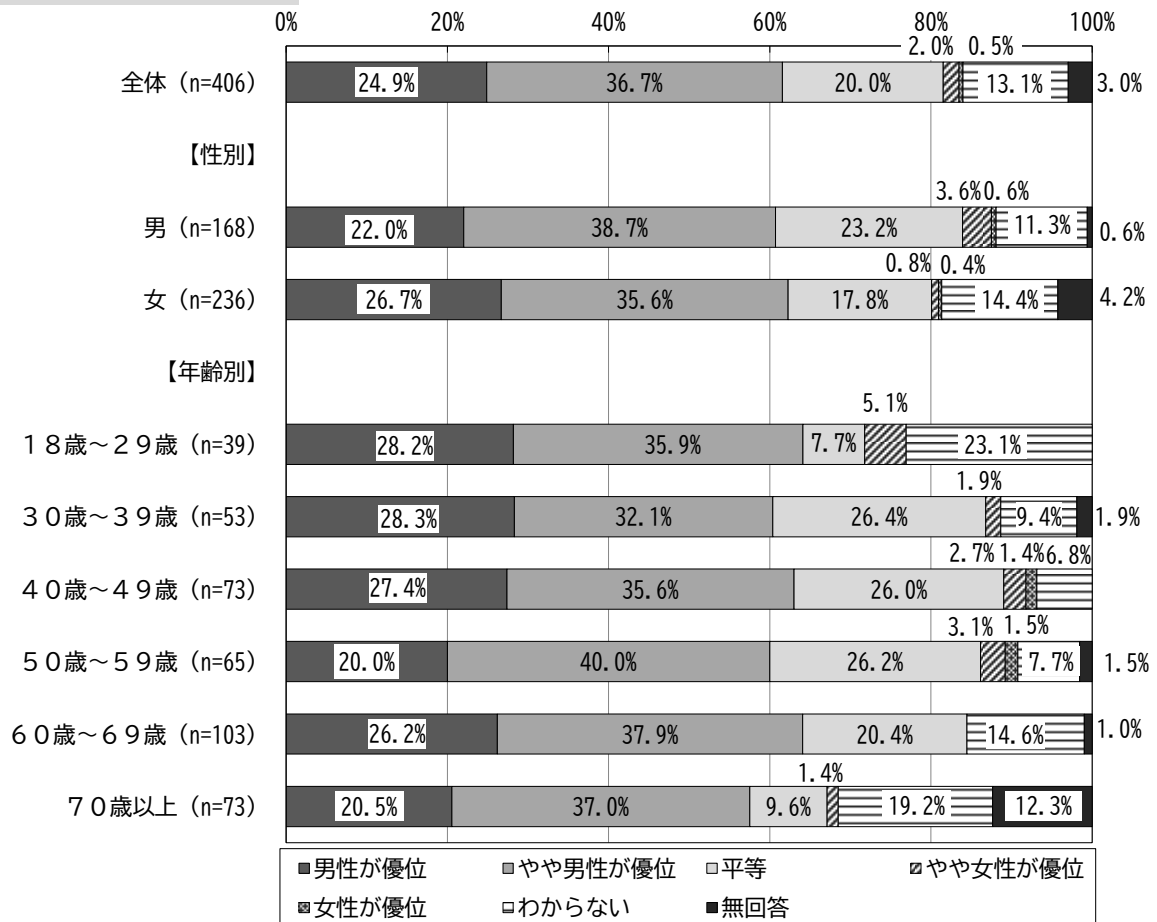
| 項目（度数） | 男性が優位 | やや男性が優位 | 平等 | やや女性が優位 | 女性が優位 | わからない | 無回答 | 回答者数 |
|-------------------------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|------|--------|
| 家庭での意思決定 | 49 | 141 | 145 | 38 | 14 | 14 | 5 | 406 |
| 職場（給与、福利厚生等） | 101 | 149 | 81 | 8 | 2 | 53 | 12 | 406 |
| 学校教育（生徒会、部活動等） | 15 | 63 | 229 | 6 | 3 | 72 | 18 | 406 |
| 生涯学習（サークル活動等） | 11 | 40 | 223 | 19 | 1 | 99 | 13 | 406 |
| 地域活動（自治会、子ども会） | 35 | 110 | 129 | 38 | 9 | 78 | 7 | 406 |
| 法律・制度（福祉・雇用対策等） | 61 | 147 | 101 | 12 | 1 | 71 | 13 | 406 |
| 慣習・しきたり | 124 | 155 | 54 | 12 | 2 | 49 | 10 | 406 |
| 政治・政策決定の場 | 172 | 150 | 40 | 2 | 0 | 35 | 7 | 406 |
| 社会全体として見た場合 | 123 | 214 | 41 | 2 | 1 | 21 | 4 | 406 |
| 項目（構成比） | 男性が優位 | やや男性が優位 | 平等 | やや女性が優位 | 女性が優位 | わからない | 無回答 | 回答者数 |
| 家庭での意思決定 (n=406) | 12.1% | 34.7% | 35.7% | 9.4% | 3.4% | 3.4% | 1.2% | 100.0% |
| 職場（給与、福利厚生等） (n=406) | 24.9% | 36.7% | 20.0% | 2.0% | 0.5% | 13.1% | 3.0% | 100.0% |
| 学校教育（生徒会、部活動等） (n=406) | 3.7% | 15.5% | 56.4% | 1.5% | 0.7% | 17.7% | 4.4% | 100.0% |
| 生涯学習（サークル活動等） (n=406) | 2.7% | 9.9% | 54.9% | 4.7% | 0.2% | 24.4% | 3.2% | 100.0% |
| 地域活動（自治会、子ども会） (n=406) | 8.6% | 27.1% | 31.8% | 9.4% | 2.2% | 19.2% | 1.7% | 100.0% |
| 法律・制度（福祉・雇用対策等） (n=406) | 15.0% | 36.2% | 24.9% | 3.0% | 0.2% | 17.5% | 3.2% | 100.0% |
| 慣習・しきたり (n=406) | 30.5% | 38.2% | 13.3% | 3.0% | 0.5% | 12.1% | 2.5% | 100.0% |
| 政治・政策決定の場 (n=406) | 42.4% | 36.9% | 9.9% | 0.5% | 0.0% | 8.6% | 1.7% | 100.0% |
| 社会全体として見た場合 (n=406) | 30.3% | 52.7% | 10.1% | 0.5% | 0.2% | 5.2% | 1.0% | 100.0% |



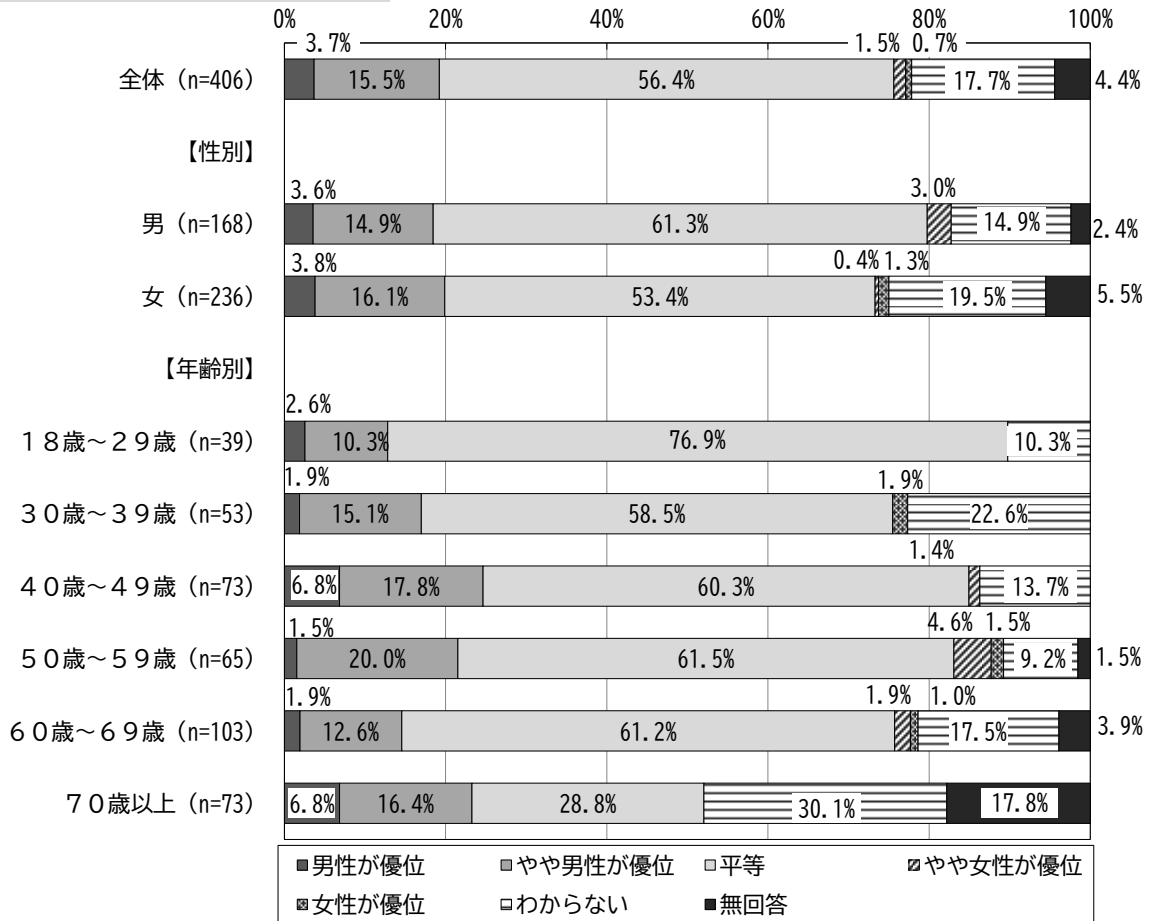
家庭での意思決定



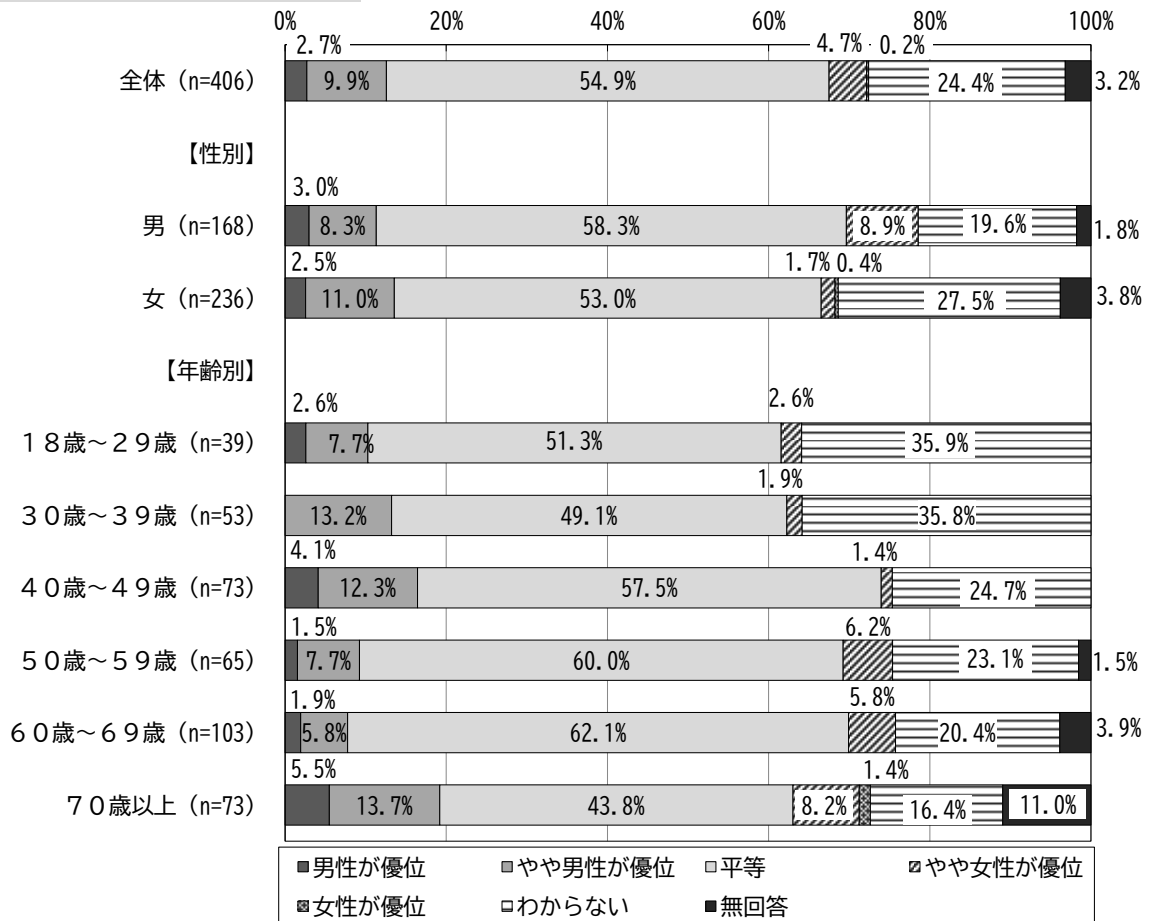
職場（給与、福利厚生等）



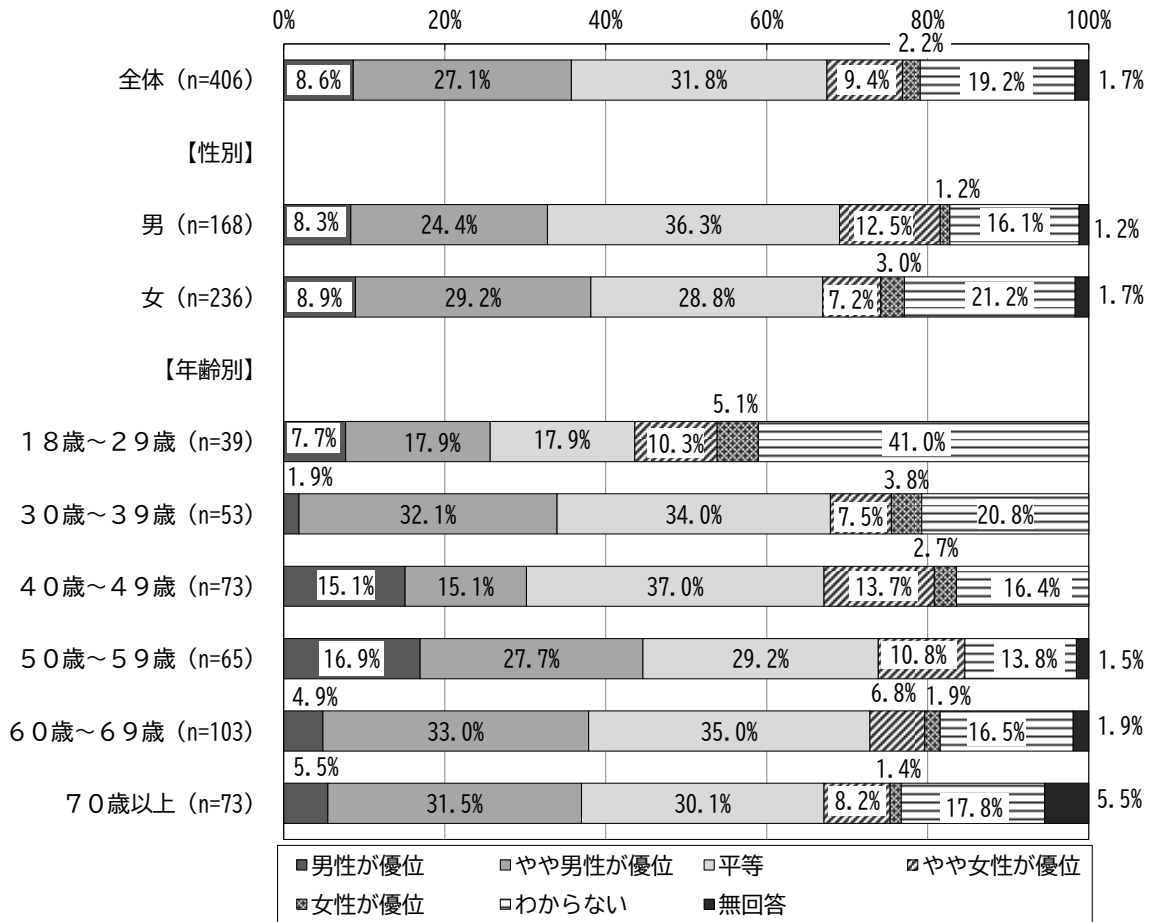
学校教育（生徒会、部活動等）



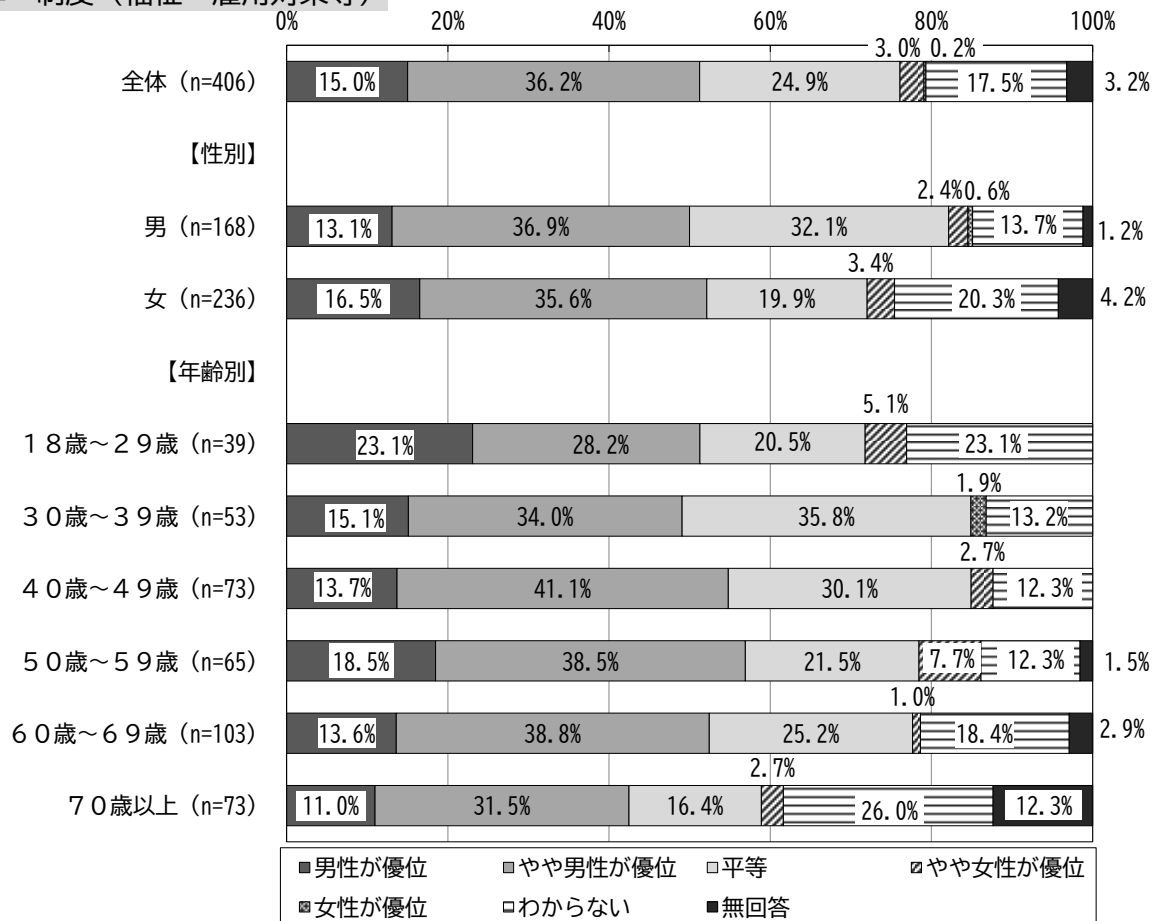
生涯学習（サークル活動等）



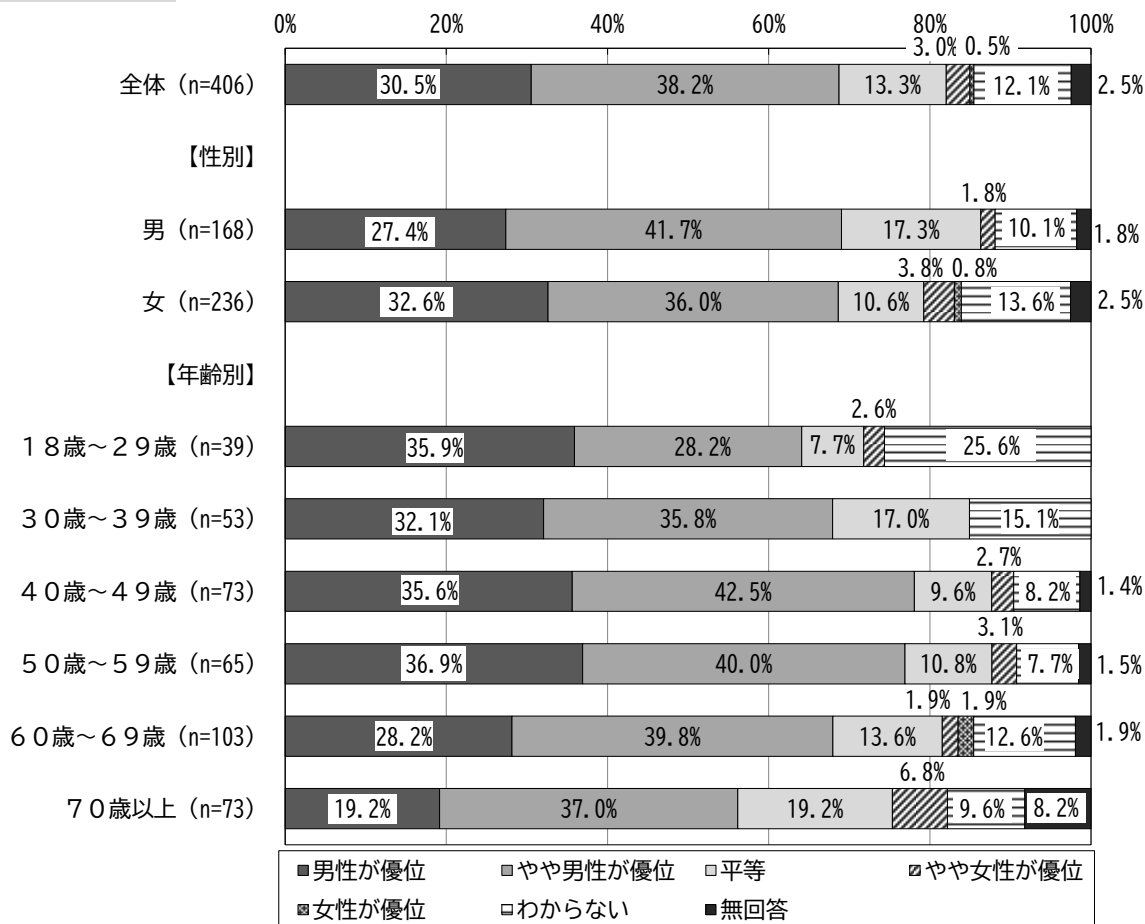
地域活動（自治会、子ども会）



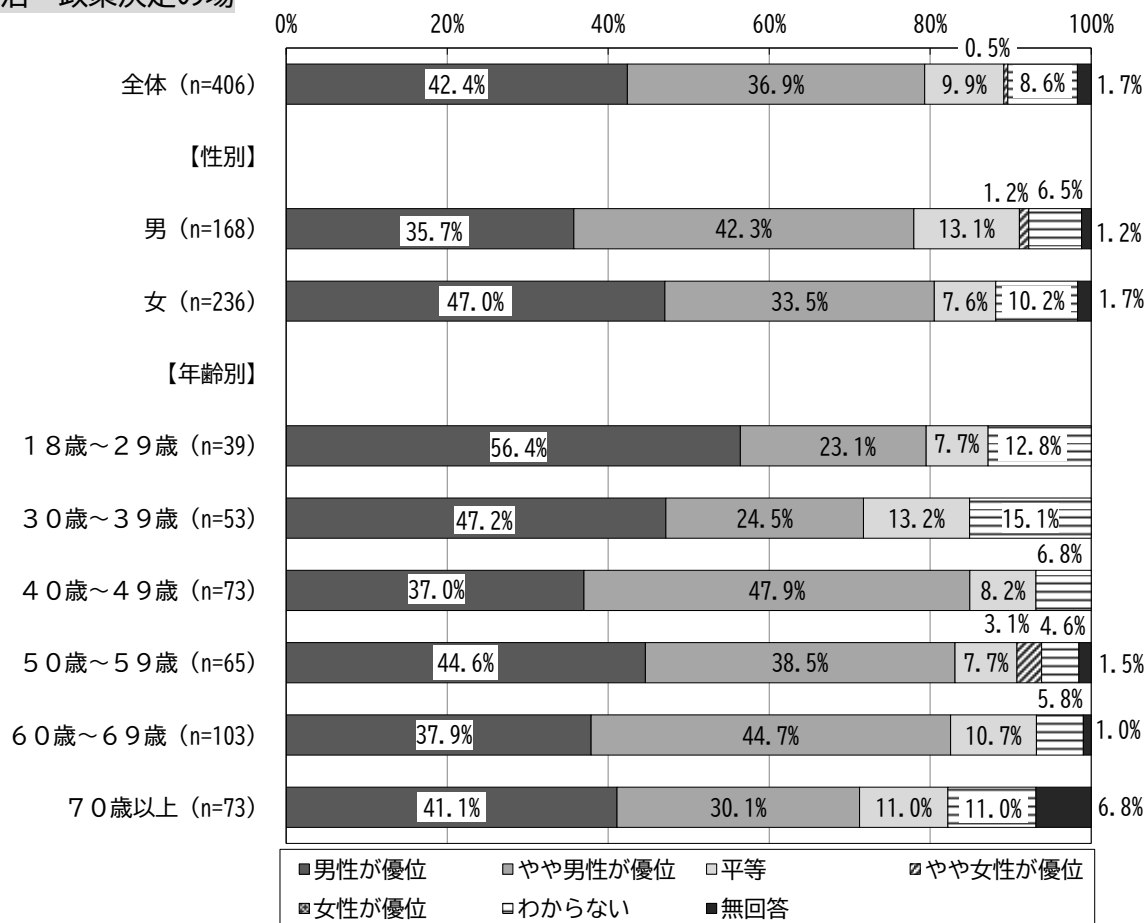
法律・制度（福祉・雇用対策等）



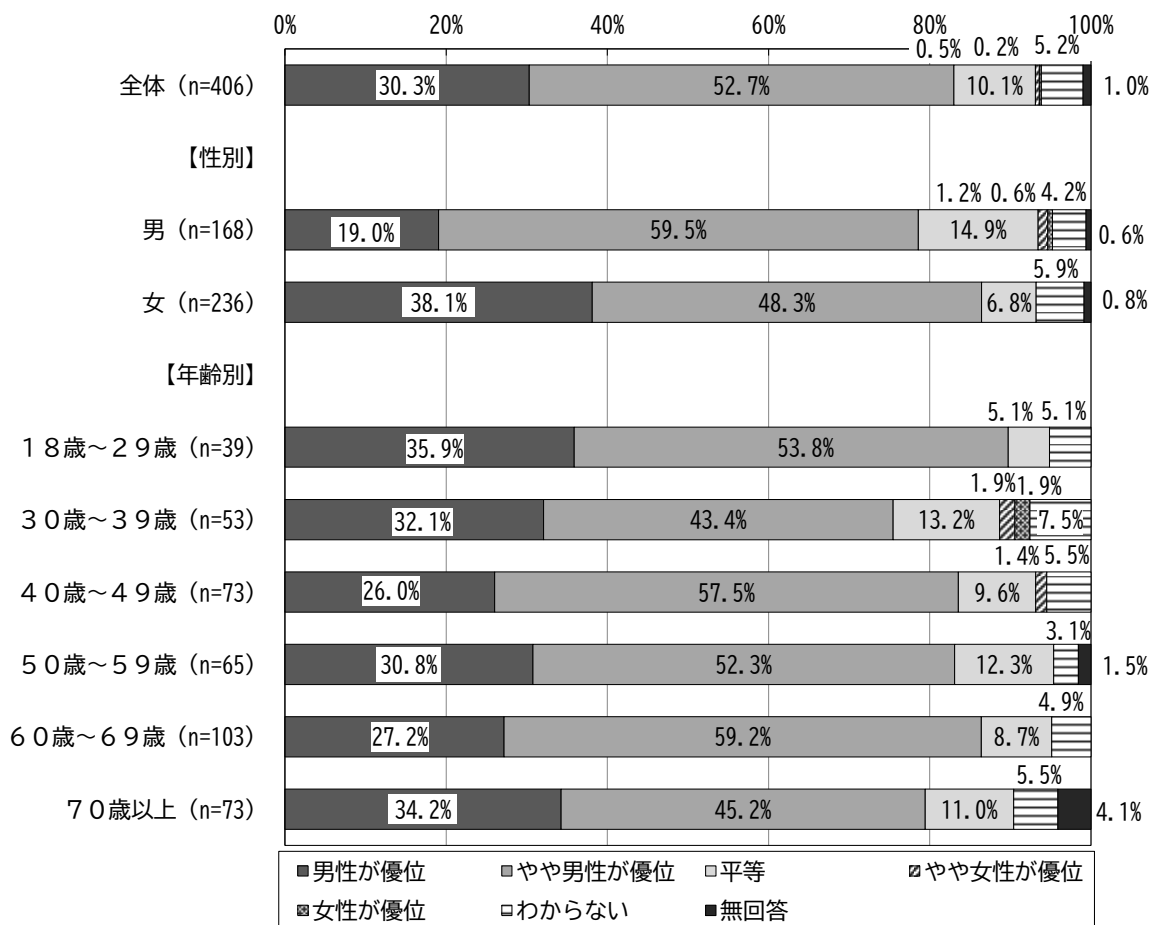
慣習・しきたり



政治・政策決定の場

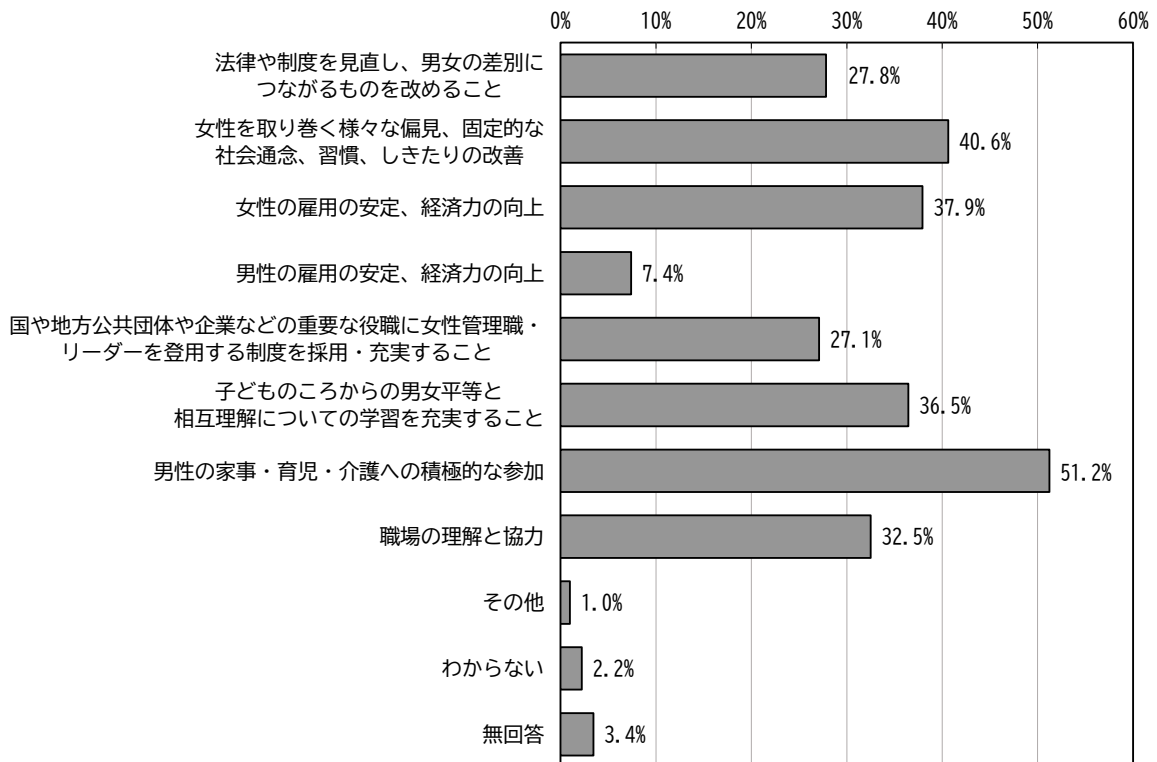


社会全体として見た場合



問8 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。次の中から、3つ以内で選んでください。

今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、どのようなことが重要だと思うかについては、「男性の家事・育児・介護への積極的な参加」が51.2%と最も多く、次いで「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣、しきたりの改善」が40.6%、「女性の雇用の安定、経済力の向上」が37.9%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 法律や制度を見直し、男女の差別につながるものを改めること | 113 | 27.8% |
| 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣、しきたりの改善 | 165 | 40.6% |
| 女性の雇用の安定、経済力の向上 | 154 | 37.9% |
| 男性の雇用の安定、経済力の向上 | 30 | 7.4% |
| 国や地方公共団体や企業などの重要な役職に女性管理職・リーダーを登用する制度を採用・充実すること | 110 | 27.1% |
| 子どものころからの男女平等と相互理解についての学習を充実すること | 148 | 36.5% |
| 男性の家事・育児・介護への積極的な参加 | 208 | 51.2% |
| 職場の理解と協力 | 132 | 32.5% |
| その他 | 4 | 1.0% |
| わからない | 9 | 2.2% |
| 無回答 | 14 | 3.4% |
| 回答者数 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 法律や制度を見直し、男女の差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣、しきたりの改善 | 女性の雇用の安定、経済力の向上 | 男性の雇用の安定、経済力の向上 | 国や地方公共団体や企業などの重要な役職に女性管理職・リーダーを登用する制度を採用・充実すること | 子どものころからの男女平等と相互理解についての学習を充実すること | 男性の家事・育児・介護への積極的な参加 | 職場の理解と協力 | その他 | わからない | 無回答 | 回答者数 |
|-----|------------------------------|----------------------------------|-----------------|-----------------|---|----------------------------------|---------------------|--------------|-----------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 113 27.8% | 165 40.6% | 154 37.9% | 30 7.4% | 110 27.1% | 148 36.5% | 208 51.2% | 132 32.5% | 4 1.0% | 9 2.2% | 14 3.4% | 406 |
| 男 | 50 29.8% | 72 42.9% | 44 26.2% | 21 12.5% | 52 31.0% | 64 38.1% | 62 36.9% | 56 33.3% | 2 1.2% | 4 2.4% | 8 4.8% | 168 |
| 女 | 63 26.7% | 93 39.4% | 110 46.6% | 9 3.8% | 58 24.6% | 83 35.2% | 145 61.4% | 75 31.8% | 2 0.8% | 5 2.1% | 5 2.1% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

【年齢別クロス】

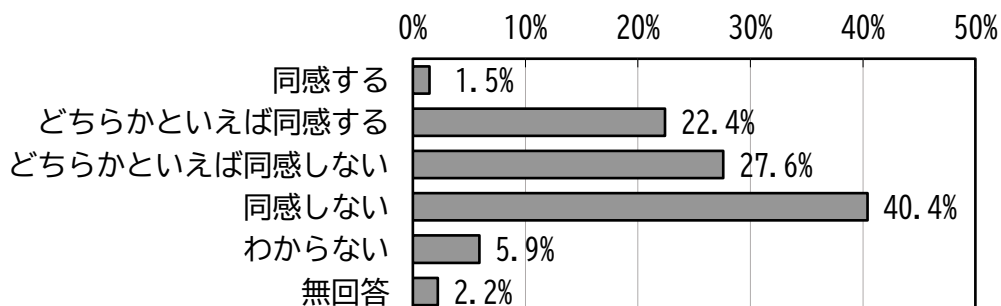
(上段：度数、下段：比率)

| | 法律や制度を見直し、男女の差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣、しきたりの改善 | 女性の雇用の安定、経済力の向上 | 男性の雇用の安定、経済力の向上 | 国や地方公共団体や企業などの重要な役職に女性管理職・リーダーを登用する制度を採用・充実すること | 子どものころからの男女平等と相互理解についての学習を充実すること | 男性の家事・育児・介護への積極的な参加 | 職場の理解と協力 | その他 | わからない | 無回答 | 回答者数 |
|---------|------------------------------|----------------------------------|-----------------|-----------------|---|----------------------------------|---------------------|--------------|-----------|-----------|------------|------|
| 全体 | 113 27.8% | 165 40.6% | 154 37.9% | 30 7.4% | 110 27.1% | 148 36.5% | 208 51.2% | 132 32.5% | 4 1.0% | 9 2.2% | 14 3.4% | 406 |
| 18歳～29歳 | 13 33.3% | 12 30.8% | 13 33.3% | 5 12.8% | 5 12.8% | 7 17.9% | 20 51.3% | 16 41.0% | 0 0.0% | 1 2.6% | 1 2.6% | 39 |
| 30歳～39歳 | 13 24.5% | 20 37.7% | 26 49.1% | 2 3.8% | 9 17.0% | 17 32.1% | 32 60.4% | 26 49.1% | 1 1.9% | 0 0.0% | 0 0.0% | 53 |
| 40歳～49歳 | 15 20.5% | 34 46.6% | 27 37.0% | 6 8.2% | 28 38.4% | 30 41.1% | 42 57.5% | 21 28.8% | 0 0.0% | 1 1.4% | 0 0.0% | 73 |
| 50歳～59歳 | 20 30.8% | 25 38.5% | 21 32.3% | 5 7.7% | 14 21.5% | 24 36.9% | 28 43.1% | 21 32.3% | 2 3.1% | 2 3.1% | 5 7.7% | 65 |
| 60歳～69歳 | 31 30.1% | 47 45.6% | 48 46.6% | 4 3.9% | 29 28.2% | 39 37.9% | 51 49.5% | 31 30.1% | 0 0.0% | 1 1.0% | 3 2.9% | 103 |
| 70歳以上 | 21 28.8% | 27 37.0% | 19 26.0% | 8 11.0% | 25 34.2% | 31 42.5% | 35 47.9% | 17 23.3% | 1 1.4% | 4 5.5% | 5 6.8% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

家庭生活について

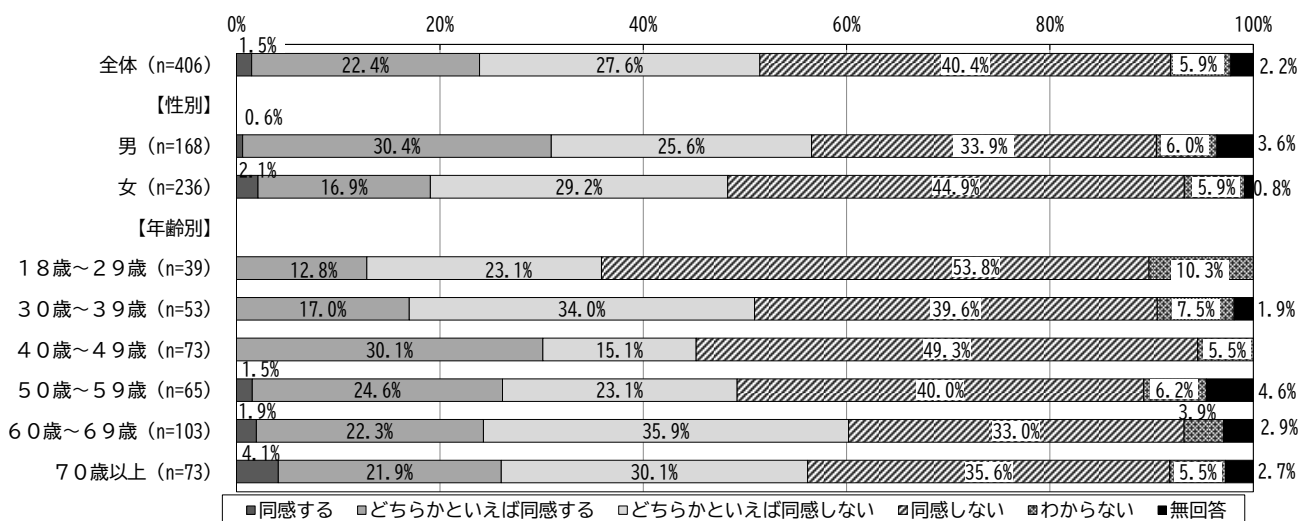
問9 あなたは、「男は仕事、女は家庭（家事）」という旧来の考え方についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

「男は仕事、女は家庭（家事）」という旧来の考え方についてどう思うかについては、「同感しない」が40.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば同感しない」が27.6%、「どちらかといえば同感する」が22.4%となっています。



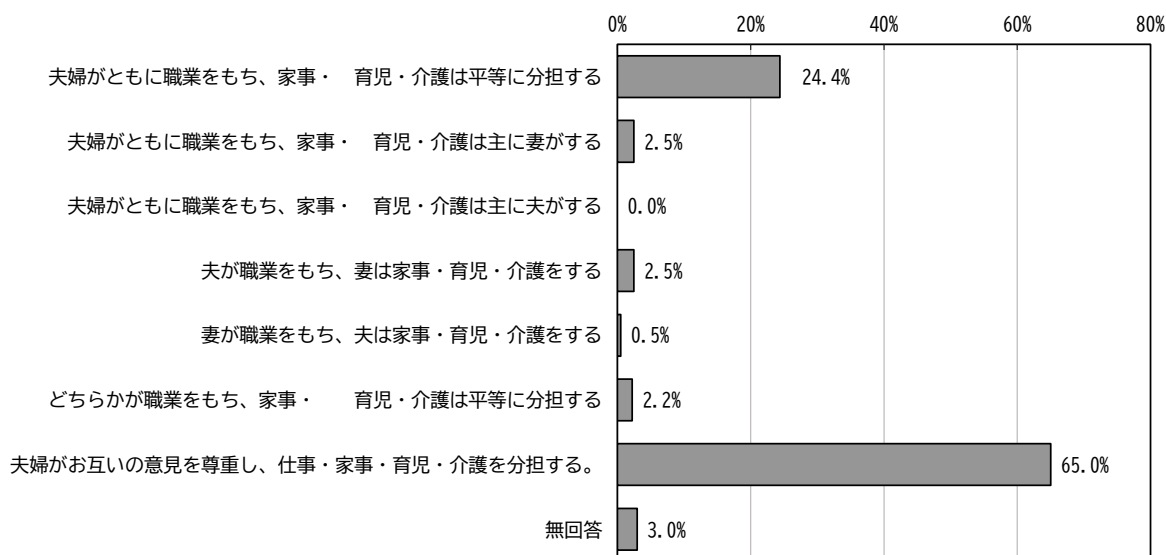
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 同感する | 6 | 1.5% |
| どちらかといえば同感する | 91 | 22.4% |
| どちらかといえば同感しない | 112 | 27.6% |
| 同感しない | 164 | 40.4% |
| わからない | 24 | 5.9% |
| 無回答 | 9 | 2.2% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



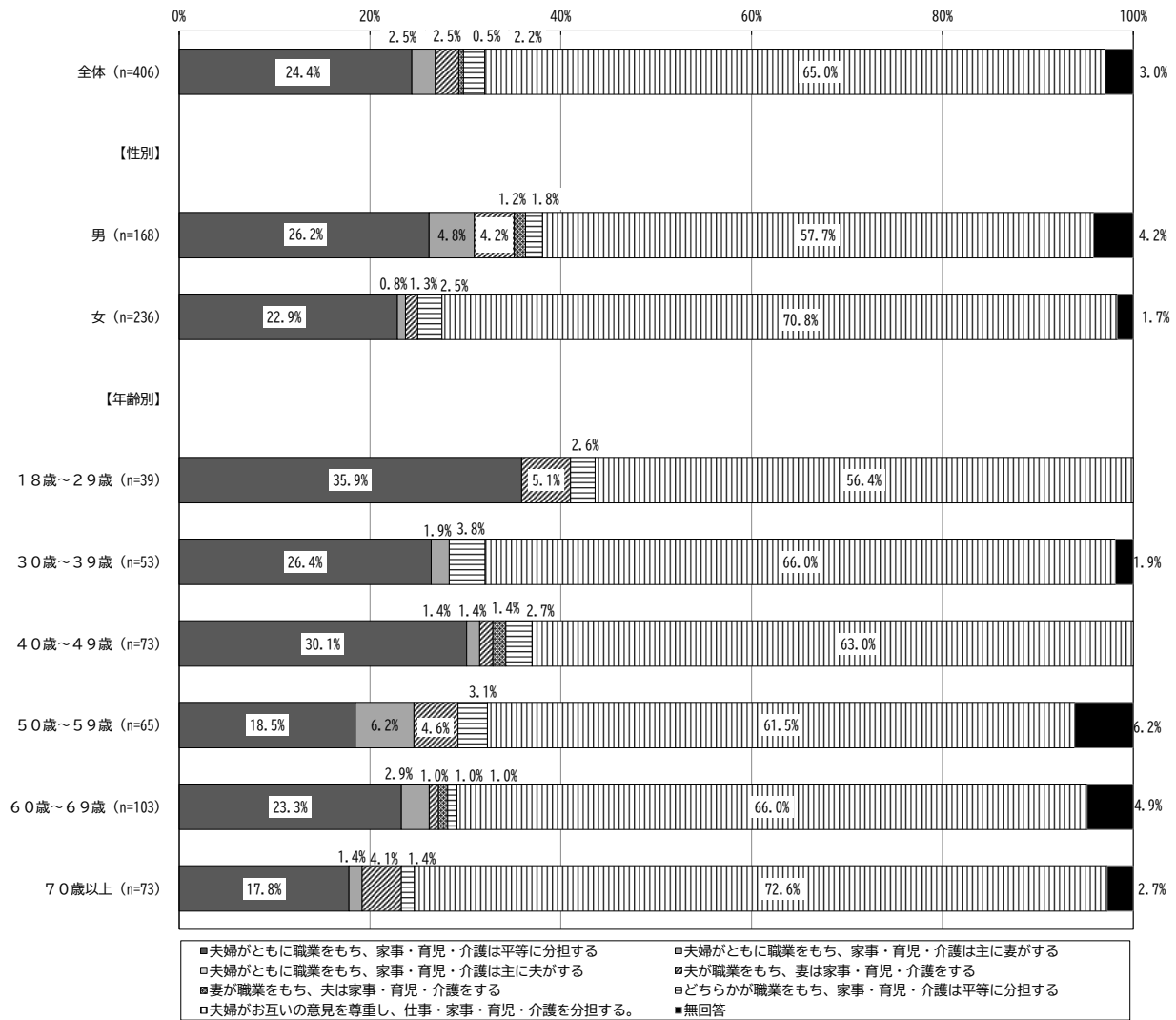
**問 10 家庭における夫婦の役割分担について、あなたはどうかあるべきだと思いますか。
あなたのお考えに最も近いものを、1つ選んでください。**

家庭における夫婦の役割分担についてどうかあるべきかについては、「夫婦がお互いの意見を尊重し、仕事・家事・育児・介護を分担する。」が65.0%と最も多く、次いで「夫婦がともに職業をもち、家事・育児・介護は平等に分担する」が24.4%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------------------|-----|--------|
| 夫婦がともに職業をもち、家事・育児・介護は平等に分担する | 99 | 24.4% |
| 夫婦がともに職業をもち、家事・育児・介護は主に妻がする | 10 | 2.5% |
| 夫婦がともに職業をもち、家事・育児・介護は主に夫がする | 0 | 0.0% |
| 夫が職業をもち、妻は家事・育児・介護をする | 10 | 2.5% |
| 妻が職業をもち、夫は家事・育児・介護をする | 2 | 0.5% |
| どちらかが職業をもち、家事・育児・介護は平等に分担する | 9 | 2.2% |
| 夫婦がお互いの意見を尊重し、仕事・家事・育児・介護を分担する。 | 264 | 65.0% |
| 無回答 | 12 | 3.0% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



問11 あなたのご家庭については、どのように役割を分担していますか。

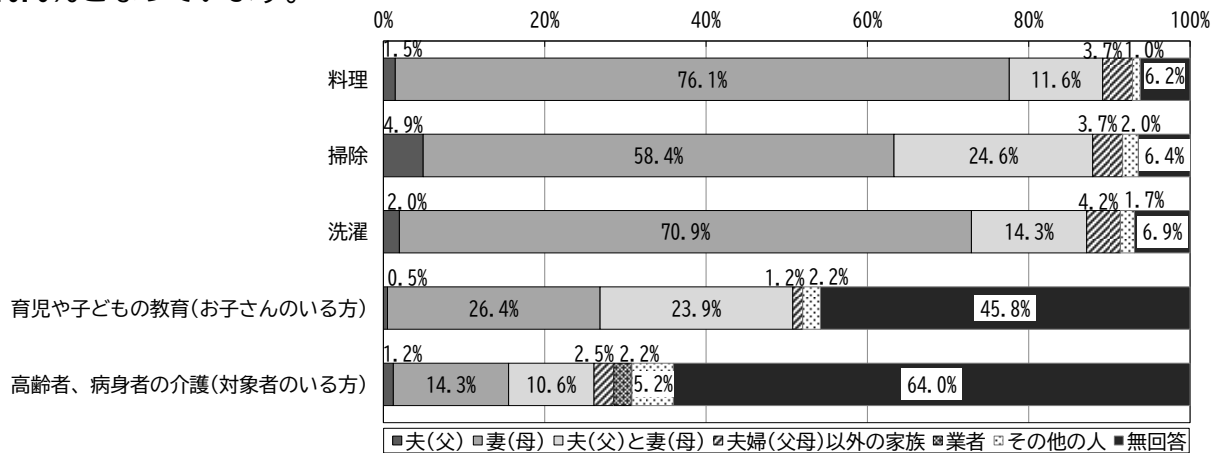
家庭での役割分担について、「料理」では、「妻（母）」が76.1%、「夫（父）と妻（母）」が11.6%となっています。

「掃除」では、「妻（母）」が58.4%、「夫（父）と妻（母）」が24.6%となっています。

「洗濯」では、「妻（母）」が70.9%、「夫（父）と妻（母）」が14.3%となっています。

「育児や子どもの教育（お子さんのいる方）」では、「妻（母）」が26.4%、「夫（父）と妻（母）」が23.9%となっています。

「高齢者、病身者の介護（対象者のいる方）」では、「妻（母）」が14.3%、「夫（父）と妻（母）」が10.6%となっています。

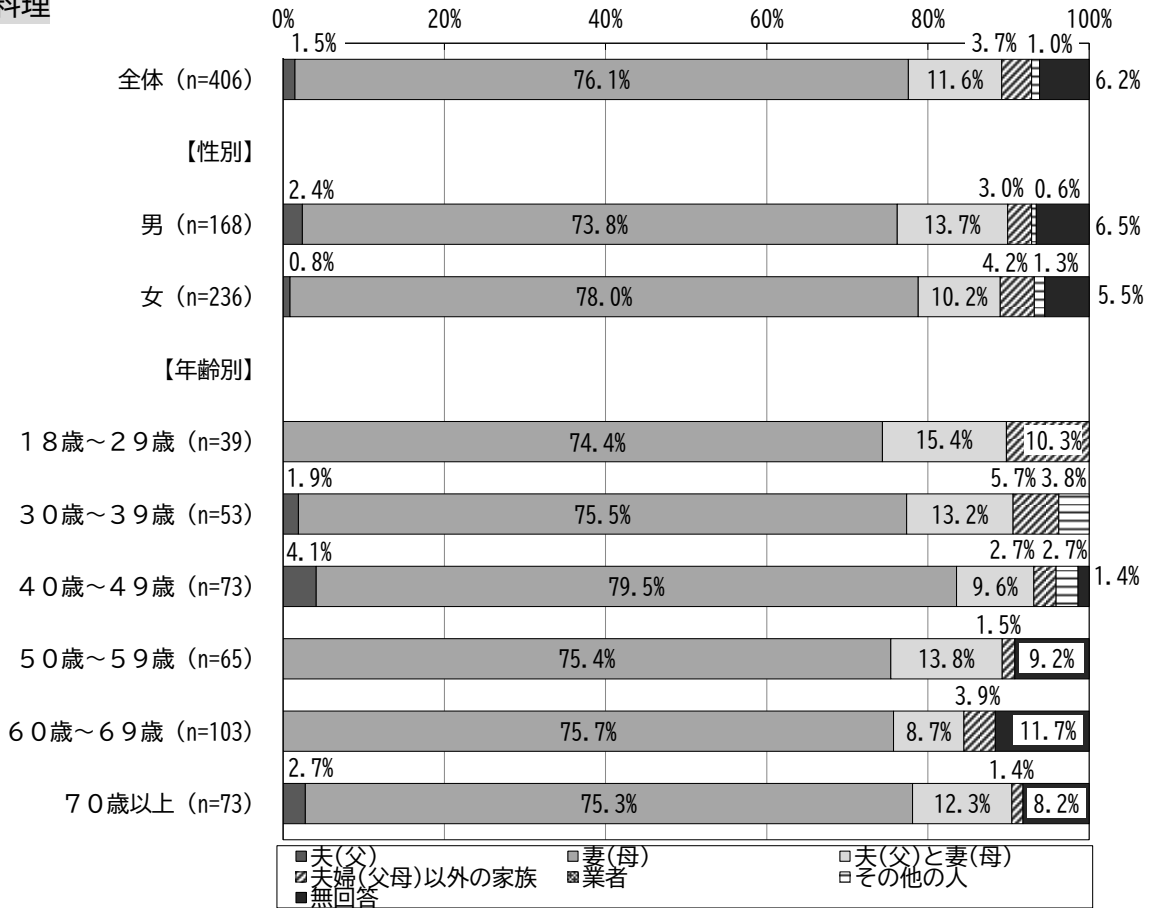


| 項目（度数） | 夫(父) | 妻(母) | 夫(父)と妻(母) | 夫婦(父母)以外の家族 | 業者 | その他の人 | 無回答 | 回答者数 |
|-----------------------------|------|-------|-----------|-------------|------|-------|-------|--------|
| 料理 | 6 | 309 | 47 | 15 | 0 | 4 | 25 | 406 |
| 掃除 | 20 | 237 | 100 | 15 | 0 | 8 | 26 | 406 |
| 洗濯 | 8 | 288 | 58 | 17 | 0 | 7 | 28 | 406 |
| 育児や子どもの教育(お子さんのいる方) | 2 | 107 | 97 | 5 | 0 | 9 | 186 | 406 |
| 高齢者、病身者の介護(対象者のいる方) | 5 | 58 | 43 | 10 | 9 | 21 | 260 | 406 |
| 項目（構成比） | 夫(父) | 妻(母) | 夫(父)と妻(母) | 夫婦(父母)以外の家族 | 業者 | その他の人 | 無回答 | 回答者数 |
| 料理 (n=406) | 1.5% | 76.1% | 11.6% | 3.7% | 0.0% | 1.0% | 6.2% | 100.0% |
| 掃除 (n=406) | 4.9% | 58.4% | 24.6% | 3.7% | 0.0% | 2.0% | 6.4% | 100.0% |
| 洗濯 (n=406) | 2.0% | 70.9% | 14.3% | 4.2% | 0.0% | 1.7% | 6.9% | 100.0% |
| 育児や子どもの教育(お子さんのいる方) (n=406) | 0.5% | 26.4% | 23.9% | 1.2% | 0.0% | 2.2% | 45.8% | 100.0% |
| 高齢者、病身者の介護(対象者のいる方) (n=406) | 1.2% | 14.3% | 10.6% | 2.5% | 2.2% | 5.2% | 64.0% | 100.0% |

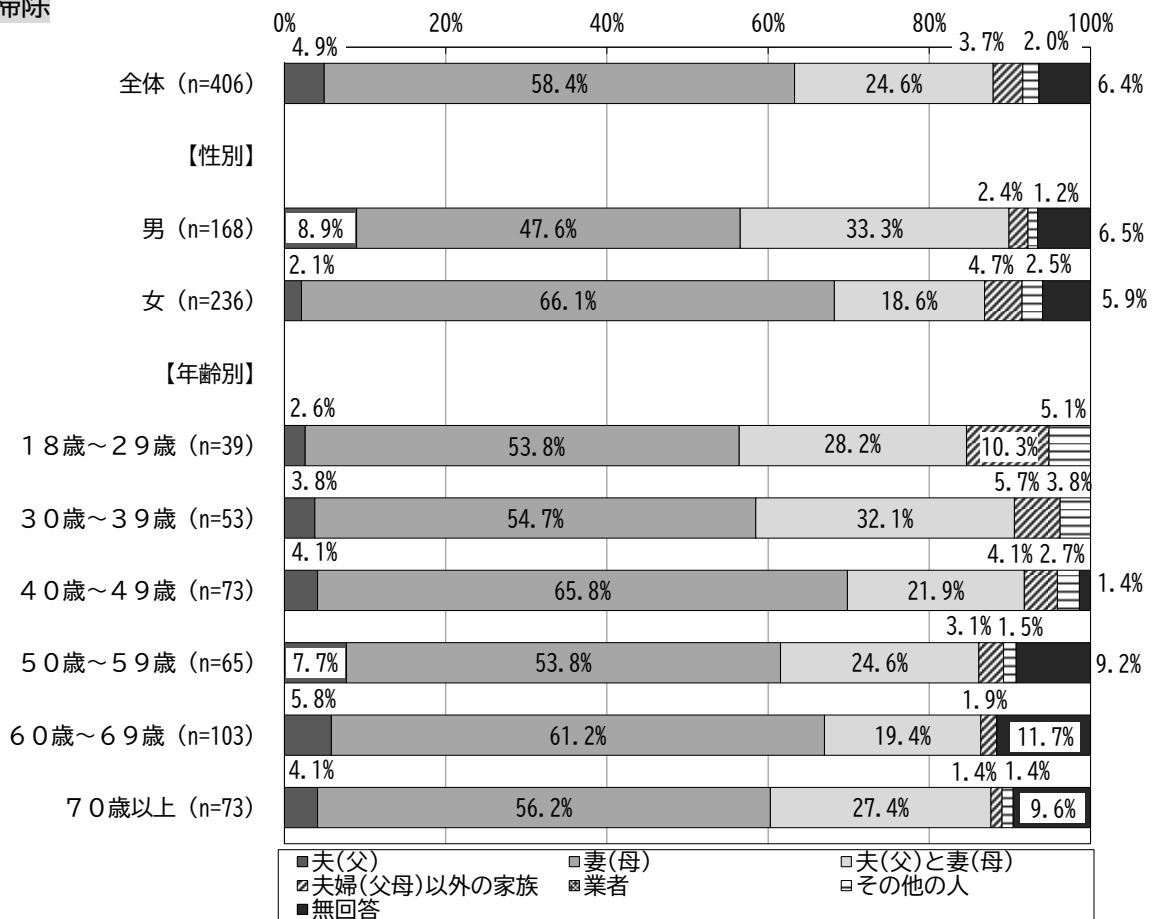
※選択肢「育児や子どもの教育（お子さんのいる方）」、「高齢者、病身者の介護（対象者のいる方）」では、非該当者の判別が困難なため、該当の項目を選択していない場合、「無回答」として処理しています。

【性別・年齢別クロス】

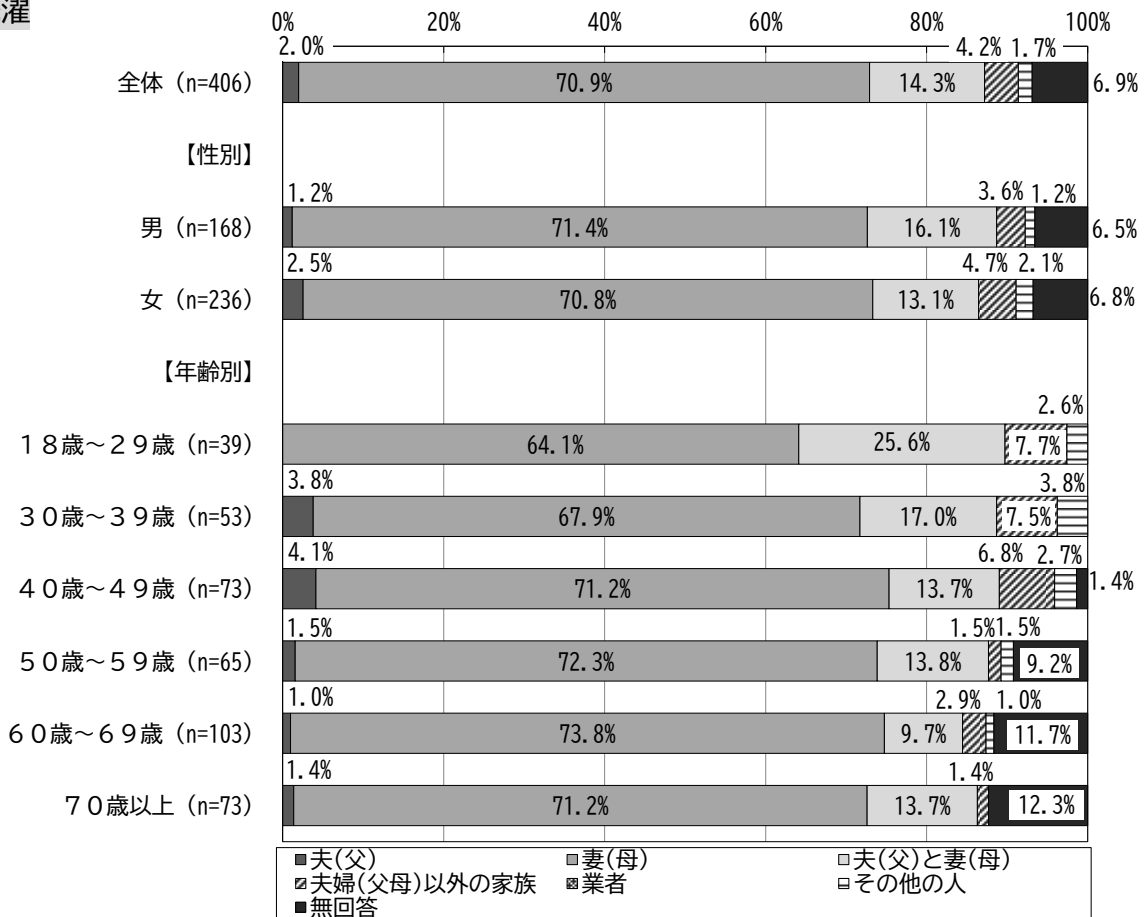
料理



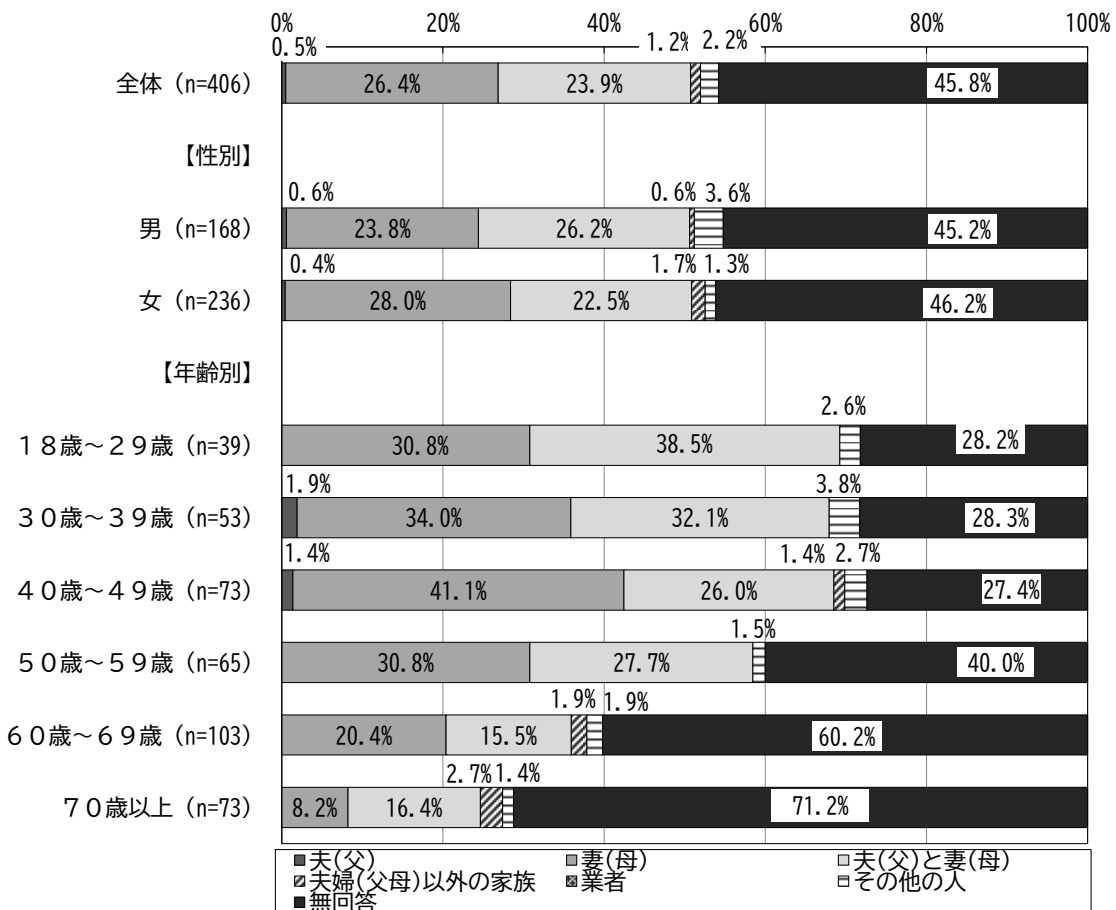
掃除



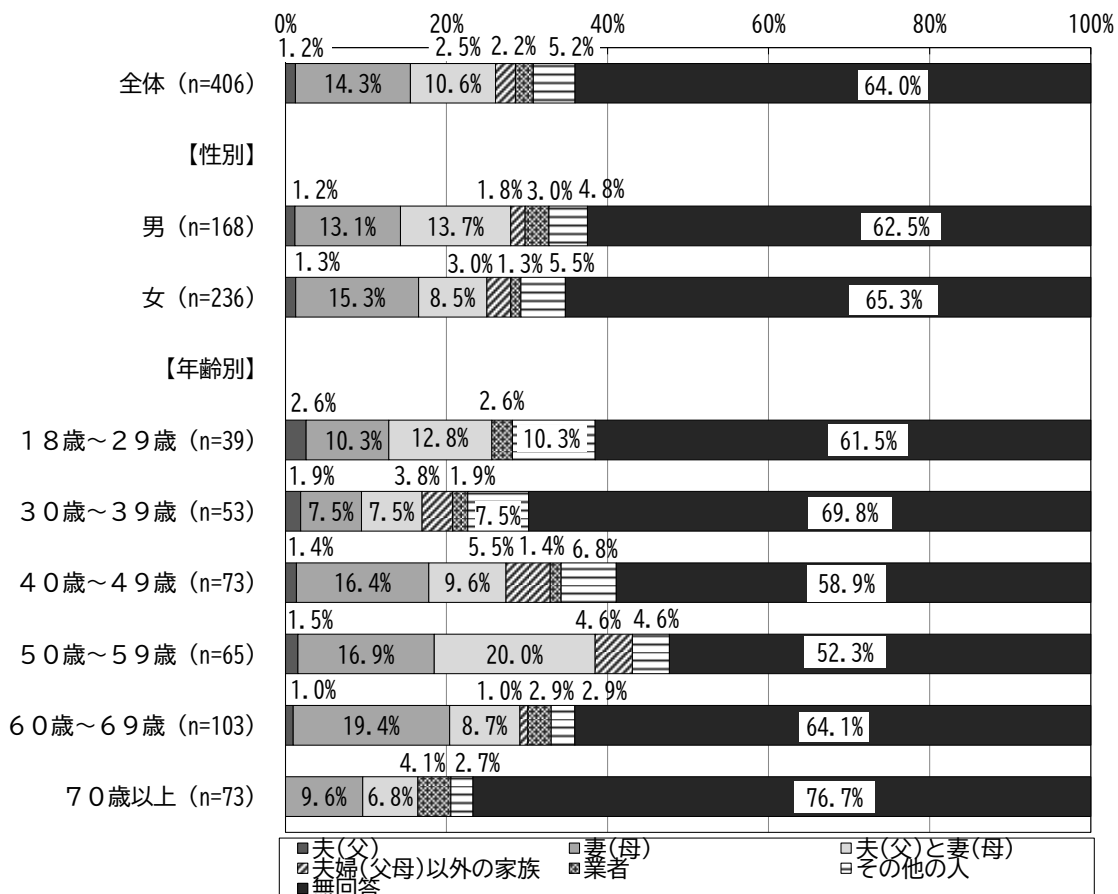
洗濯



育児や子どもの教育 (お子さんのいる方)



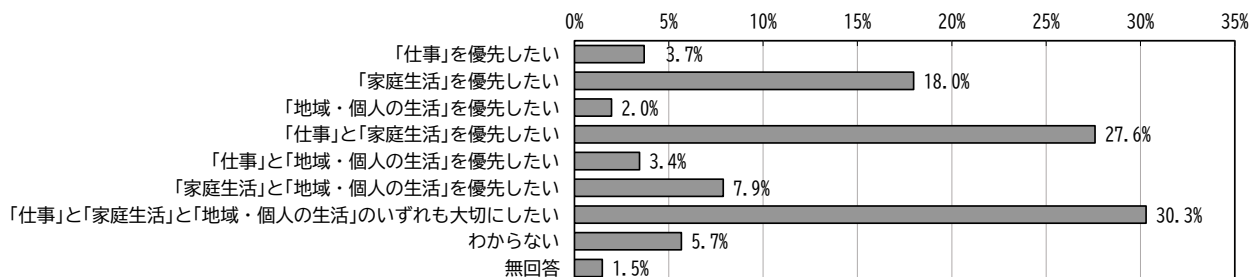
高齢者、病身者の介護（対象者のいる方）



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

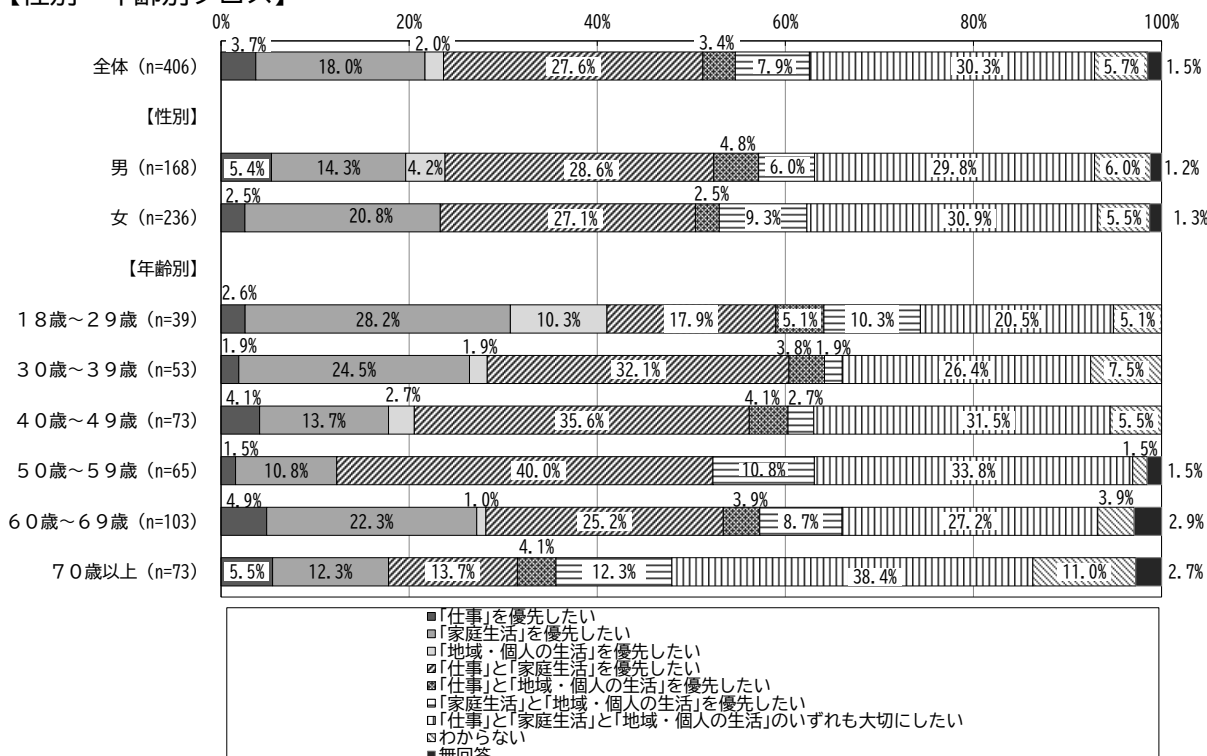
問 12- (1) 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度についてお伺いします。 あなたの希望に最も近いものを、1つ選んでください。

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度については、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』のいずれも大切にしたいが30.3%と最も多く、次いで『仕事』と『家庭生活』を優先したいが27.6%、『家庭生活』を優先したいが18.0%となっています。



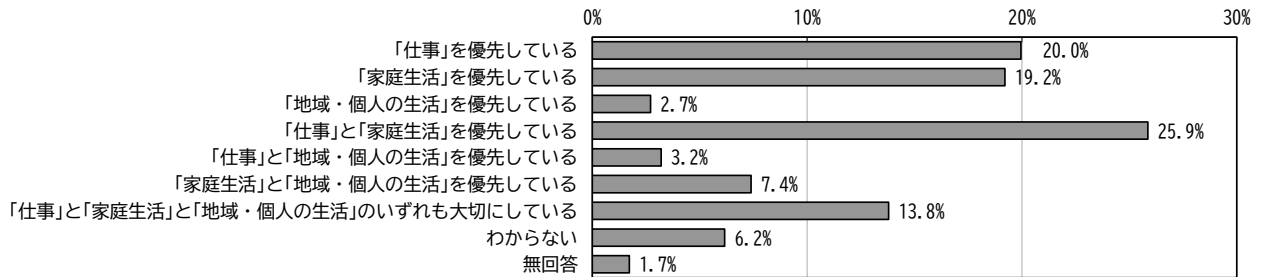
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------------------|-----|--------|
| 「仕事」を優先したい | 15 | 3.7% |
| 「家庭生活」を優先したい | 73 | 18.0% |
| 「地域・個人の生活」を優先したい | 8 | 2.0% |
| 「仕事」と「家庭生活」を優先したい | 112 | 27.6% |
| 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい | 14 | 3.4% |
| 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい | 32 | 7.9% |
| 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも大切にしたい | 123 | 30.3% |
| わからない | 23 | 5.7% |
| 無回答 | 6 | 1.5% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



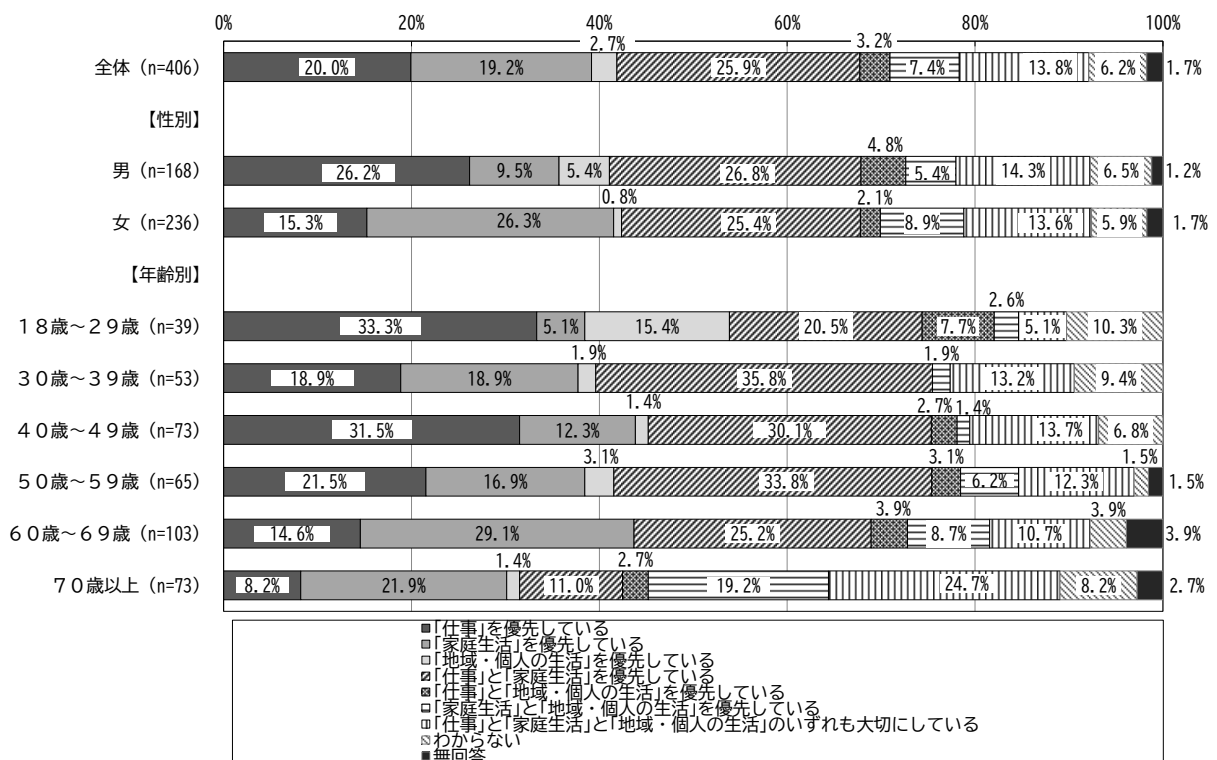
問 12- (2) それについては、あなたの現実 (現状) に最も近いものを、1つ選んでください。

優先度の現状に最も近いものについては、「『仕事』と『家庭生活』を優先している」が 25.9%と最も多く、次いで「『仕事』を優先している」が 20.0%、「『家庭生活』を優先している」が 19.2%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------------------|-----|--------|
| 「仕事」を優先している | 81 | 20.0% |
| 「家庭生活」を優先している | 78 | 19.2% |
| 「地域・個人の生活」を優先している | 11 | 2.7% |
| 「仕事」と「家庭生活」を優先している | 105 | 25.9% |
| 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先している | 13 | 3.2% |
| 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先している | 30 | 7.4% |
| 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも大切にしている | 56 | 13.8% |
| わからない | 25 | 6.2% |
| 無回答 | 7 | 1.7% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

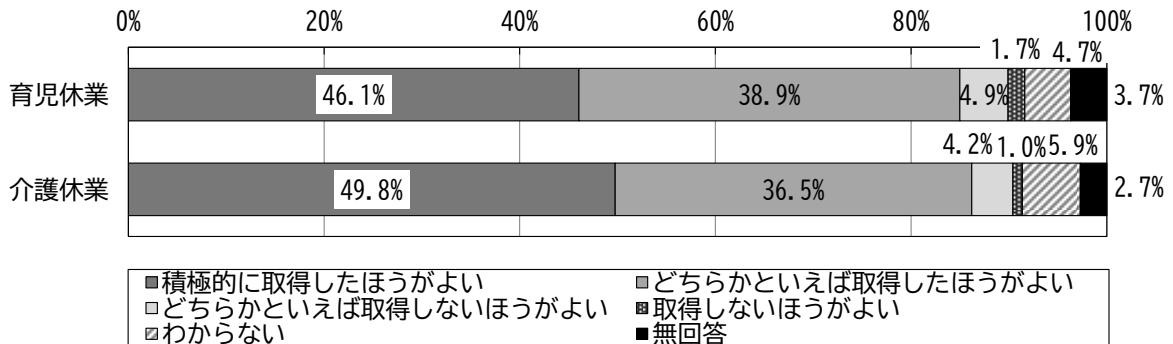
【性別・年齢別クロス】



問 13 育児や家族介護を行うために、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか。

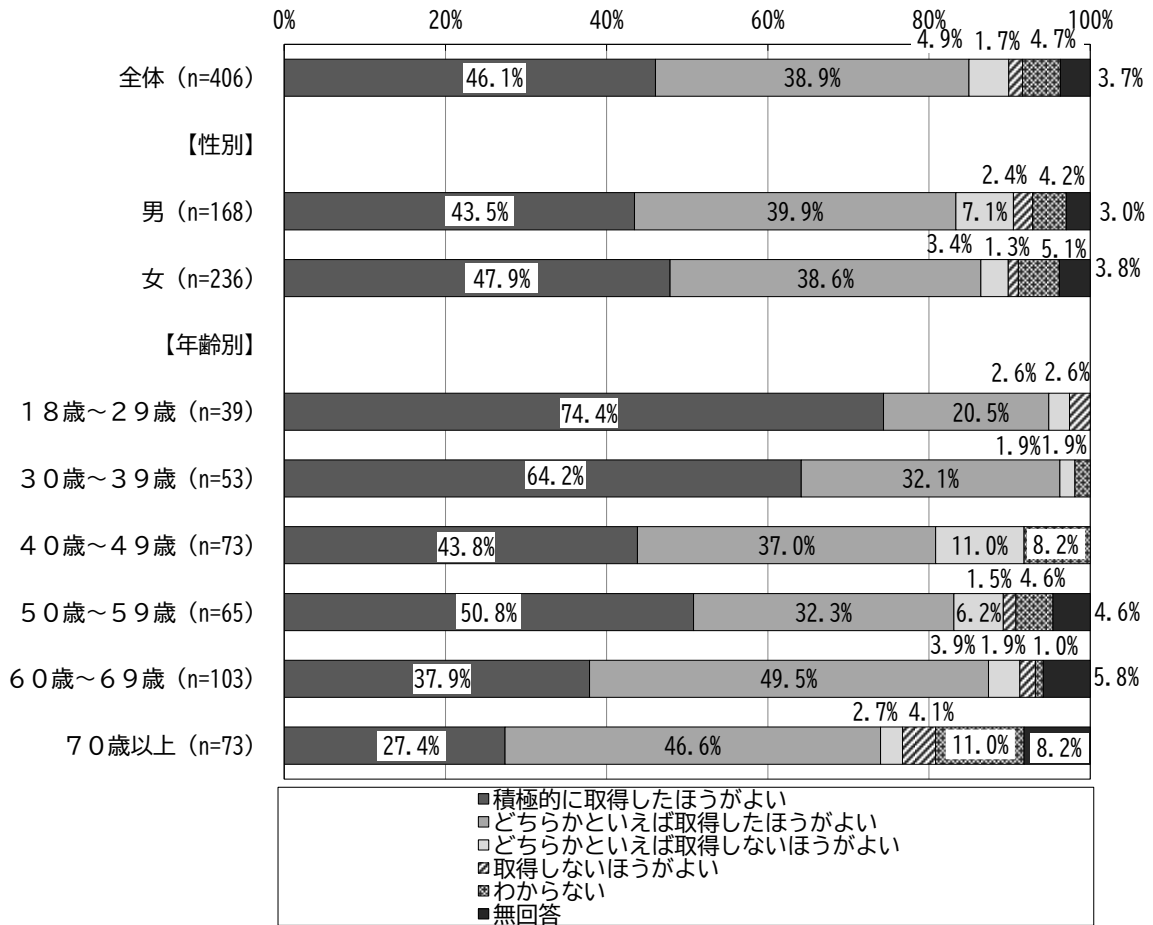
男性が育児休業や介護休業を取得することについて、「育児休業」では、「積極的に取得したほうがよい (46.1%)」、「どちらかといえば取得したほうがよい (38.9%)」合わせて 85.0% となっています。

「介護休業」では、「積極的に取得したほうがよい (49.8%)」、「どちらかといえば取得したほうがよい (36.5%)」合わせて 86.3% となっています。

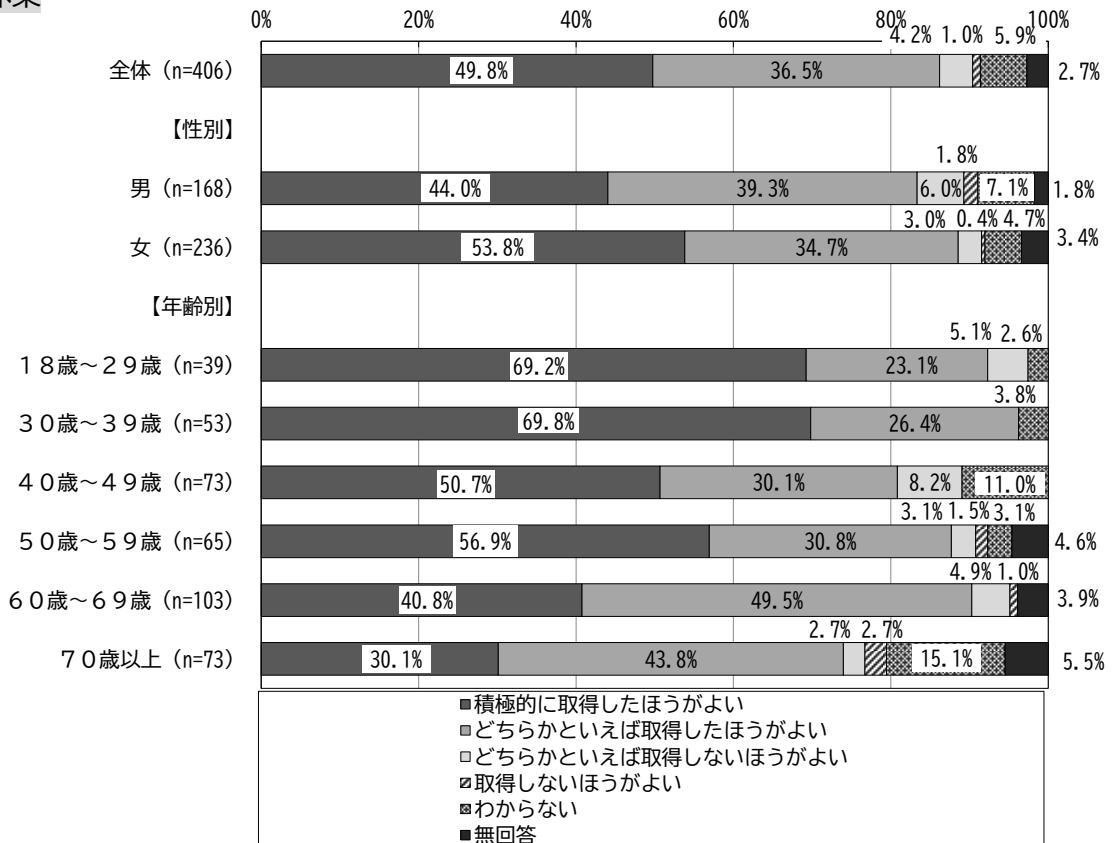


| 項目 (度数) | 積極的に取得したほうがよい | どちらかといえば取得したほうがよい | どちらかといえば取得しないほうがよい | 取得しないほうがよい | わからない | 無回答 | 回答者数 |
|--------------|---------------|-------------------|--------------------|------------|-------|------|--------|
| 育児休業 | 187 | 158 | 20 | 7 | 19 | 15 | 406 |
| 介護休業 | 202 | 148 | 17 | 4 | 24 | 11 | 406 |
| 項目 (構成比) | 積極的に取得したほうがよい | どちらかといえば取得したほうがよい | どちらかといえば取得しないほうがよい | 取得しないほうがよい | わからない | 無回答 | 回答者数 |
| 育児休業 (n=406) | 46.1% | 38.9% | 4.9% | 1.7% | 4.7% | 3.7% | 100.0% |
| 介護休業 (n=406) | 49.8% | 36.5% | 4.2% | 1.0% | 5.9% | 2.7% | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】
育児休業

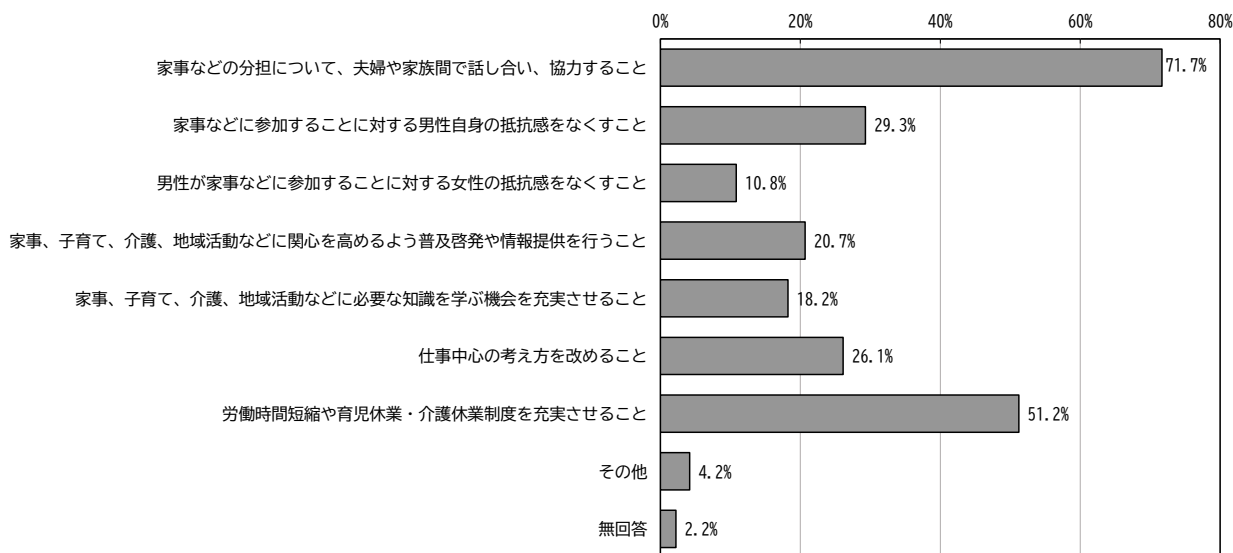


介護休業



問 14 男女が共に、家事、子育て、介護等に参加するためには何が必要だと思いますか。次の中から、3つ以内で選んでください。

男女が共に、家事、子育て、介護等に参加するために必要なことについては、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」が71.7%と最も多く、次いで「労働時間短縮や育児休業・介護休業制度を充実させること」が51.2%、「家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が29.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること | 291 | 71.7% |
| 家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと | 119 | 29.3% |
| 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと | 44 | 10.8% |
| 家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと | 84 | 20.7% |
| 家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること | 74 | 18.2% |
| 仕事中心の考え方を改めること | 106 | 26.1% |
| 労働時間短縮や育児休業・介護休業制度を充実させること | 208 | 51.2% |
| その他 | 17 | 4.2% |
| 無回答 | 9 | 2.2% |
| 回答者数 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 家事などの負担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること | 家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすること | 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすること | 家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと | 家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること | 仕事中心の考え方を改めること | 労働時間短縮や育児休業・介護休業制度を充実させること | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|----------------|----------------------------|------------|-------------|------|
| 全体 | 291 71.7% | 119 29.3% | 44 10.8% | 84 20.7% | 74 18.2% | 106 26.1% | 208 51.2% | 17 4.2% | 9 2.2% | 406 |
| 男 | 120 71.4% | 39 23.2% | 16 9.5% | 30 17.9% | 26 15.5% | 53 31.5% | 89 53.0% | 7 4.2% | 4 2.4% | 168 |
| 女 | 170 72.0% | 79 33.5% | 28 11.9% | 54 22.9% | 48 20.3% | 53 22.5% | 118 50.0% | 10 4.2% | 4 1.7% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

【年齢別クロス】

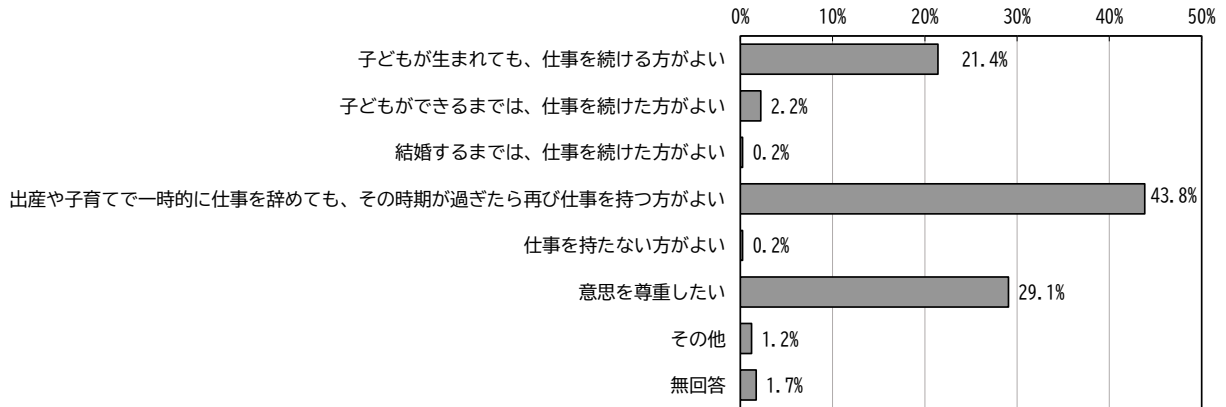
(上段：度数、下段：比率)

| | 家事などの負担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること | 家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすること | 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすること | 家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと | 家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること | 仕事中心の考え方を改めること | 労働時間短縮や育児休業・介護休業制度を充実させること | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|---------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|----------------|----------------------------|------------|-----------|------|
| 全体 | 291 71.7% | 119 29.3% | 44 10.8% | 84 20.7% | 74 18.2% | 106 26.1% | 208 51.2% | 17 4.2% | 9 2.2% | 406 |
| 18歳～29歳 | 28 71.8% | 9 23.1% | 2 5.1% | 8 20.5% | 9 23.1% | 11 28.2% | 19 48.7% | 1 2.6% | 0 0.0% | 39 |
| 30歳～39歳 | 35 66.0% | 19 35.8% | 7 13.2% | 10 18.9% | 10 18.9% | 18 34.0% | 36 67.9% | 3 5.7% | 0 0.0% | 53 |
| 40歳～49歳 | 53 72.6% | 17 23.3% | 8 11.0% | 14 19.2% | 12 16.4% | 15 20.5% | 44 60.3% | 5 6.8% | 0 0.0% | 73 |
| 50歳～59歳 | 40 61.5% | 18 27.7% | 7 10.8% | 14 21.5% | 6 9.2% | 22 33.8% | 31 47.7% | 4 6.2% | 3 4.6% | 65 |
| 60歳～69歳 | 84 81.6% | 37 35.9% | 9 8.7% | 21 20.4% | 22 21.4% | 24 23.3% | 52 50.5% | 2 1.9% | 2 1.9% | 103 |
| 70歳以上 | 51 69.9% | 19 26.0% | 11 15.1% | 17 23.3% | 15 20.5% | 16 21.9% | 26 35.6% | 2 2.7% | 4 5.5% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

仕事について

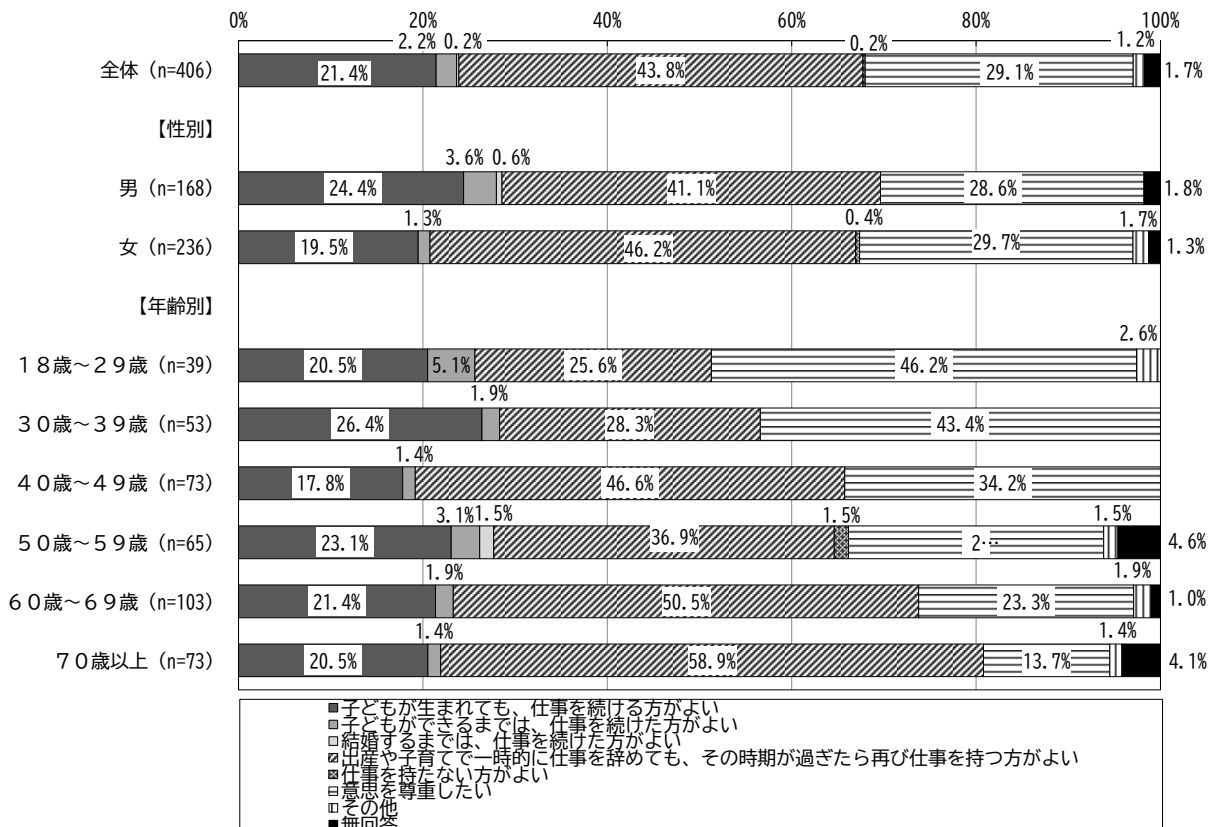
問 15 あなたは、女性の働き方についてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを、1つ選んでください。

女性の働き方についての考えについては、「出産や子育てで一時的に仕事を辞めても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」が43.8%と最も多く、次いで「意思を尊重したい」が29.1%、「子どもが生まれても、仕事を続ける方がよい」が21.4%となっています。



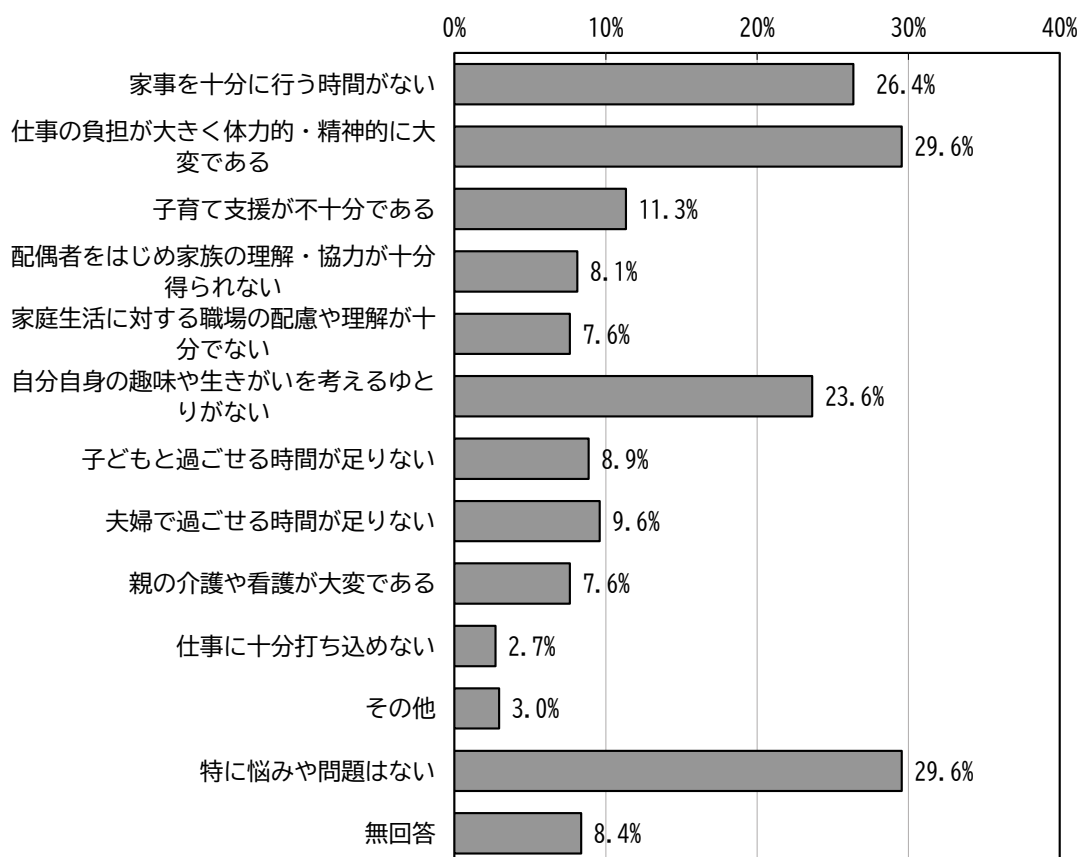
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---|-----|--------|
| 子どもが生まれても、仕事を続ける方がよい | 87 | 21.4% |
| 子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい | 9 | 2.2% |
| 結婚するまでは、仕事を続けた方がよい | 1 | 0.2% |
| 出産や子育てで一時的に仕事を辞めても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい | 178 | 43.8% |
| 仕事を持たない方がよい | 1 | 0.2% |
| 意思を尊重したい | 118 | 29.1% |
| その他 | 5 | 1.2% |
| 無回答 | 7 | 1.7% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



問 16 あなたの仕事と家庭生活を両立させる上で、悩み・問題は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

仕事と家庭生活を両立させる上での悩みや問題については、「仕事の負担が大きく体力的・精神的に大変である」が 29.6%と最も多く、次いで「家事を十分に行う時間がない」が 26.4%、「自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない」が 23.6%となっています。また、「特に悩みや問題はない」の回答は 29.6%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|-------------------------|-----|-------|
| 家事を十分に行う時間がない | 107 | 26.4% |
| 仕事の負担が大きく体力的・精神的に大変である | 120 | 29.6% |
| 子育て支援が不十分である | 46 | 11.3% |
| 配偶者をはじめ家族の理解・協力が十分得られない | 33 | 8.1% |
| 家庭生活に対する職場の配慮や理解が十分でない | 31 | 7.6% |
| 自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない | 96 | 23.6% |
| 子どもと過ごせる時間が足りない | 36 | 8.9% |
| 夫婦で過ごせる時間が足りない | 39 | 9.6% |
| 親の介護や看護が大変である | 31 | 7.6% |
| 仕事に十分打ち込めない | 11 | 2.7% |
| その他 | 12 | 3.0% |
| 特に悩みや問題はない | 120 | 29.6% |
| 無回答 | 34 | 8.4% |
| 回答者数 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 家事を十分に 行う時間がない | 仕事の負担が 大きく体力的・精神的に 大変である | 子育てで支 援が不十分である | 配偶者を はじめ家族の理 解・協力が十分得 られない | 家庭生活 に対する職場の配 慮や理解が十分で ない | 自分自身 の趣味や 生きがい を考える ゆとりがない | 子どもと 過ごせる 時間が足 りない | 夫婦で過 ごせる時 間が足り ない | 親の介護 や看護が 大変であ る | 仕事に十 分打ち込 めない | その他 | 特に悩み や問題は ない | 無回答 | 回答者数 |
|-----|-------------------|--------------------------------|-------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------|------------|--------------------|-------------|------|
| 全体 | 107 26.4% | 120 29.6% | 46 11.3% | 33 8.1% | 31 7.6% | 96 23.6% | 36 8.9% | 39 9.6% | 31 7.6% | 11 2.7% | 12 3.0% | 120 29.6% | 34 8.4% | 406 |
| 男 | 38 22.6% | 56 33.3% | 20 11.9% | 10 6.0% | 18 10.7% | 29 17.3% | 12 7.1% | 21 12.5% | 15 8.9% | 6 3.6% | 1 0.6% | 52 31.0% | 12 7.1% | 168 |
| 女 | 69 29.2% | 64 27.1% | 26 11.0% | 23 9.7% | 13 5.5% | 67 28.4% | 24 10.2% | 18 7.6% | 16 6.8% | 5 2.1% | 11 4.7% | 67 28.4% | 21 8.9% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

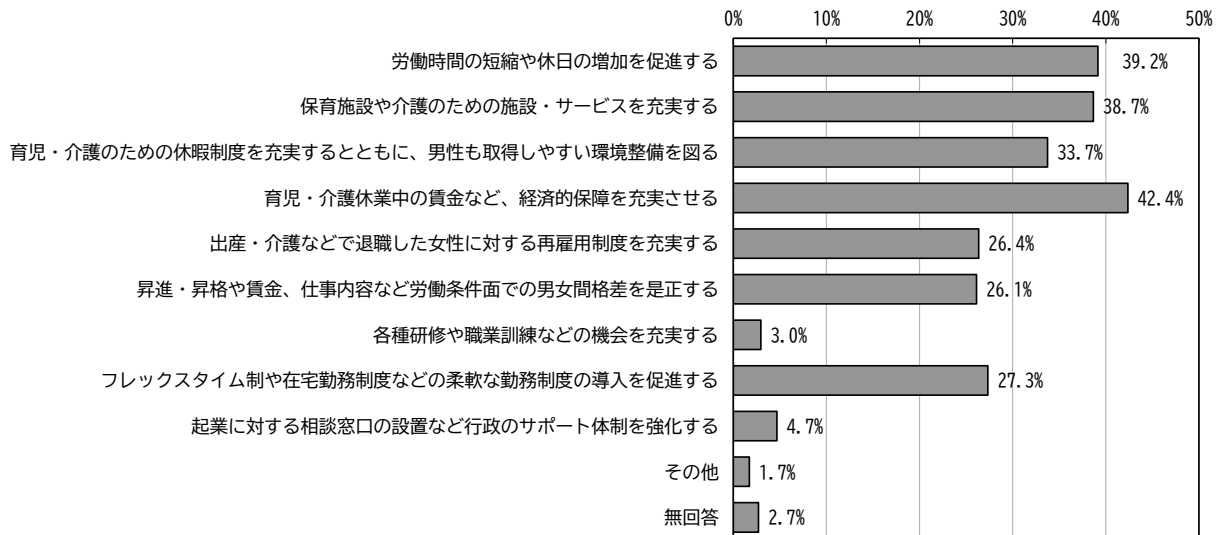
【年齢別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 家事を十分に 行う時間がない | 仕事の負担が 大きく体力的・精神的に 大変である | 子育てで支 援が不十分である | 配偶者を はじめ家族の理 解・協力が十分得 られない | 家庭生活 に対する職場の配 慮や理解が十分で ない | 自分自身 の趣味や 生きがい を考える ゆとりがない | 子どもと 過ごせる 時間が足 りない | 夫婦で過 ごせる時 間が足り ない | 親の介護 や看護が 大変であ る | 仕事に十 分打ち込 めない | その他 | 特に悩み や問題は ない | 無回答 | 回答者数 |
|---------|-------------------|--------------------------------|-------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------|------------|--------------------|-------------|------|
| 全体 | 107 26.4% | 120 29.6% | 46 11.3% | 33 8.1% | 31 7.6% | 96 23.6% | 36 8.9% | 39 9.6% | 31 7.6% | 11 2.7% | 12 3.0% | 120 29.6% | 34 8.4% | 406 |
| 18歳～29歳 | 12 30.8% | 13 33.3% | 5 12.8% | 0 0.0% | 2 5.1% | 11 28.2% | 3 7.7% | 3 7.7% | 2 5.1% | 1 2.6% | 2 5.1% | 14 35.9% | 0 0.0% | 39 |
| 30歳～39歳 | 22 41.5% | 21 39.6% | 15 28.3% | 5 9.4% | 8 15.1% | 20 37.7% | 8 15.1% | 6 11.3% | 2 3.8% | 3 5.7% | 3 5.7% | 9 17.0% | 1 1.9% | 53 |
| 40歳～49歳 | 26 35.6% | 25 34.2% | 17 23.3% | 2 2.7% | 5 6.8% | 17 23.3% | 13 17.8% | 11 15.1% | 5 6.8% | 2 2.7% | 1 1.4% | 19 26.0% | 1 1.4% | 73 |
| 50歳～59歳 | 18 27.7% | 22 33.8% | 4 6.2% | 8 12.3% | 4 6.2% | 13 20.0% | 2 3.1% | 7 10.8% | 9 13.8% | 3 4.6% | 3 4.6% | 15 23.1% | 4 6.2% | 65 |
| 60歳～69歳 | 18 17.5% | 26 25.2% | 5 4.9% | 11 10.7% | 8 7.8% | 25 24.3% | 5 4.9% | 8 7.8% | 12 11.7% | 2 1.9% | 2 1.9% | 38 36.9% | 12 11.7% | 103 |
| 70歳以上 | 11 15.1% | 13 17.8% | 0 0.0% | 7 9.6% | 4 5.5% | 10 13.7% | 5 6.8% | 4 5.5% | 1 1.4% | 0 0.0% | 1 1.4% | 25 34.2% | 16 21.9% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

問 17 あなたは、誰もが働きやすい社会にするためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から、3つ以内で選んでください。

誰もが働きやすい社会にするために必要だと思うことについては、「育児・介護休業中の賃金など、経済的保障を充実させる」が42.4%と最も多く、次いで「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」が39.2%、「保育施設や介護のための施設・サービスを充実する」が38.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 労働時間の短縮や休日の増加を促進する | 159 | 39.2% |
| 保育施設や介護のための施設・サービスを充実する | 157 | 38.7% |
| 育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る | 137 | 33.7% |
| 育児・介護休業中の賃金など、経済的保障を充実させる | 172 | 42.4% |
| 出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度を充実する | 107 | 26.4% |
| 昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する | 106 | 26.1% |
| 各種研修や職業訓練などの機会を充実する | 12 | 3.0% |
| フレックスタイム制【※】や在宅勤務制度などの柔軟な勤務制度の導入を促進する | 111 | 27.3% |
| 起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制を強化する | 19 | 4.7% |
| その他 | 7 | 1.7% |
| 無回答 | 11 | 2.7% |
| 回答者数 | 406 | |

※フレックスタイム制とは

労働協定に基づき、労働者が各自の始業時刻と終業時刻を原則として自由に決められる制度

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 労働時間の短縮や休日の増加を促進する | 保育施設や介護のための施設・サービスを充実する | 育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る | 育児・介護休業中の賃金など、経済的保障を充実させる | 出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度を充実する | 昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する | 各種研修や職業訓練などの機会を充実する | フレックスタイム制【※】や在宅勤務制度などの柔軟な勤務制度の導入を促進する | 起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制を強化する | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|--------------------|-------------------------|---|---------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 159 39.2% | 157 38.7% | 137 33.7% | 172 42.4% | 107 26.4% | 106 26.1% | 12 3.0% | 111 27.3% | 19 4.7% | 7 1.7% | 11 2.7% | 406 |
| 男 | 83 49.4% | 55 32.7% | 57 33.9% | 68 40.5% | 43 25.6% | 38 22.6% | 4 2.4% | 44 26.2% | 11 6.5% | 2 1.2% | 5 3.0% | 168 |
| 女 | 75 31.8% | 102 43.2% | 80 33.9% | 104 44.1% | 64 27.1% | 67 28.4% | 8 3.4% | 66 28.0% | 8 3.4% | 5 2.1% | 5 2.1% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

【年齢別クロス】

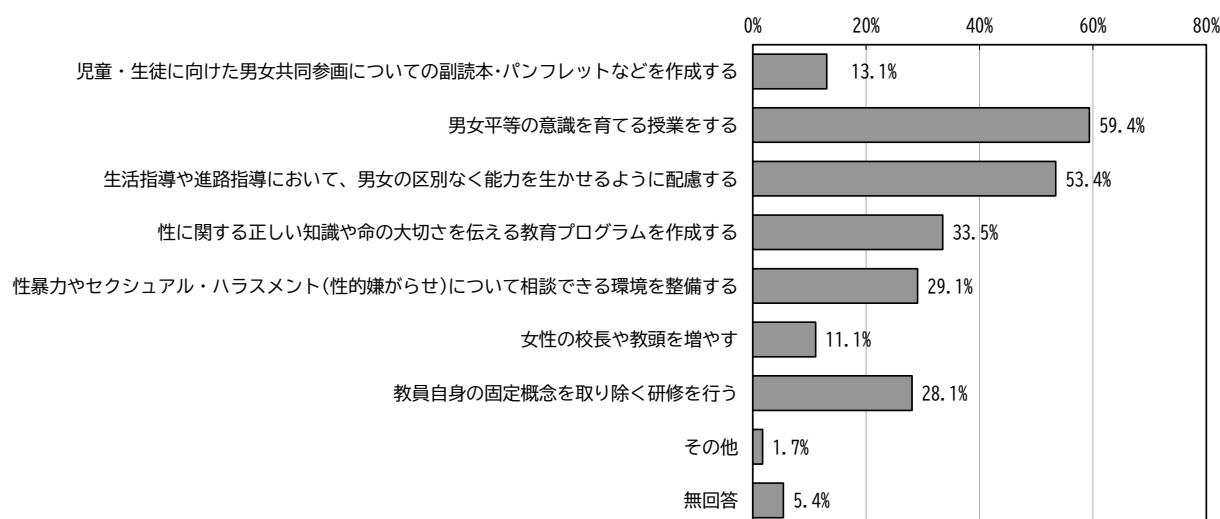
(上段：度数、下段：比率)

| | 労働時間の短縮や休日の増加を促進する | 保育施設や介護のための施設・サービスを充実する | 育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る | 育児・介護休業中の賃金など、経済的保障を充実させる | 出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度を充実する | 昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する | 各種研修や職業訓練などの機会を充実する | フレックスタイム制【※】や在宅勤務制度などの柔軟な勤務制度の導入を促進する | 起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制を強化する | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|---------|--------------------|-------------------------|---|---------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-----------|------------|------|
| 全体 | 159 39.2% | 157 38.7% | 137 33.7% | 172 42.4% | 107 26.4% | 106 26.1% | 12 3.0% | 111 27.3% | 19 4.7% | 7 1.7% | 11 2.7% | 406 |
| 18歳～29歳 | 19 48.7% | 12 30.8% | 16 41.0% | 16 41.0% | 8 20.5% | 10 25.6% | 1 2.6% | 13 33.3% | 0 0.0% | 2 5.1% | 0 0.0% | 39 |
| 30歳～39歳 | 30 56.6% | 14 26.4% | 14 26.4% | 26 49.1% | 8 15.1% | 19 35.8% | 1 1.9% | 21 39.6% | 2 3.8% | 1 1.9% | 1 1.9% | 53 |
| 40歳～49歳 | 33 45.2% | 15 20.5% | 30 41.1% | 35 47.9% | 15 20.5% | 21 28.8% | 0 0.0% | 21 28.8% | 2 2.7% | 1 1.4% | 1 1.4% | 73 |
| 50歳～59歳 | 22 33.8% | 21 32.3% | 15 23.1% | 31 47.7% | 16 24.6% | 16 24.6% | 2 3.1% | 18 27.7% | 5 7.7% | 2 3.1% | 3 4.6% | 65 |
| 60歳～69歳 | 31 30.1% | 58 56.3% | 38 36.9% | 41 39.8% | 29 28.2% | 26 25.2% | 5 4.9% | 26 25.2% | 6 5.8% | 0 0.0% | 2 1.9% | 103 |
| 70歳以上 | 24 32.9% | 37 50.7% | 24 32.9% | 23 31.5% | 31 42.5% | 14 19.2% | 3 4.1% | 12 16.4% | 4 5.5% | 1 1.4% | 4 5.5% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

学校教育について

問 18 学校教育（小・中学校）のなかで男女平等を進めるための取組みとして、特に何に力を入れるべきだと思いますか。次の中から、3つ以内で選んでください。

学校教育のなかで男女平等を進めるための取組みとして、特に力を入れるべきことについては、「男女平等の意識を育てる授業をする」が59.4%と最も多く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」が53.4%、「性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する」が33.5%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 児童・生徒に向けた男女共同参画についての副読本・パンフレットなどを作成する | 53 | 13.1% |
| 男女平等の意識を育てる授業をする | 241 | 59.4% |
| 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する | 217 | 53.4% |
| 性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する | 136 | 33.5% |
| 性暴力やセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)について相談できる環境を整備する | 118 | 29.1% |
| 女性の校長や教頭を増やす | 45 | 11.1% |
| 教員自身の固定概念を取り除く研修を行う | 114 | 28.1% |
| その他 | 7 | 1.7% |
| 無回答 | 22 | 5.4% |
| 回答者数 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 児童・生徒に向けた男女共同参画についての副読本・パンフレットなどを作成する | 男女平等の意識を育てる授業をする | 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する | 性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する | 性暴力やセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)について相談できる環境を整備する | 女性の校長や教頭を増やす | 教員自身の固定概念を取り除く研修を行う | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|---------------------------------------|------------------|-------------------------------------|----------------------------------|---|--------------|---------------------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 53 13.1% | 241 59.4% | 217 53.4% | 136 33.5% | 118 29.1% | 45 11.1% | 114 28.1% | 7 1.7% | 22 5.4% | 406 |
| 男 | 25 14.9% | 115 68.5% | 83 49.4% | 54 32.1% | 47 28.0% | 20 11.9% | 46 27.4% | 2 1.2% | 7 4.2% | 168 |
| 女 | 28 11.9% | 125 53.0% | 133 56.4% | 82 34.7% | 71 30.1% | 25 10.6% | 67 28.4% | 5 2.1% | 14 5.9% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

【年齢別クロス】

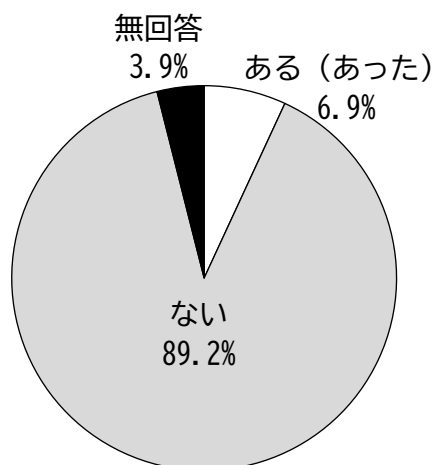
(上段：度数、下段：比率)

| | 児童・生徒に向けた男女共同参画についての副読本・パンフレットなどを作成する | 男女平等の意識を育てる授業をする | 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する | 性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する | 性暴力やセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)について相談できる環境を整備する | 女性の校長や教頭を増やす | 教員自身の固定概念を取り除く研修を行う | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|---------|---------------------------------------|------------------|-------------------------------------|----------------------------------|---|--------------|---------------------|-----------|------------|------|
| 全体 | 53 13.1% | 241 59.4% | 217 53.4% | 136 33.5% | 118 29.1% | 45 11.1% | 114 28.1% | 7 1.7% | 22 5.4% | 406 |
| 18歳～29歳 | 5 12.8% | 18 46.2% | 22 56.4% | 12 30.8% | 14 35.9% | 8 20.5% | 12 30.8% | 0 0.0% | 0 0.0% | 39 |
| 30歳～39歳 | 3 5.7% | 33 62.3% | 27 50.9% | 22 41.5% | 15 28.3% | 7 13.2% | 19 35.8% | 1 1.9% | 2 3.8% | 53 |
| 40歳～49歳 | 8 11.0% | 48 65.8% | 33 45.2% | 28 38.4% | 21 28.8% | 12 16.4% | 18 24.7% | 2 2.7% | 2 2.7% | 73 |
| 50歳～59歳 | 3 4.6% | 37 56.9% | 29 44.6% | 20 30.8% | 15 23.1% | 7 10.8% | 23 35.4% | 2 3.1% | 5 7.7% | 65 |
| 60歳～69歳 | 19 18.4% | 60 58.3% | 59 57.3% | 32 31.1% | 31 30.1% | 7 6.8% | 30 29.1% | 1 1.0% | 6 5.8% | 103 |
| 70歳以上 | 15 20.5% | 45 61.6% | 47 64.4% | 22 30.1% | 22 30.1% | 4 5.5% | 12 16.4% | 1 1.4% | 7 9.6% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

男女の人権について

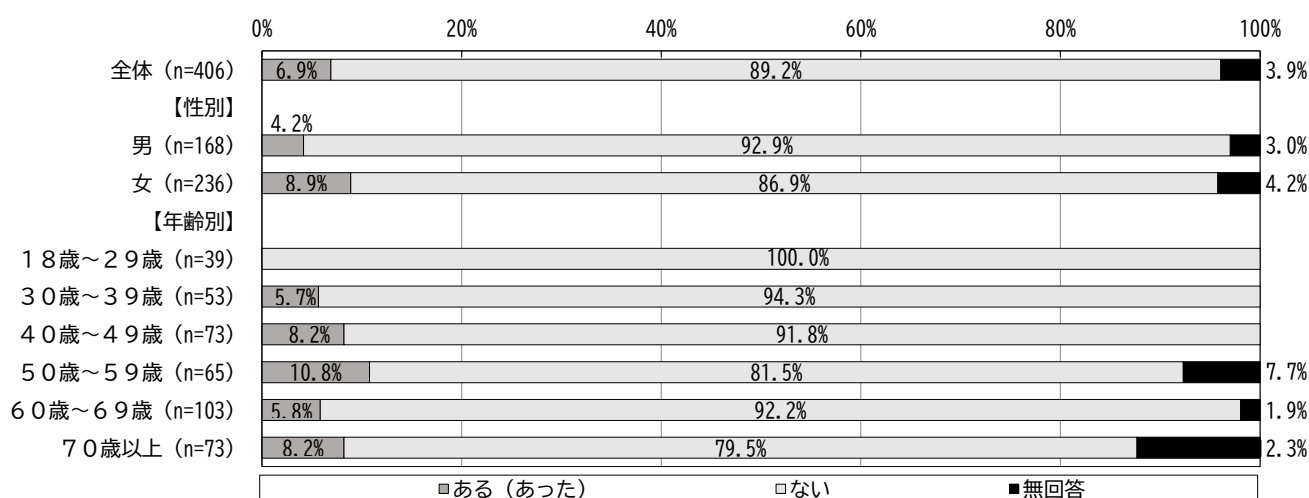
問 19 DVが社会問題となっていますが、あなたはDVを受けた経験がありますか。

DVを受けた経験があるかについては、「ない」が89.2%と最も多く、次いで「ある(あった)」が6.9%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| ある(あった) | 28 | 6.9% |
| ない | 362 | 89.2% |
| 無回答 | 16 | 3.9% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



問 19-1 あなたが経験したDVはどのようなものですか。

あなたが経験した DV はどのようなものかについて、「何を言っても無視された」では、「何回もあった」、「1～2回あった」がともに8件となっています。

「交友関係や電話等を細かく監視された」では、「何回もあった」が8件、「1～2回あった」が5件となっています。

「大声でどなられた、『ばか、役立たず』などと人格を否定された」では、「何回もあった」が12件、「1～2回あった」が6件となっています。

「物を投げるまねや、叩くまねで脅された」では、「1～2回あった」が8件、「何回もあった」が6件となっています。

「実際に物を投げられたり、叩かれたりした」では、「何回もあった」、「1～2回あった」がともに8件となっています。

「見たくないのにわいせつな雑誌やビデオを見せられた」では、「1～2回あった」が4件、「何回かあった」が1件となっています。

「避妊に協力しない」では、「1～2回あった」が4件、「何回かあった」が1件となっています。

「嫌がっているのに性的な行為を強要された」では、「何回もあった」、「1～2回あった」がともに4件となっています。

「生活費をくれないなど経済的に押さえつけられた」では、「何回もあった」が4件、「1～2回あった」が3件となっています。

| 項目 (度数) | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 | 回答計 |
|---------------------------------------|--------|---------|-------|------|-----|-----|
| 何を言っても無視された | 8 | 8 | 12 | 28 | 378 | 406 |
| 交友関係や電話等を細かく監視された | 8 | 5 | 15 | 28 | 378 | 406 |
| 大声でどなられたり、「ばか、役立たず」などと人格を否定された | 12 | 6 | 10 | 28 | 378 | 406 |
| 物を投げるまねや、叩くまねで脅された | 6 | 8 | 14 | 28 | 378 | 406 |
| 実際に物を投げられたり、叩かれたりした | 8 | 8 | 12 | 28 | 378 | 406 |
| 見たくないのにわいせつな雑誌やビデオを見せられた | 1 | 4 | 23 | 28 | 378 | 406 |
| 避妊に協力しない | 1 | 4 | 23 | 28 | 378 | 406 |
| 嫌がっているのに性的な行為を強要された | 4 | 4 | 20 | 28 | 378 | 406 |
| 生活費をくれないなど経済的に押さえつけられた | 4 | 3 | 21 | 28 | 378 | 406 |
| 項目 (構成比) | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 | 回答計 |
| 何を言っても無視された (n=28) | 28.6% | 28.6% | 42.9% | | | |
| 交友関係や電話等を細かく監視された (n=28) | 28.6% | 17.9% | 53.6% | | | |
| 大声でどなられたり、「ばか、役立たず」などと人格を否定された (n=28) | 42.9% | 21.4% | 35.7% | | | |
| 物を投げるまねや、叩くまねで脅された (n=28) | 21.4% | 28.6% | 50.0% | | | |
| 実際に物を投げられたり、叩かれたりした (n=28) | 28.6% | 28.6% | 42.9% | | | |
| 見たくないのにわいせつな雑誌やビデオを見せられた (n=28) | 3.6% | 14.3% | 82.1% | | | |
| 避妊に協力しない (n=28) | 3.6% | 14.3% | 82.1% | | | |
| 嫌がっているのに性的な行為を強要された (n=28) | 14.3% | 14.3% | 71.4% | | | |
| 生活費をくれないなど経済的に押さえつけられた (n=28) | 14.3% | 10.7% | 75.0% | | | |

【性別・年齢別クロス】
何を言っても無視された

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回 あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|----|---------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----|
| 全体 | | 8 28.6% | 8 28.6% | 12 42.9% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 2 28.6% | 3 42.9% | 2 28.6% | 7 | 161 |
| | 女 | 6 28.6% | 5 23.8% | 10 47.6% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |
| | 30歳～39歳 | 3 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 2 28.6% | 3 42.9% | 2 28.6% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 0 0.0% | 3 50.0% | 3 50.0% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 2 33.3% | 1 16.7% | 3 50.0% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

交友関係や電話等を細かく監視された

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回 あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|----|---------|------------|-------------|-------------|-----------|-----|
| 全体 | | 8 28.6% | 5 17.9% | 15 53.6% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 1 14.3% | 3 42.9% | 3 42.9% | 7 | 161 |
| | 女 | 7 33.3% | 2 9.5% | 12 57.1% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |
| | 30歳～39歳 | 1 33.3% | 0 0.0% | 2 66.7% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 2 33.3% | 1 16.7% | 3 50.0% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 3 42.9% | 3 42.9% | 1 14.3% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 1 16.7% | 0 0.0% | 5 83.3% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

大声でどなられたり、「ばか、役立たず」などと人格を否定された

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|-------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 12 42.9% | 6 21.4% | 10 35.7% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 1 14.3% | 3 42.9% | 3 42.9% | 7 | 161 |
| | 女 | 11 52.4% | 3 14.3% | 7 33.3% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 2 66.7% | 0 0.0% | 1 33.3% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 1 16.7% | 2 33.3% | 3 50.0% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 4 57.1% | 2 28.6% | 1 14.3% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 2 33.3% | 1 16.7% | 3 50.0% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 3 50.0% | 1 16.7% | 2 33.3% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

物を投げるまねや、叩くまねで脅された

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 6 21.4% | 8 28.6% | 14 50.0% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 0 0.0% | 4 57.1% | 3 42.9% | 7 | 161 |
| | 女 | 6 28.6% | 4 19.0% | 11 52.4% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 2 66.7% | 0 0.0% | 1 33.3% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 1 16.7% | 2 33.3% | 3 50.0% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 2 28.6% | 2 28.6% | 3 42.9% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 0 0.0% | 3 50.0% | 3 50.0% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

実際に物を投げられたり、叩かれたりした

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 8 28.6% | 8 28.6% | 12 42.9% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 1 14.3% | 4 57.1% | 2 28.6% | 7 | 161 |
| | 女 | 7 33.3% | 4 19.0% | 10 47.6% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 2 66.7% | 0 0.0% | 1 33.3% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 1 16.7% | 3 50.0% | 2 33.3% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 2 28.6% | 2 28.6% | 3 42.9% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 1 16.7% | 2 33.3% | 3 50.0% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 2 33.3% | 1 16.7% | 3 50.0% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

見たくないのにわいせつな雑誌やビデオを見せられた

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 1 3.6% | 4 14.3% | 23 82.1% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 0 0.0% | 3 42.9% | 4 57.1% | 7 | 161 |
| | 女 | 1 4.8% | 1 4.8% | 19 90.5% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 100.0% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 0 0.0% | 2 33.3% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 0 0.0% | 1 14.3% | 6 85.7% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 0 0.0% | 0 0.0% | 6 100.0% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

避妊に協力しない

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 1 3.6% | 4 14.3% | 23 82.1% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 0 0.0% | 3 42.9% | 4 57.1% | 7 | 161 |
| | 女 | 1 4.8% | 1 4.8% | 19 90.5% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 100.0% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 0 0.0% | 2 33.3% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 1 14.3% | 0 0.0% | 6 85.7% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 0 0.0% | 1 16.7% | 5 83.3% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 0 0.0% | 1 16.7% | 5 83.3% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

嫌がっているのに性的な行為を強要された

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 4 14.3% | 4 14.3% | 20 71.4% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 0 0.0% | 4 57.1% | 3 42.9% | 7 | 161 |
| | 女 | 4 19.0% | 0 0.0% | 17 81.0% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 100.0% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 0 0.0% | 2 33.3% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 2 28.6% | 1 14.3% | 4 57.1% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 1 16.7% | 0 0.0% | 5 83.3% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

生活費をくれないなど経済的に押さえつけられた

(上段：度数、下段：比率)

| | | 何回もあった | 1～2回あった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 4 14.3% | 3 10.7% | 21 75.0% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 0 0.0% | 3 42.9% | 4 57.1% | 7 | 161 |
| | 女 | 4 19.0% | 0 0.0% | 17 81.0% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | | | | | | |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 2 66.7% | 0 0.0% | 1 33.3% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 0 0.0% | 2 33.3% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 1 14.3% | 0 0.0% | 6 85.7% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 0 0.0% | 1 16.7% | 5 83.3% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 1 16.7% | 0 0.0% | 5 83.3% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |
| | | | | | | |

問 20 DVの被害にあったとき、誰（どこ）かに相談しましたか。次の中から1つ選んでください。

DVの被害にあったとき、相談したかについては、「相談しようとは思わなかった」が13件と最も多く、次いで「相談した」、「相談したかったが、できなかった」がともに5件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| 相談した | 5 | 17.9% |
| 相談したかったが、できなかった | 5 | 17.9% |
| 相談しようとは思わなかった | 13 | 46.4% |
| 無回答 | 5 | 17.9% |
| 回答者数 | 28 | 100.0% |
| 非該当 | 378 | |
| 合計 | 406 | |

【性別・年齢別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | | 相談した | 相談したかったが、できなかった | 相談しようとは思わなかった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|---------|------------|-----------------|---------------|------------|------|-----|
| 全体 | | 5 17.9% | 5 17.9% | 13 46.4% | 5 17.9% | 28 | 378 |
| 性別 | 男 | 1 14.3% | 0 0.0% | 5 71.4% | 1 14.3% | 7 | 161 |
| | 女 | 4 19.0% | 5 23.8% | 8 38.1% | 4 19.0% | 21 | 215 |
| | どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| | | | | | | | |
| 年齢別 | 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| | 30歳～39歳 | 0 0.0% | 1 33.3% | 2 66.7% | 0 0.0% | 3 | 50 |
| | 40歳～49歳 | 1 16.7% | 0 0.0% | 5 83.3% | 0 0.0% | 6 | 67 |
| | 50歳～59歳 | 3 42.9% | 1 14.3% | 2 28.6% | 1 14.3% | 7 | 58 |
| | 60歳～69歳 | 1 16.7% | 2 33.3% | 3 50.0% | 0 0.0% | 6 | 97 |
| | 70歳以上 | 0 0.0% | 1 16.7% | 1 16.7% | 4 66.7% | 6 | 67 |
| | 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |
| | | | | | | | |

問 20-1 相談は誰（どこ）にしましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（電話相談も含みます。）

相談相手については、「親・きょうだいなどの親族」が3件と最も多く、次いで「友人・知人」が2件、「医療機関」、「弁護士などの専門家」がともに1件となっています。

| 項目 | 度数 | 比率 |
|--------------|-----|-------|
| 親・きょうだいなどの親族 | 3 | 60.0% |
| 友人・知人 | 2 | 40.0% |
| 民生委員 | 0 | 0.0% |
| 医療機関 | 1 | 20.0% |
| 警察 | 0 | 0.0% |
| 県や市などの相談窓口 | 0 | 0.0% |
| 弁護士などの専門家 | 1 | 20.0% |
| NPOなど民間相談機関 | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 5 | |
| 非該当 | 401 | |
| 合計 | 406 | |

【性別クロス】

（上段：度数、下段：比率）

| | 親・きょうだいなどの親族 | 友人・知人 | 民生委員 | 医療機関 | 警察 | 県や市などの相談窓口 | 弁護士などの専門家 | NPOなど民間相談機関 | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|--------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------|-----|
| 全体 | 3 60.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 | 401 |
| 男 | 1 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 | 167 |
| 女 | 2 50.0% | 2 50.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4 | 232 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |

【年齢別クロス】

（上段：度数、下段：比率）

| | 親・きょうだいなどの親族 | 友人・知人 | 民生委員 | 医療機関 | 警察 | 県や市などの相談窓口 | 弁護士などの専門家 | NPOなど民間相談機関 | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|---------|--------------|-------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-------------|-----------|-----------|------|-----|
| 全体 | 3 60.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 | 401 |
| 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| 30歳～39歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 53 |
| 40歳～49歳 | 0 0.0% | 1 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 | 72 |
| 50歳～59歳 | 3 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 | 62 |
| 60歳～69歳 | 0 0.0% | 1 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 | 102 |
| 70歳以上 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

問 21 相談しなかったのはどうしてですか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談しなかった理由については、「誰（どこ）に相談してよいかわからなかったから」、「相談しても無駄だと思ったから」がともに7件となっています。

| 項目 | 度数 | 比率 |
|-------------------------------------|-----|-------|
| 誰（どこ）に相談してよいかわからなかったから | 7 | 38.9% |
| 恥ずかしいと思ったから | 3 | 16.7% |
| 相談しても無駄だと思ったから | 7 | 38.9% |
| 相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力等を受けると思ったから | 3 | 16.7% |
| 相談相手（担当者）の言動により不快な思いをすと思ったから | 4 | 22.2% |
| 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 6 | 33.3% |
| 世間体が悪いから | 1 | 5.6% |
| 他人を巻き込みたくなかったから | 2 | 11.1% |
| 子どもや親族に危害が及ぶと思ったから | 2 | 11.1% |
| そのことについて思い出したくなかったから | 0 | 0.0% |
| 自分にも悪いところがあると思ったから | 2 | 11.1% |
| 相談するほどのことではないと思ったから | 5 | 27.8% |
| その他 | 2 | 11.1% |
| 無回答 | 2 | 11.1% |
| 回答者数 | 18 | |
| 非該当 | 388 | |
| 合計 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 誰（どこ）に相談してよいかわからなかったから | 恥ずかしいと思ったから | 相談しても無駄だと思ったから | 相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力等を受けると思ったから | 相談相手（担当者）の言動により不快な思いをすと思ったから | 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 世間体が悪いから | 他人を巻き込みたくなかったから | 子どもや親族に危害が及ぶと思ったから | そのことについて思い出したくなかったから | 自分にも悪いところがあると思ったから | 相談するほどのことではないと思ったから | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|-----|------------------------|-------------|----------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------|-----------|-----------------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------|------------|------------|------|-----|
| 全体 | 7 38.9% | 3 16.7% | 7 38.9% | 3 16.7% | 4 22.2% | 6 33.3% | 1 5.6% | 2 11.1% | 2 11.1% | 0 0.0% | 2 11.1% | 5 27.8% | 2 11.1% | 2 11.1% | 18 | 388 |
| 男 | 1 20.0% | 1 20.0% | 1 20.0% | 1 20.0% | 2 40.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 40.0% | 3 60.0% | 1 20.0% | 1 20.0% | 5 | 163 |
| 女 | 6 46.2% | 2 15.4% | 6 46.2% | 2 15.4% | 2 15.4% | 5 38.5% | 1 7.7% | 2 15.4% | 2 15.4% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 15.4% | 1 7.7% | 1 7.7% | 13 | 223 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |

【年齢別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 誰（どこ）に相談してよいかわからなかったから | 恥ずかしいと思ったから | 相談しても無駄だと思ったから | 相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力等を受けると思ったから | 相談相手（担当者）の言動により不快な思いをすと思ったから | 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 世間体が悪いから | 他人を巻き込みたくなかったから | 子どもや親族に危害が及ぶと思ったから | そのことについて思い出したくなかったから | 自分にも悪いところがあると思ったから | 相談するほどのことではないと思ったから | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|---------|------------------------|-------------|----------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------|------------|-----------------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------|------------|------------|------|-----|
| 全体 | 7 38.9% | 3 16.7% | 7 38.9% | 3 16.7% | 4 22.2% | 6 33.3% | 1 5.6% | 2 11.1% | 2 11.1% | 0 0.0% | 2 11.1% | 5 27.8% | 2 11.1% | 2 11.1% | 18 | 388 |
| 18歳～29歳 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 39 |
| 30歳～39歳 | 1 33.3% | 0 0.0% | 2 66.7% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 33.3% | 0 0.0% | 3 | 50 |
| 40歳～49歳 | 1 20.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 2 40.0% | 1 20.0% | 2 40.0% | 5 | 68 |
| 50歳～59歳 | 2 66.7% | 1 33.3% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 33.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 3 | 62 |
| 60歳～69歳 | 1 20.0% | 1 20.0% | 3 60.0% | 0 0.0% | 2 40.0% | 3 60.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 | 98 |
| 70歳以上 | 2 100.0% | 0 0.0% | 1 50.0% | 1 50.0% | 0 0.0% | 1 50.0% | 0 0.0% | 1 50.0% | 1 50.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 | 71 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

問 22 あなたは、職場や地域、学校でセクシュアル・ハラスメントや立場や権利を利用した嫌がらせを受けた経験もしくは目撃した経験がありますか。

【セクシュアル・ハラスメント】（性的嫌がらせ）

「嫌がっているのに性に関する話をされた」については、「経験がない」が 68.2%、「見たり、聞いたことがある」が 14.8%となっています。

「わけもなく身体を触られた」については、「経験がない」が 69.2%、「経験がある」が 9.6%となっています。

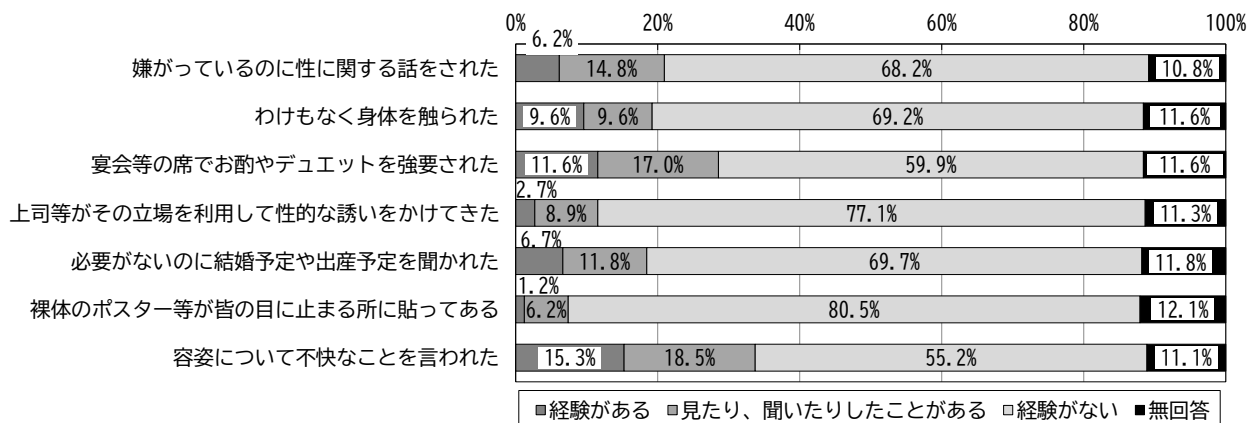
「宴会等の席でお酌やデュエットを強要された」については、「経験がない」が 59.9%、「見たり、聞いたことがある」が 17.0%となっています。

「上司等がその立場を利用して性的な誘いをかけてきた」については、「経験がない」が 77.1%、「見たり、聞いたことがある」が 8.9%となっています。

「必要がないのに結婚予定や出産予定を聞かれた」については、「経験がない」が 69.7%、「見たり、聞いたことがある」が 11.8%となっています。

「裸体のポスター等が皆の目に止まる所に貼ってある」については、「経験がない」が 80.5%、「見たり、聞いたことがある」が 6.2%となっています。

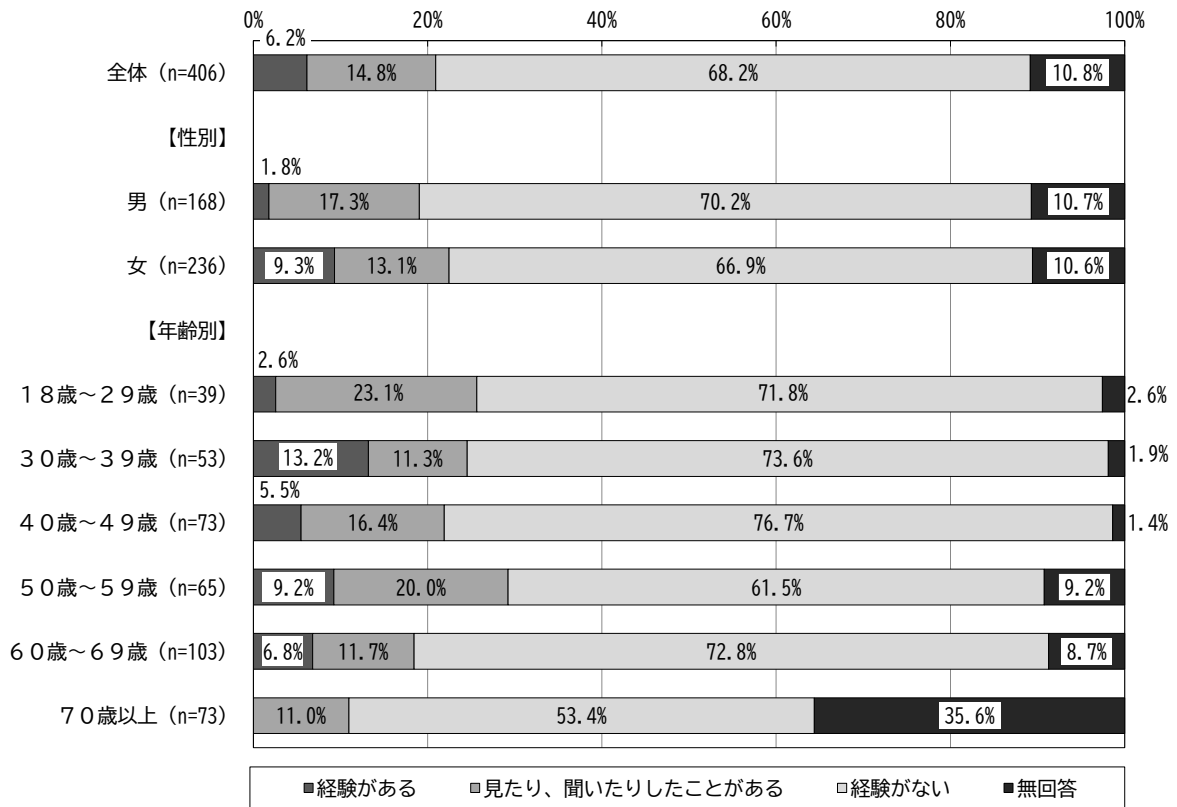
「容姿について不快なことを言われた」については、「経験がない」が 55.2%、「見たり、聞いたことがある」が 18.5%となっています。



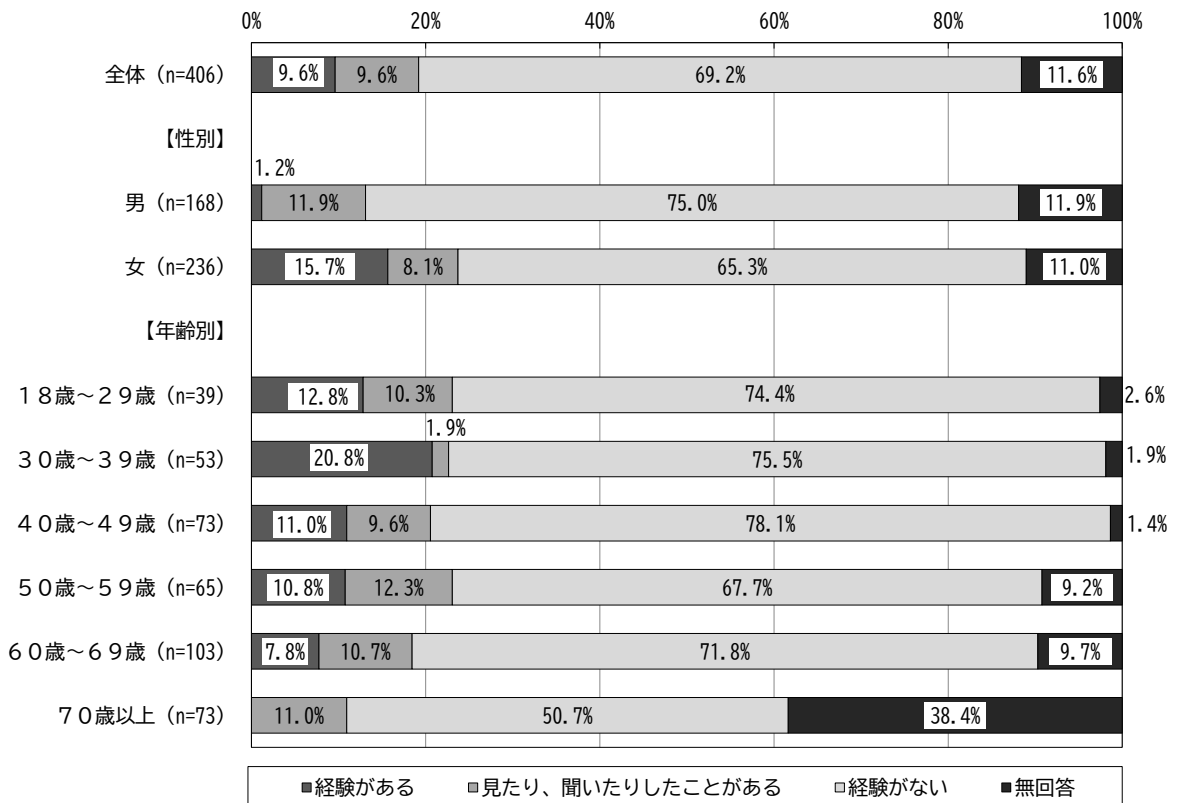
| 項目（度数） | 経験がある | 見たり、聞いたりしたことがある | 経験がない | 無回答 | 回答者数 |
|----------------------------------|-------|-----------------|-------|-------|--------|
| 嫌がっているのに性に関する話をされた | 25 | 60 | 277 | 44 | 406 |
| わけもなく身体を触られた | 39 | 39 | 281 | 47 | 406 |
| 宴会等の席でお酌やデュエットを強要された | 47 | 69 | 243 | 47 | 406 |
| 上司等がその立場を利用して性的な誘いをかけてきた | 11 | 36 | 313 | 46 | 406 |
| 必要がないのに結婚予定や出産予定を聞かれた | 27 | 48 | 283 | 48 | 406 |
| 裸体のポスター等が皆の目に止まる所に貼ってある | 5 | 25 | 327 | 49 | 406 |
| 容姿について不快なことを言われた | 62 | 75 | 224 | 45 | 406 |
| 項目（構成比） | 経験がある | 見たり、聞いたりしたことがある | 経験がない | 無回答 | 回答者数 |
| 嫌がっているのに性に関する話をされた (n=406) | 6.2% | 14.8% | 68.2% | 10.8% | 100.0% |
| わけもなく身体を触られた (n=406) | 9.6% | 9.6% | 69.2% | 11.6% | 100.0% |
| 宴会等の席でお酌やデュエットを強要された (n=406) | 11.6% | 17.0% | 59.9% | 11.6% | 100.0% |
| 上司等がその立場を利用して性的な誘いをかけてきた (n=406) | 2.7% | 8.9% | 77.1% | 11.3% | 100.0% |
| 必要がないのに結婚予定や出産予定を聞かれた (n=406) | 6.7% | 11.8% | 69.7% | 11.8% | 100.0% |
| 裸体のポスター等が皆の目に止まる所に貼ってある (n=406) | 1.2% | 6.2% | 80.5% | 12.1% | 100.0% |
| 容姿について不快なことを言われた (n=406) | 15.3% | 18.5% | 55.2% | 11.1% | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】

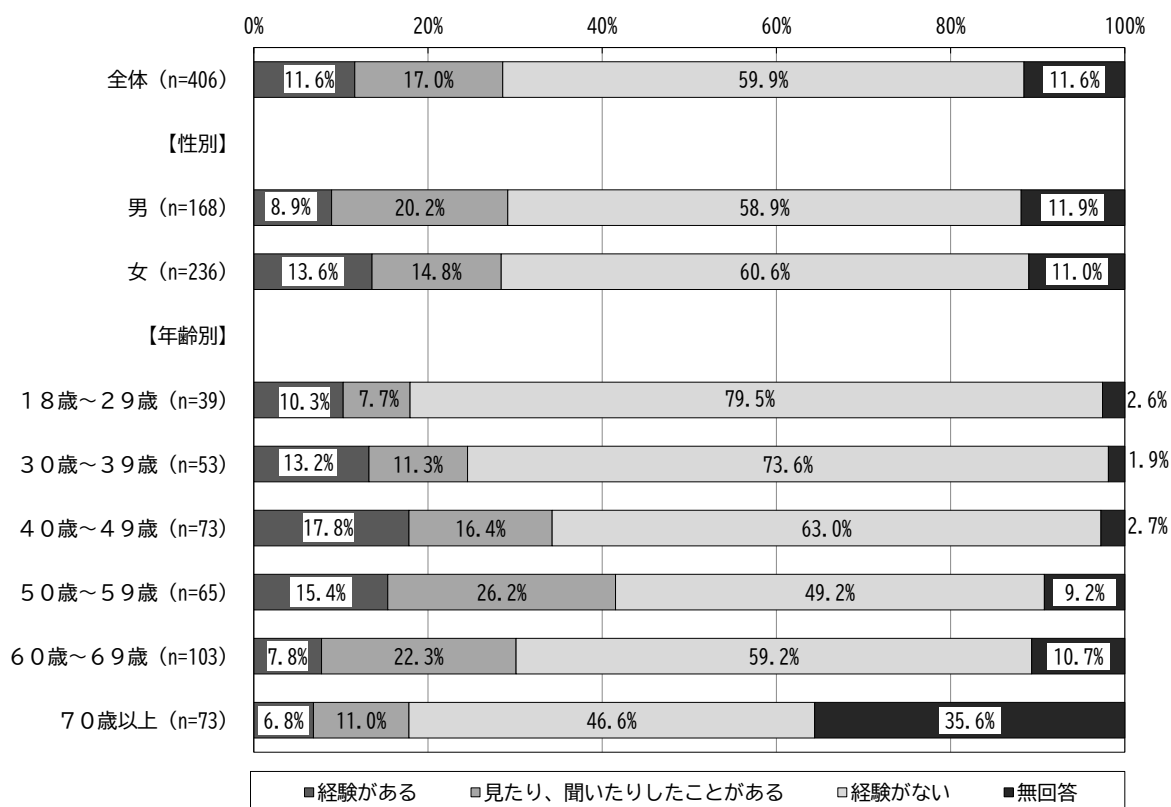
嫌がっているのに性に関する話をされた



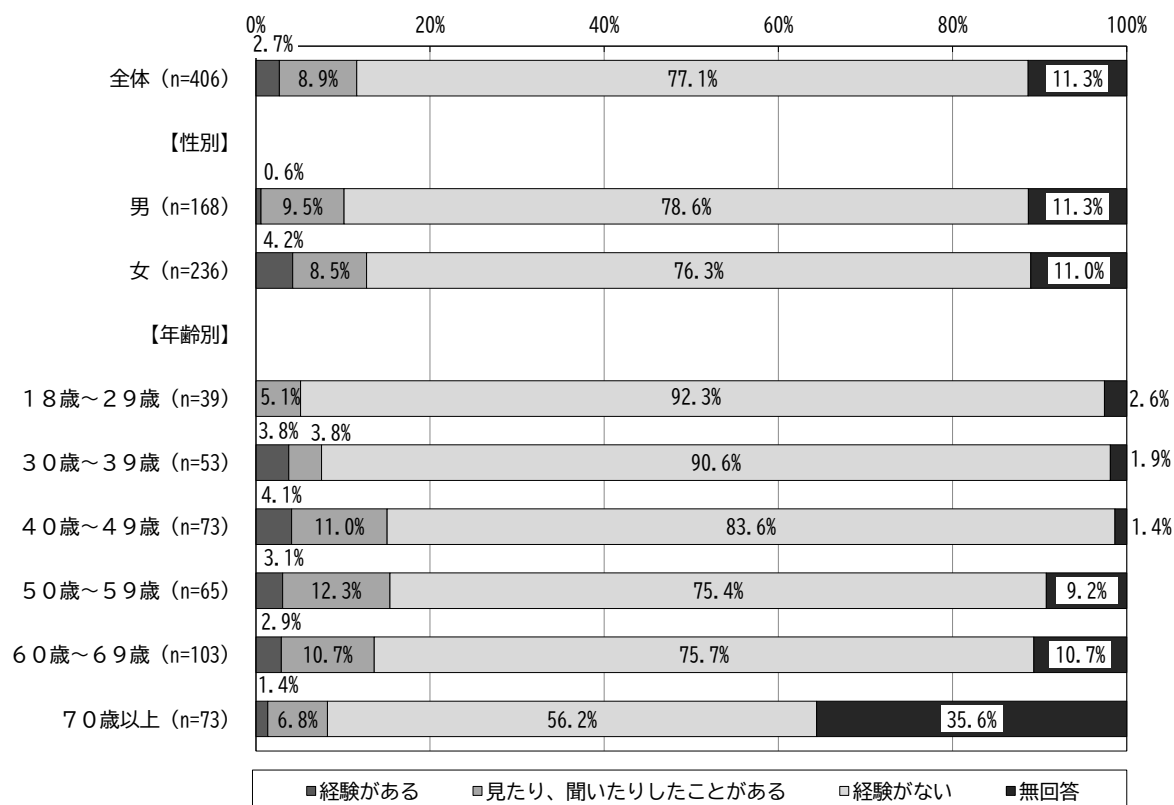
わけもなく身体を触られた



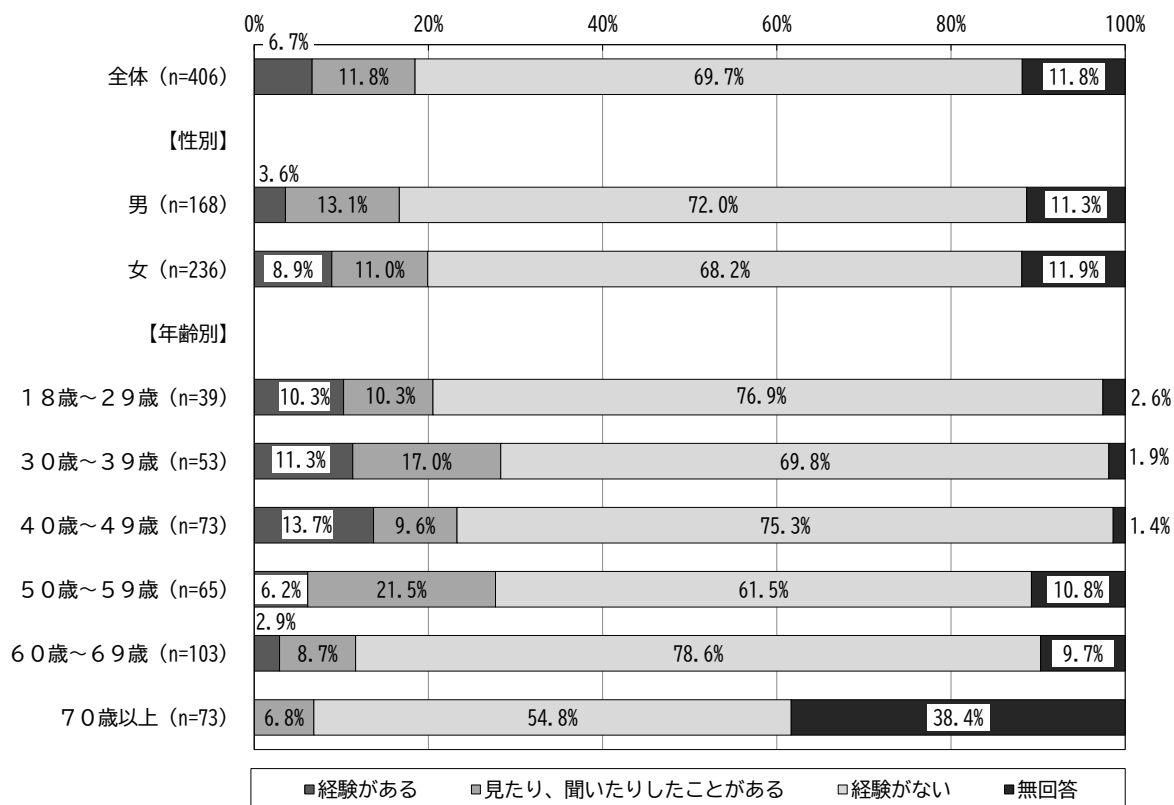
宴会等の席でお酌やデュエットを強要された



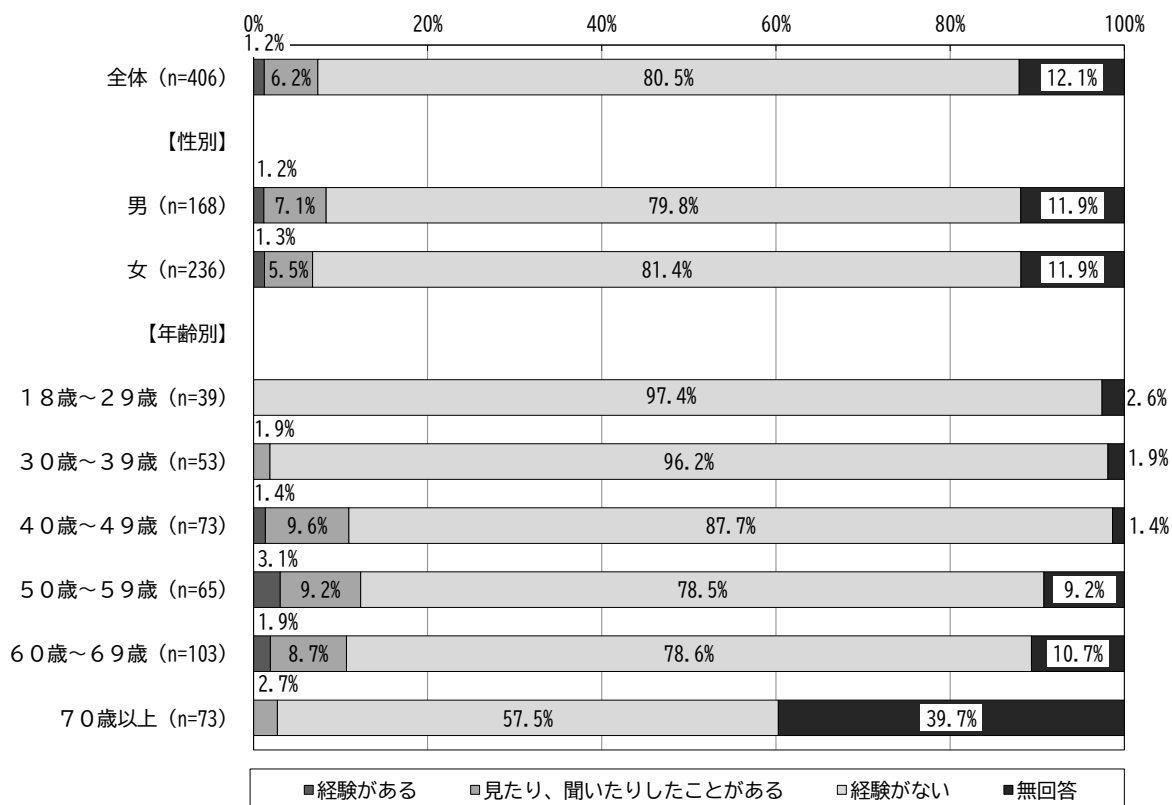
上司等がその立場を利用して性的な誘いをかけてきた



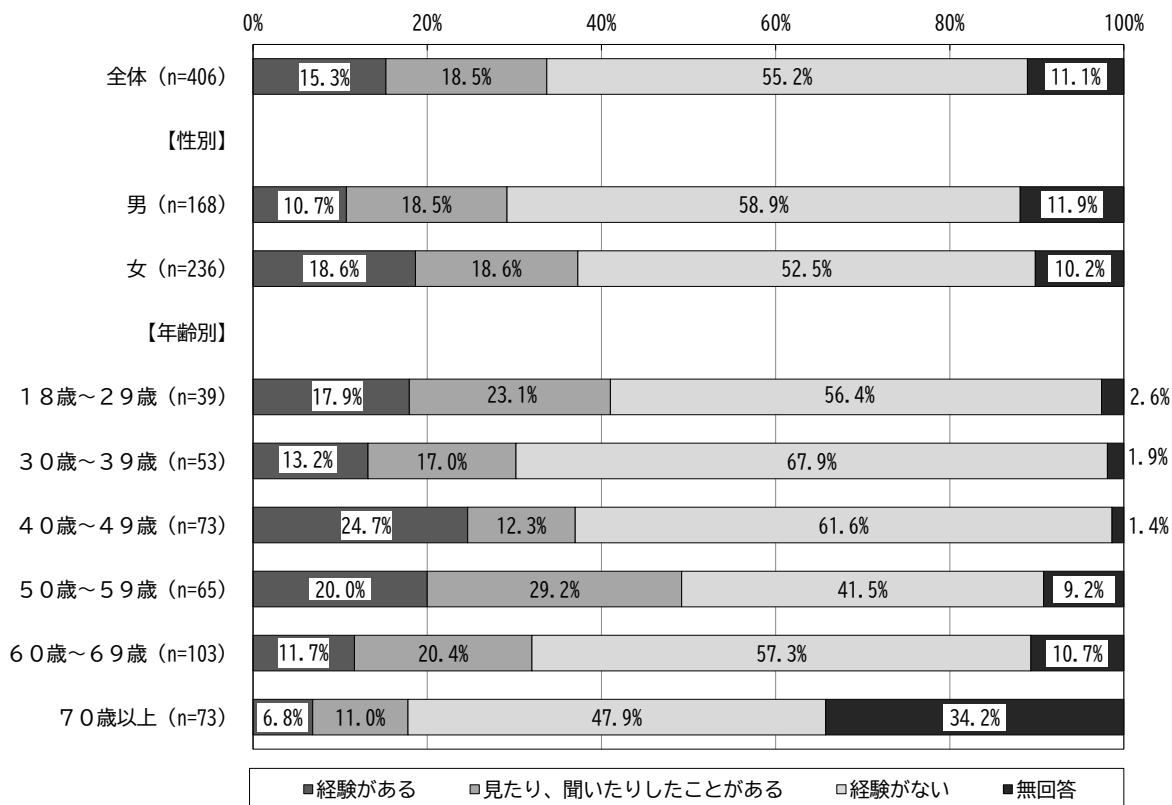
必要がないのに結婚予定や出産予定を聞かれた



裸体のポスター等が皆の目に止まる所に貼ってある



容姿について不快なことを言われた



【パワー・ハラスメント】（立場を利用した嫌がらせ）

「殴る・蹴るなどの身体的な攻撃を受けた」については、「経験がない」が74.1%、「見たり、聞いたことがある」が9.4%となっています。

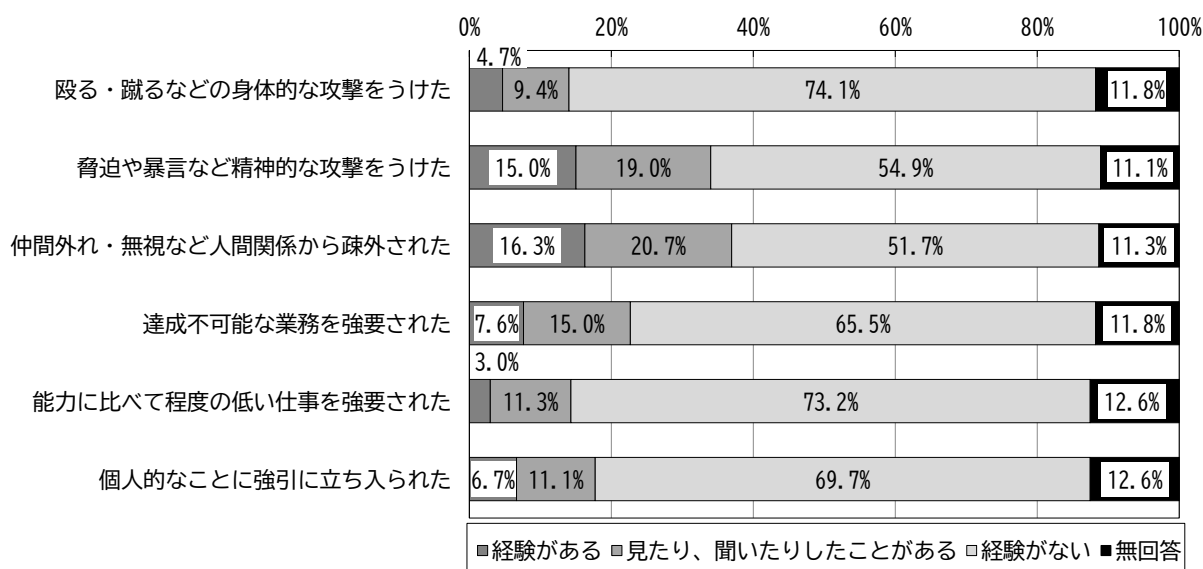
「脅迫や暴言など精神的な攻撃を受けた」については、「経験がない」が54.9%、「見たり、聞いたことがある」が19.0%となっています。

「仲間外れ・無視など人間関係から疎外された」については、「経験がない」が51.7%、「見たり、聞いたことがある」が20.7%となっています。

「達成不可能な業務を強要された」については、「経験がない」が65.5%、「見たり、聞いたことがある」が15.0%となっています。

「能力に比べて程度の低い仕事を強要された」については、「経験がない」が73.2%、「見たり、聞いたことがある」が11.3%となっています。

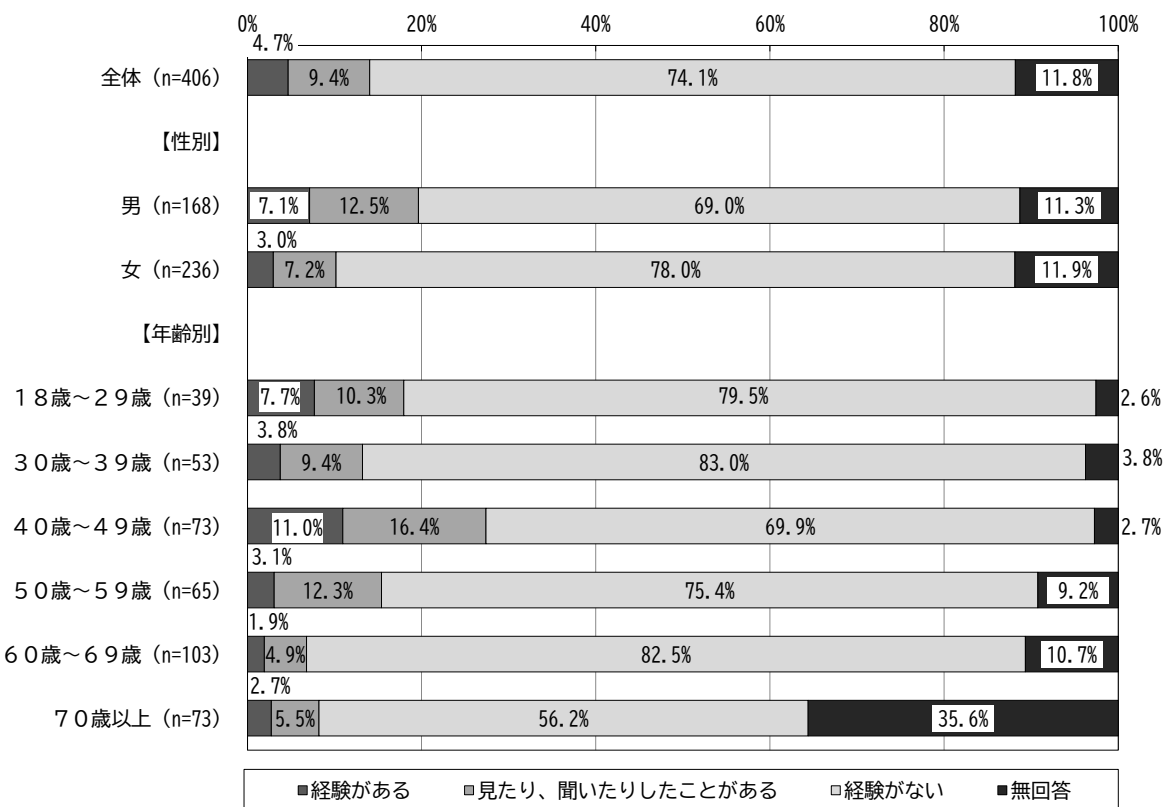
「個人的なことに強引に立ち入れられた」については、「経験がない」が69.7%、「見たり、聞いたことがある」が11.1%となっています。



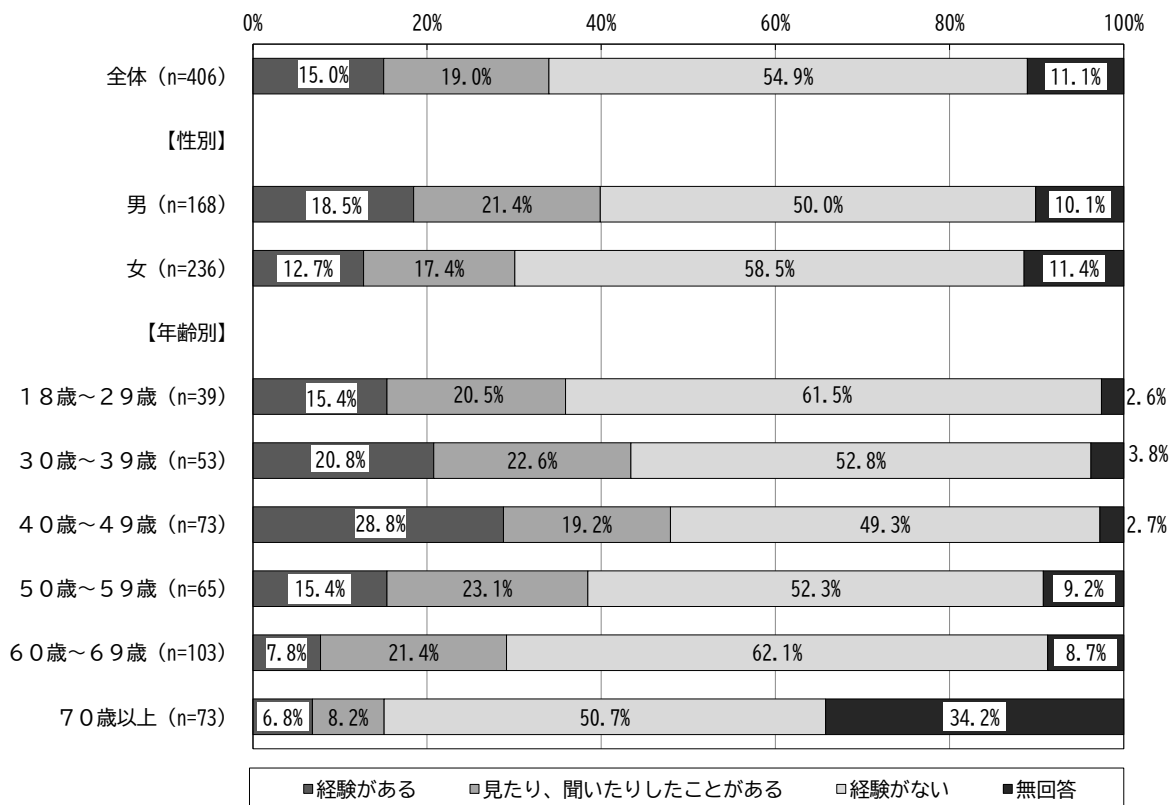
| 項目（度数） | 経験がある | 見たり、聞いたりしたことがある | 経験がない | 無回答 | 回答者数 |
|-----------------------------|-------|-----------------|-------|-------|--------|
| 殴る・蹴るなどの身体的な攻撃を受けた | 19 | 38 | 301 | 48 | 406 |
| 脅迫や暴言など精神的な攻撃を受けた | 61 | 77 | 223 | 45 | 406 |
| 仲間外れ・無視など人間関係から疎外された | 66 | 84 | 210 | 46 | 406 |
| 達成不可能な業務を強要された | 31 | 61 | 266 | 48 | 406 |
| 能力に比べて程度の低い仕事を強要された | 12 | 46 | 297 | 51 | 406 |
| 個人的なことに強引に立ち入れられた | 27 | 45 | 283 | 51 | 406 |
| 項目（構成比） | 経験がある | 見たり、聞いたりしたことがある | 経験がない | 無回答 | 回答者数 |
| 殴る・蹴るなどの身体的な攻撃を受けた（n=406） | 4.7% | 9.4% | 74.1% | 11.8% | 100.0% |
| 脅迫や暴言など精神的な攻撃を受けた（n=406） | 15.0% | 19.0% | 54.9% | 11.1% | 100.0% |
| 仲間外れ・無視など人間関係から疎外された（n=406） | 16.3% | 20.7% | 51.7% | 11.3% | 100.0% |
| 達成不可能な業務を強要された（n=406） | 7.6% | 15.0% | 65.5% | 11.8% | 100.0% |
| 能力に比べて程度の低い仕事を強要された（n=406） | 3.0% | 11.3% | 73.2% | 12.6% | 100.0% |
| 個人的なことに強引に立ち入れられた（n=406） | 6.7% | 11.1% | 69.7% | 12.6% | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】

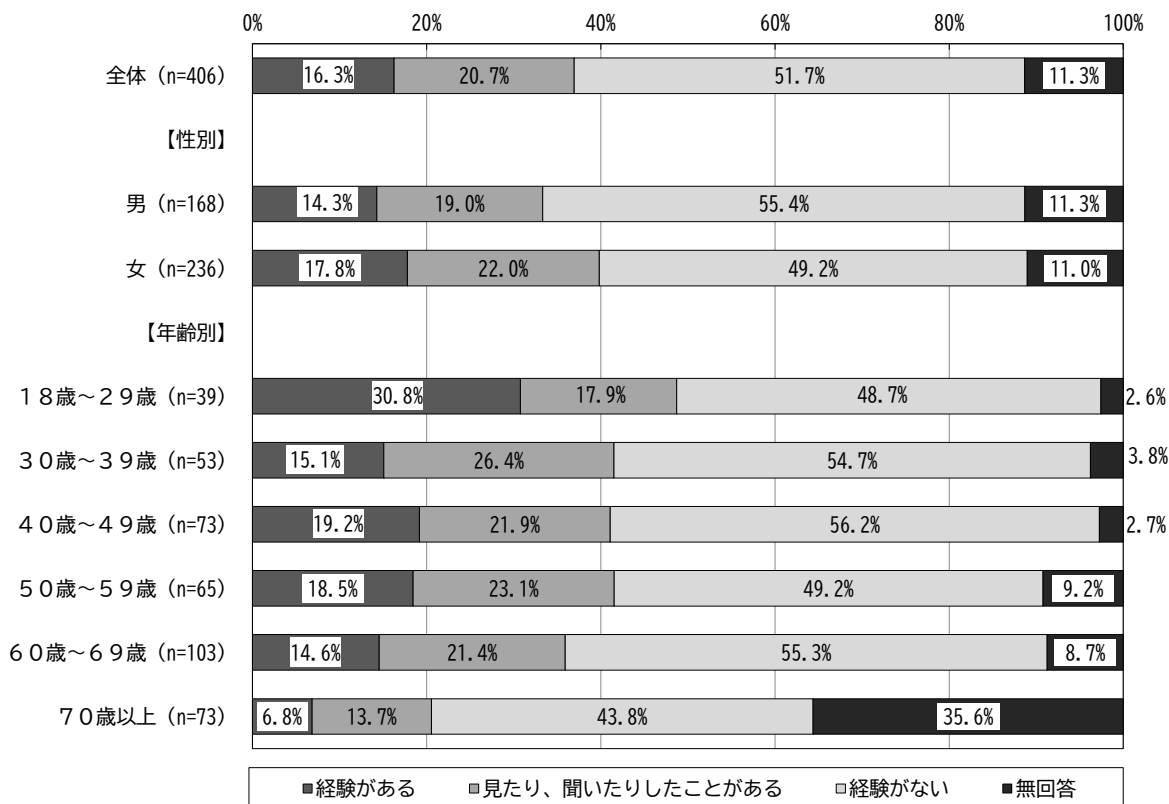
殴る・蹴るなどの身体的な攻撃を受けた



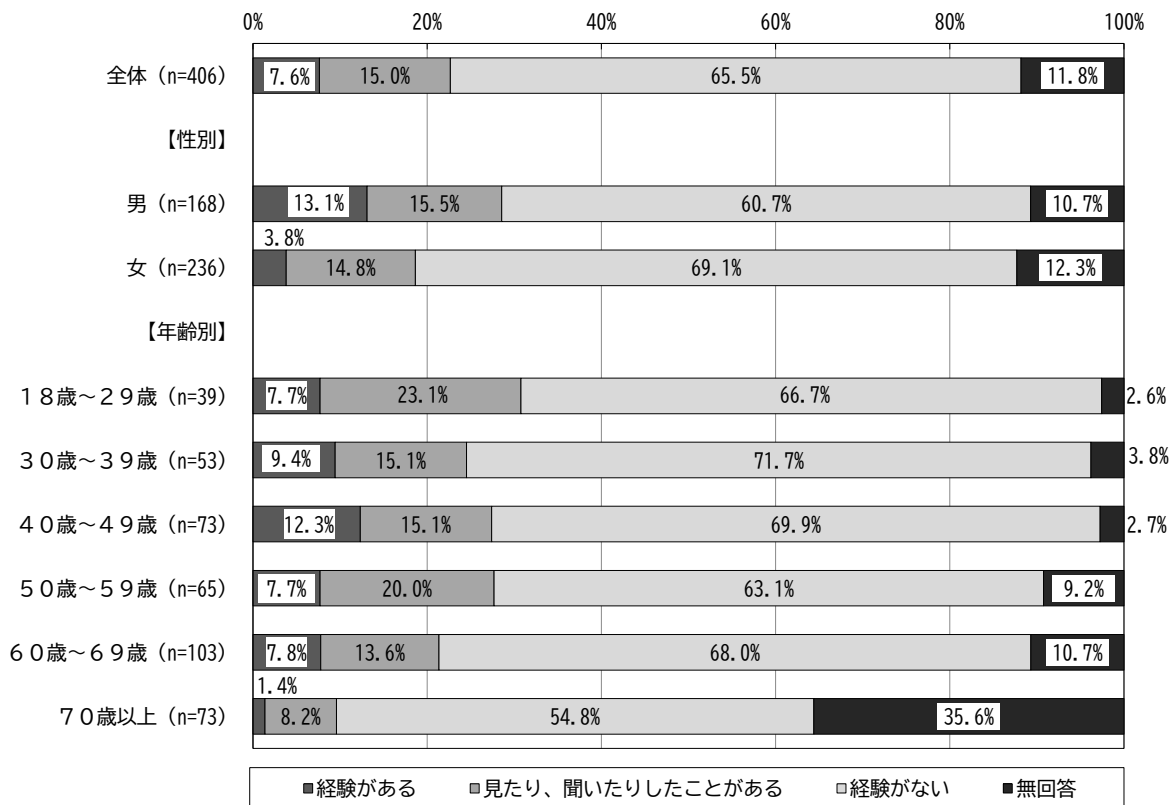
脅迫や暴言など精神的な攻撃を受けた



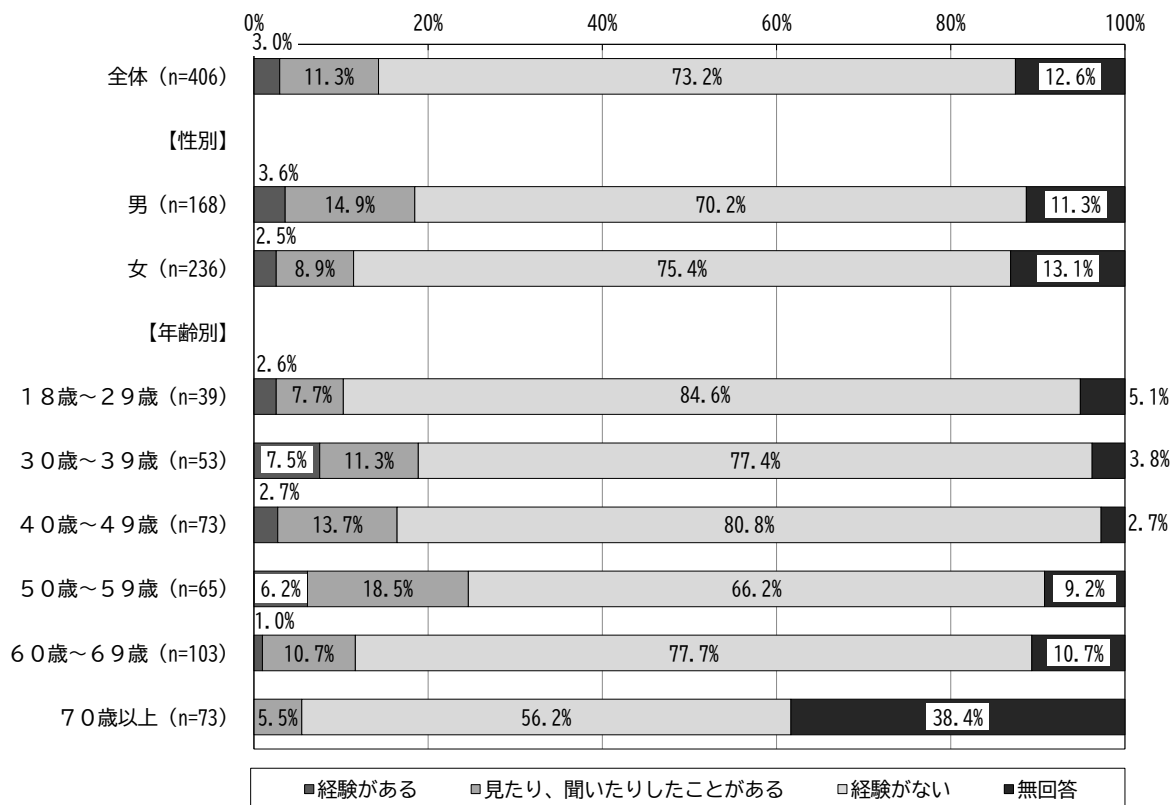
仲間外れ・無視など人間関係から疎外された



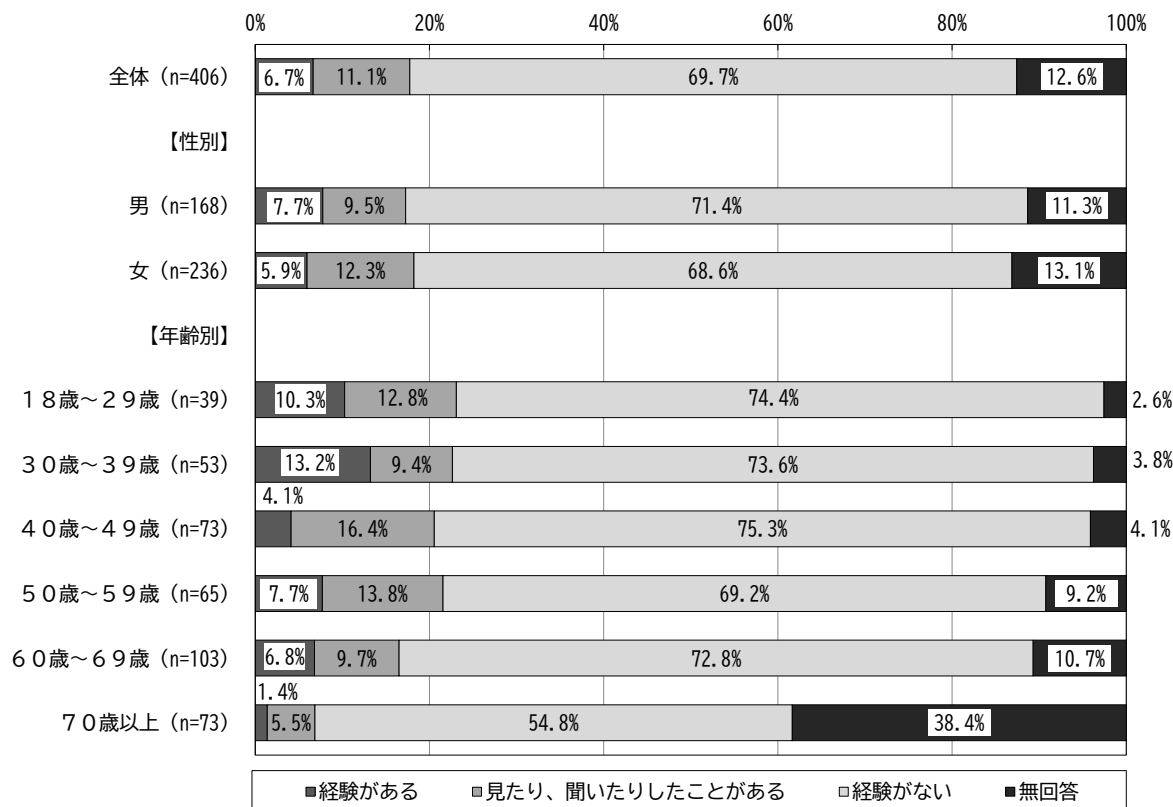
達成不可能な業務を強要された



能力に比べて程度の低い仕事を強要された

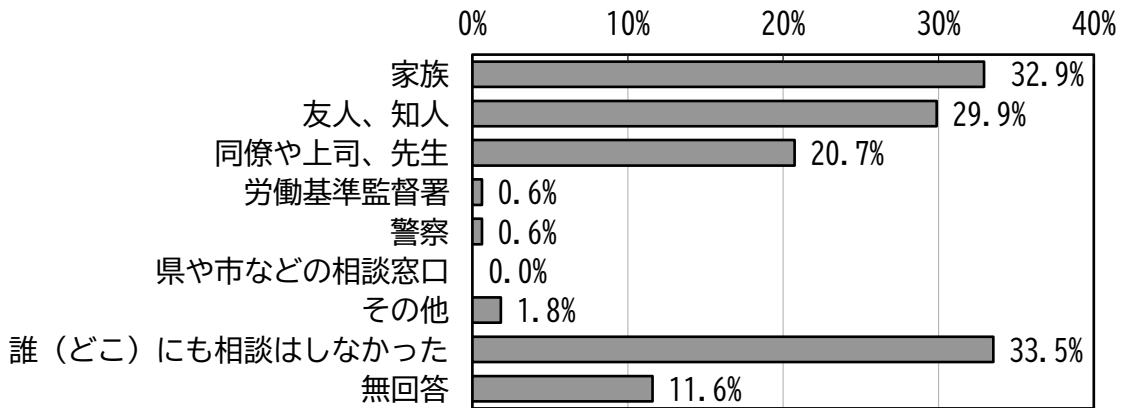


個人的なことに強引に立ち入られた



問 22-1 嫌がらせを受けたとき、誰か（どこか）に相談しましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

嫌がらせを受けたときに相談した相手については、「家族」が32.9%、「友人、知人」が29.9%となっています。また、「誰（どこ）にも相談はしなかった」の回答は、33.5%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|-----------------|-----|-------|
| 家族 | 54 | 32.9% |
| 友人、知人 | 49 | 29.9% |
| 同僚や上司、先生 | 34 | 20.7% |
| 労働基準監督署 | 1 | 0.6% |
| 警察 | 1 | 0.6% |
| 県や市などの相談窓口 | 0 | 0.0% |
| その他 | 3 | 1.8% |
| 誰（どこ）にも相談はしなかった | 55 | 33.5% |
| 無回答 | 19 | 11.6% |
| 回答者数 | 164 | |
| 非該当 | 242 | |
| 合計 | 216 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 家族 | 友人、知人 | 同僚や上司、先生 | 労働基準監督署 | 警察 | 県や市などの相談窓口 | その他 | 誰(どこ)にも相談はしなかった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------------|-------------|------|-----|
| 全体 | 54 32.9% | 49 29.9% | 34 20.7% | 1 0.6% | 1 0.6% | 0 0.0% | 3 1.8% | 55 33.5% | 19 11.6% | 164 | 242 |
| 男 | 21 32.8% | 18 28.1% | 13 20.3% | 1 1.6% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 1.6% | 23 35.9% | 4 6.3% | 64 | 104 |
| 女 | 33 33.0% | 31 31.0% | 21 21.0% | 0 0.0% | 1 1.0% | 0 0.0% | 2 2.0% | 32 32.0% | 15 15.0% | 100 | 136 |
| どちらでもない | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 1 |

【年齢別クロス】

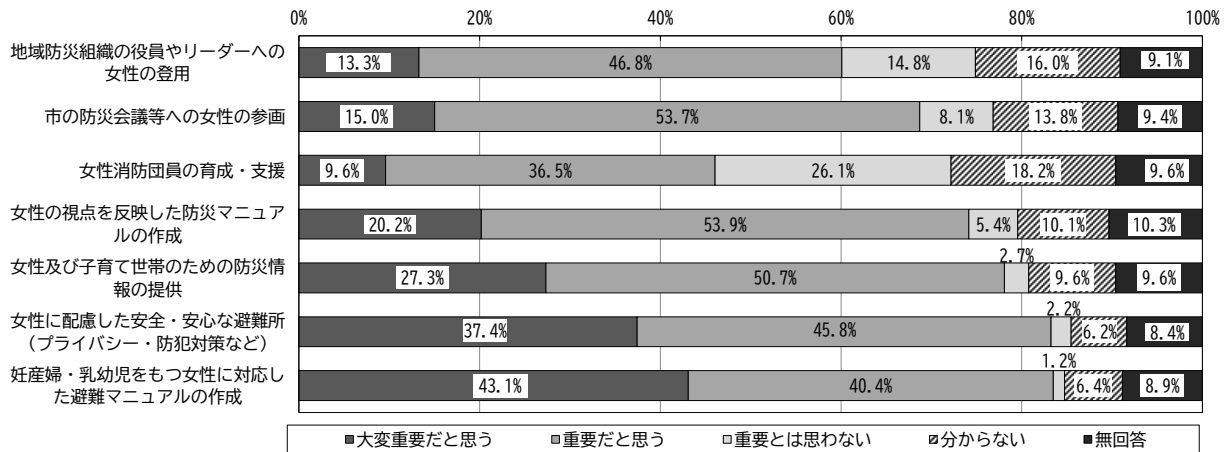
(上段：度数、下段：比率)

| | 家族 | 友人、知人 | 同僚や上司、先生 | 労働基準監督署 | 警察 | 県や市などの相談窓口 | その他 | 誰(どこ)にも相談はしなかった | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------------|-------------|------|-----|
| 全体 | 54 32.9% | 49 29.9% | 34 20.7% | 1 0.6% | 1 0.6% | 0 0.0% | 3 1.8% | 55 33.5% | 19 11.6% | 164 | 242 |
| 18歳～29歳 | 7 36.8% | 6 31.6% | 4 21.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 5.3% | 4 21.1% | 1 5.3% | 19 | 20 |
| 30歳～39歳 | 14 60.9% | 9 39.1% | 11 47.8% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 4.3% | 6 26.1% | 0 0.0% | 23 | 30 |
| 40歳～49歳 | 17 40.5% | 15 35.7% | 11 26.2% | 0 0.0% | 1 2.4% | 0 0.0% | 0 0.0% | 11 26.2% | 3 7.1% | 42 | 31 |
| 50歳～59歳 | 8 28.6% | 7 25.0% | 4 14.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 3.6% | 13 46.4% | 1 3.6% | 28 | 37 |
| 60歳～69歳 | 6 17.6% | 7 20.6% | 3 8.8% | 1 2.9% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 13 38.2% | 10 29.4% | 34 | 69 |
| 70歳以上 | 2 11.1% | 5 27.8% | 1 5.6% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 8 44.4% | 4 22.2% | 18 | 55 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 0 |

女性の視点に立った防災対策について

問 23 防災活動に関して男女共同参画社会の視点を取り入れていく上で、何が重要だと思いますか

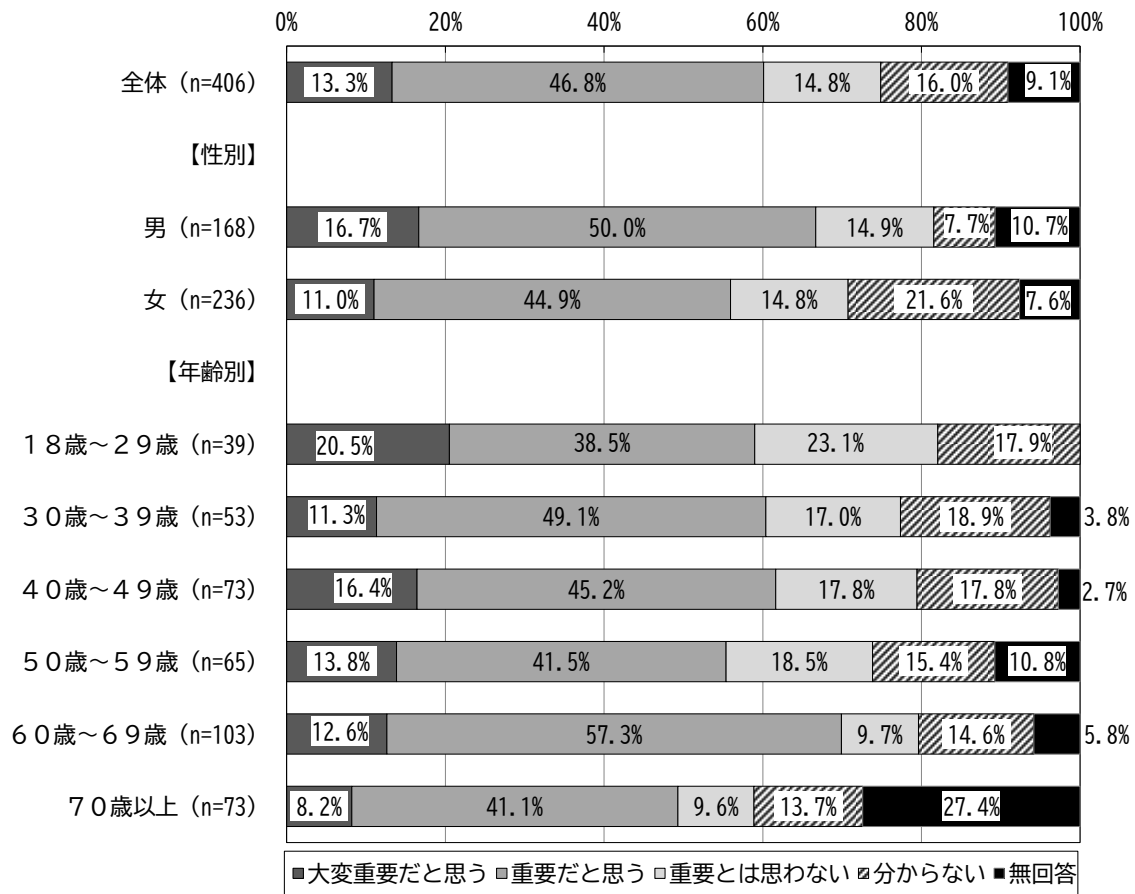
防災活動に関して男女共同参画社会の視点を取り入れていく上で、何が重要だと思うかについて、「大変重要だと思う」と回答したのは、「妊産婦・乳幼児をもつ女性に対応した避難マニュアルの作成」が43.1%で最も多く、次いで「女性に配慮した安全・安心な避難所（プライバシー・防犯対策など）」が37.4%、「女性及び子育て世帯のための防災情報の提供」が27.3%となっています。



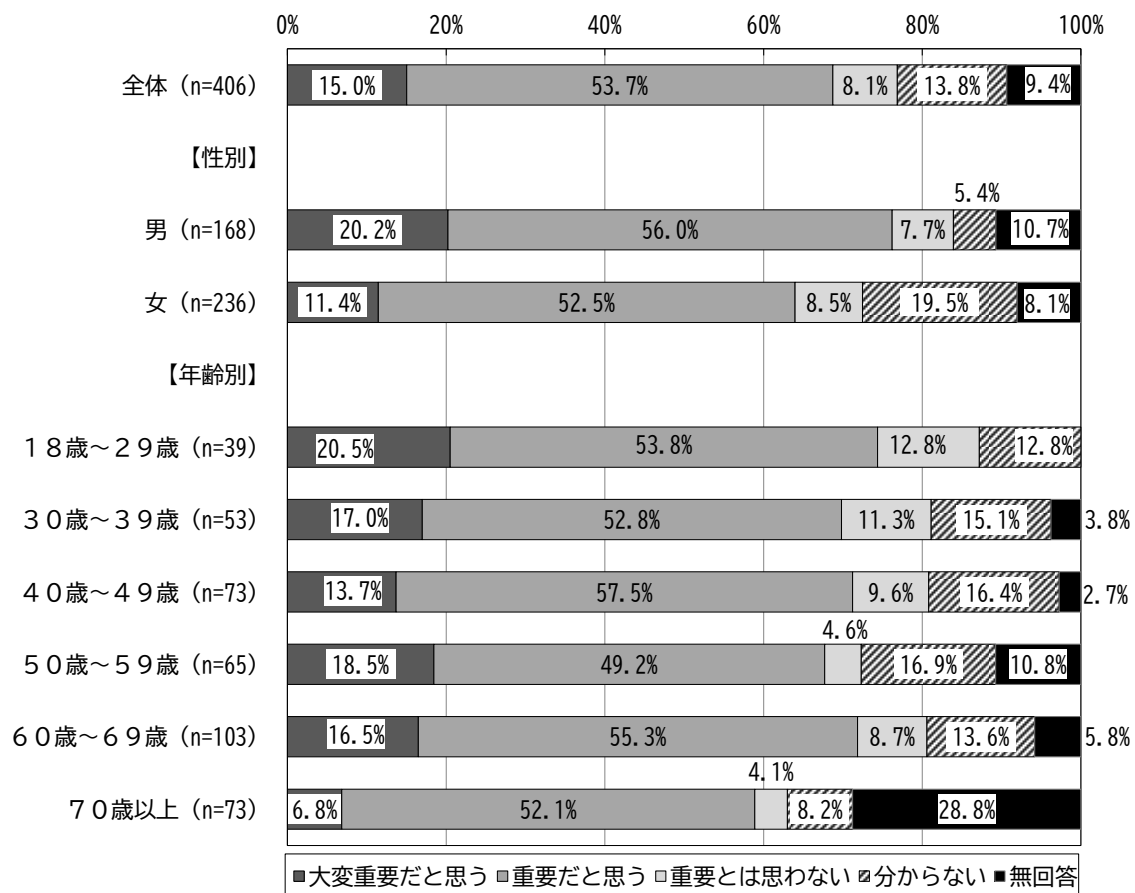
| 項目（度数） | 大変重要だと思う | 重要だと思う | 重要とは思わない | 分からない | 無回答 | 回答者数 |
|--|----------|--------|----------|-------|-------|--------|
| 地域防災組織の役員やリーダーへの女性の登用 | 54 | 190 | 60 | 65 | 37 | 406 |
| 市の防災会議等への女性の参画 | 61 | 218 | 33 | 56 | 38 | 406 |
| 女性消防団員の育成・支援 | 39 | 148 | 106 | 74 | 39 | 406 |
| 女性の視点を反映した防災マニュアルの作成 | 82 | 219 | 22 | 41 | 42 | 406 |
| 女性及び子育て世帯のための防災情報の提供 | 111 | 206 | 11 | 39 | 39 | 406 |
| 女性に配慮した安全・安心な避難所（プライバシー・防犯対策など） | 152 | 186 | 9 | 25 | 34 | 406 |
| 妊産婦・乳幼児をもつ女性に対応した避難マニュアルの作成 | 175 | 164 | 5 | 26 | 36 | 406 |
| 項目（構成比） | 大変重要だと思う | 重要だと思う | 重要とは思わない | 分からない | 無回答 | 回答者数 |
| 地域防災組織の役員やリーダーへの女性の登用（n=406） | 13.3% | 46.8% | 14.8% | 16.0% | 9.1% | 100.0% |
| 市の防災会議等への女性の参画（n=406） | 15.0% | 53.7% | 8.1% | 13.8% | 9.4% | 100.0% |
| 女性消防団員の育成・支援（n=406） | 9.6% | 36.5% | 26.1% | 18.2% | 9.6% | 100.0% |
| 女性の視点を反映した防災マニュアルの作成（n=406） | 20.2% | 53.9% | 5.4% | 10.1% | 10.3% | 100.0% |
| 女性及び子育て世帯のための防災情報の提供（n=406） | 27.3% | 50.7% | 2.7% | 9.6% | 9.6% | 100.0% |
| 女性に配慮した安全・安心な避難所（プライバシー・防犯対策など）（n=406） | 37.4% | 45.8% | 2.2% | 6.2% | 8.4% | 100.0% |
| 妊産婦・乳幼児をもつ女性に対応した避難マニュアルの作成（n=406） | 43.1% | 40.4% | 1.2% | 6.4% | 8.9% | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】

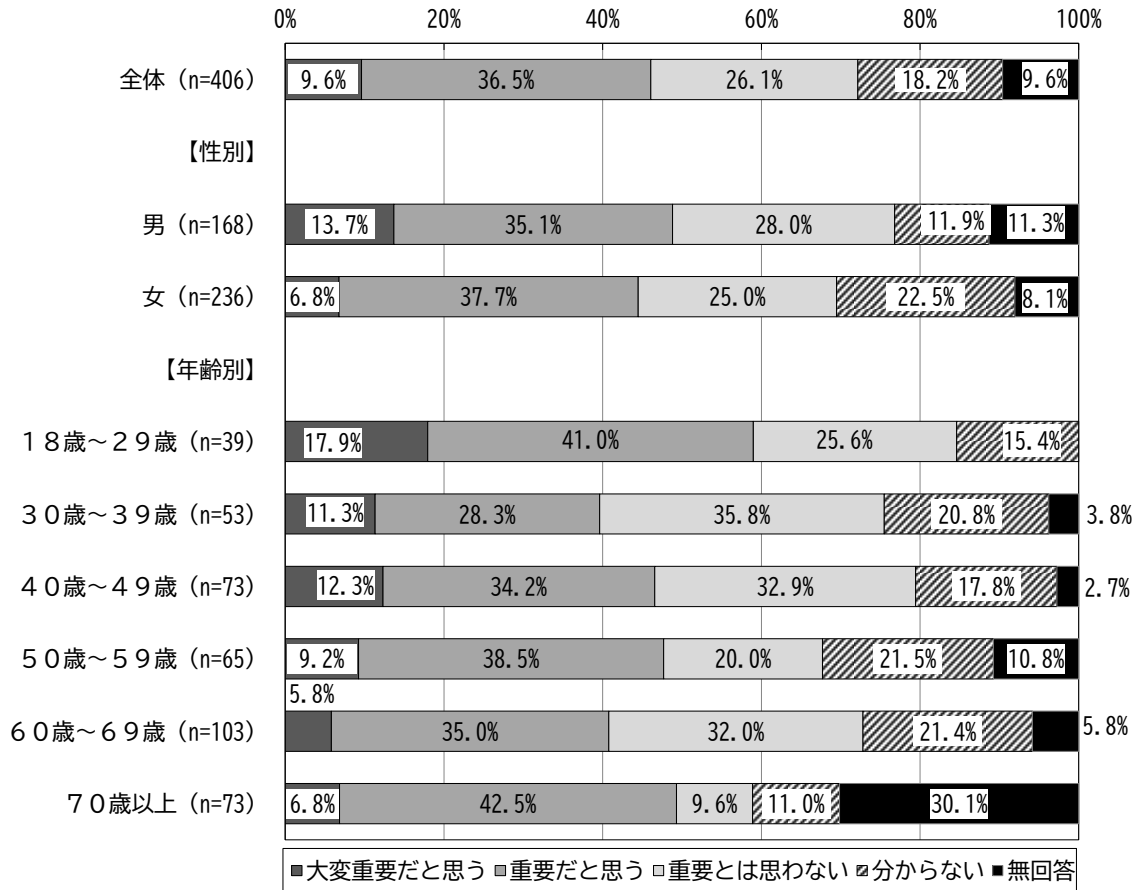
地域防災組織の役員やリーダーへの女性の登用



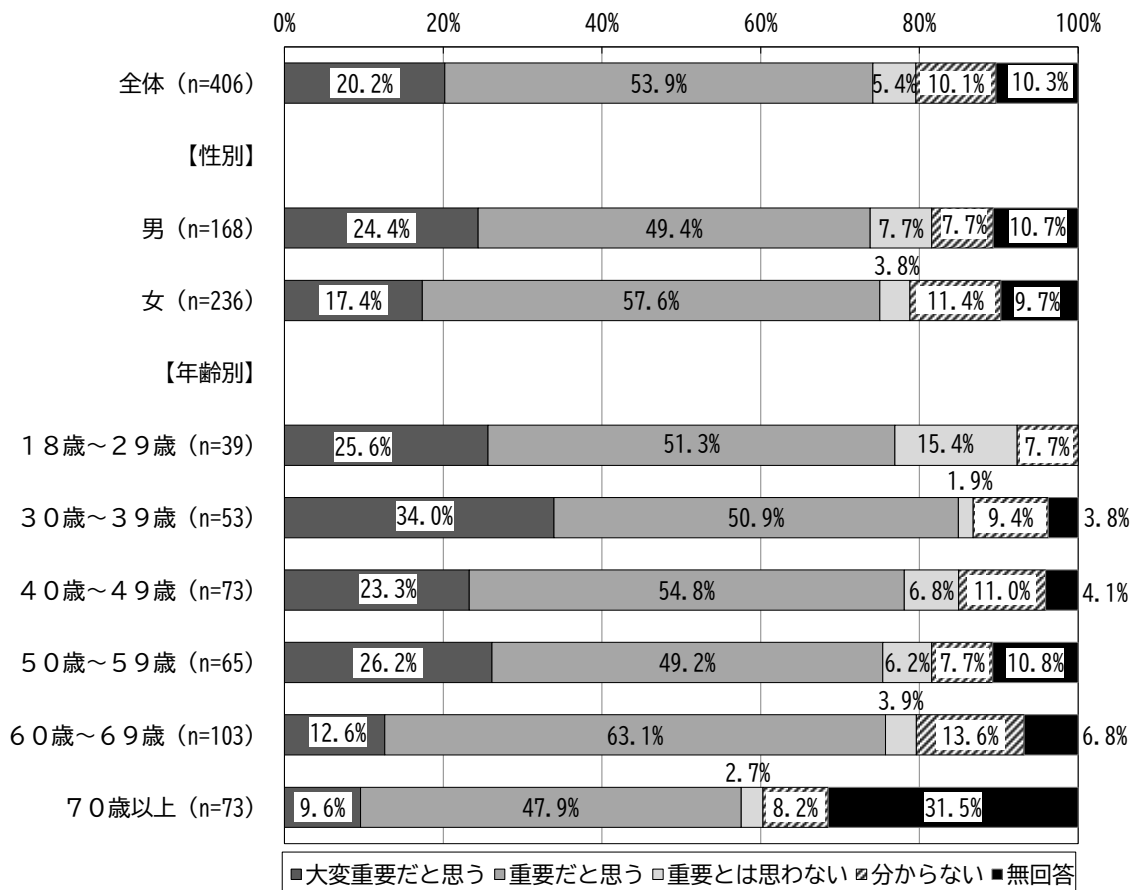
市の防災会議等への女性の参画



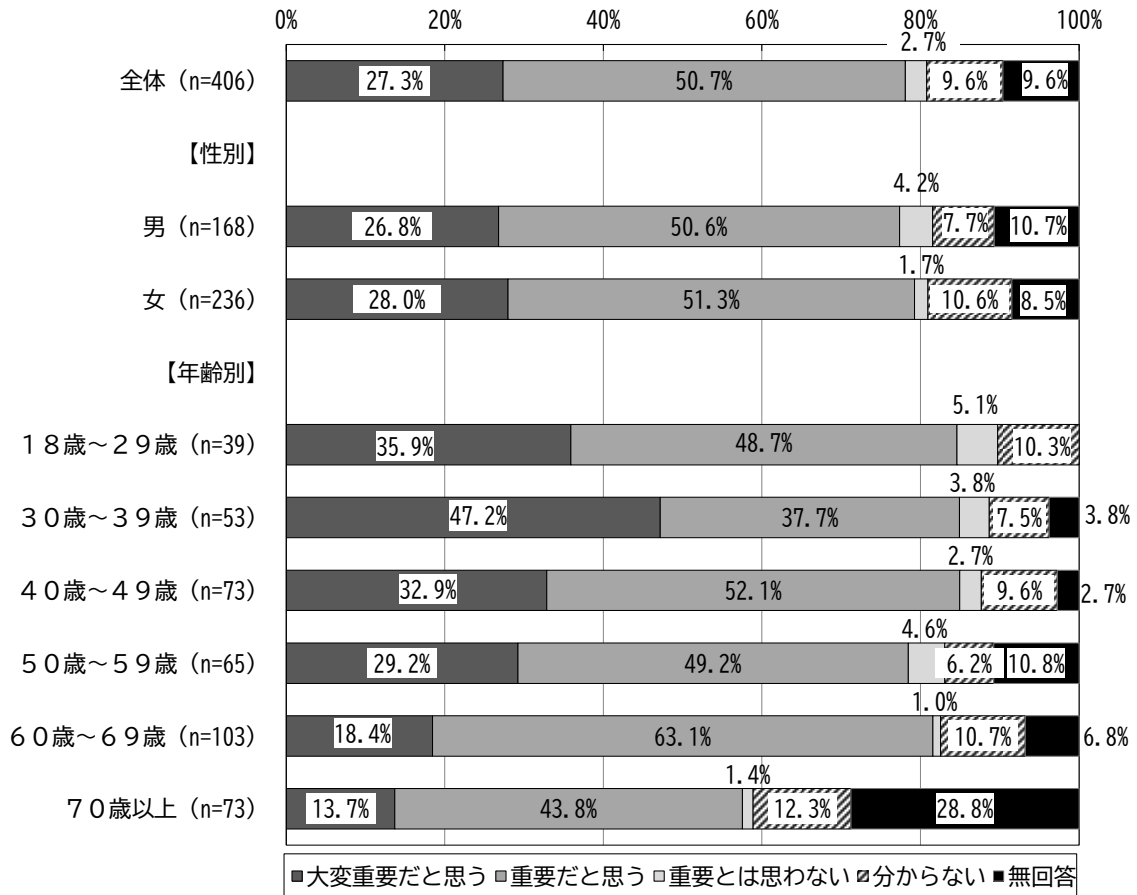
女性消防団員の育成・支援



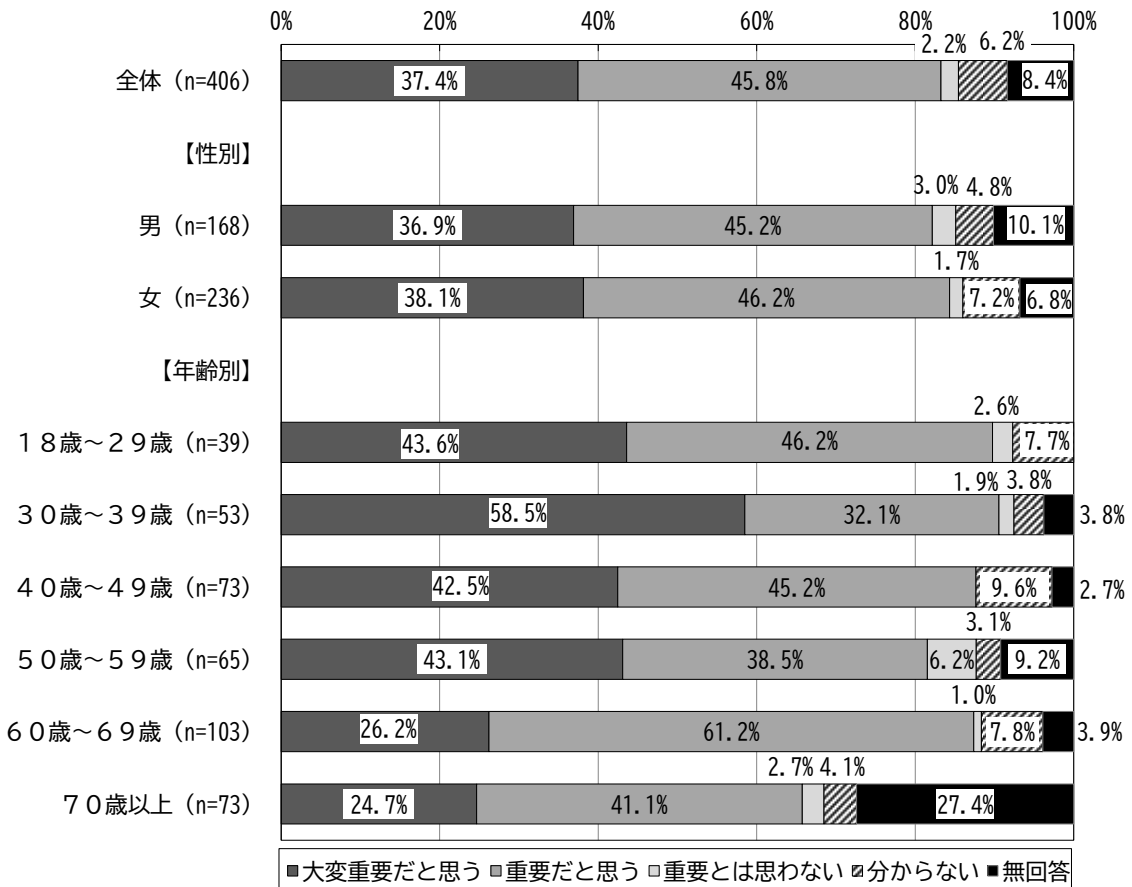
女性の視点を反映した防災マニュアルの作成



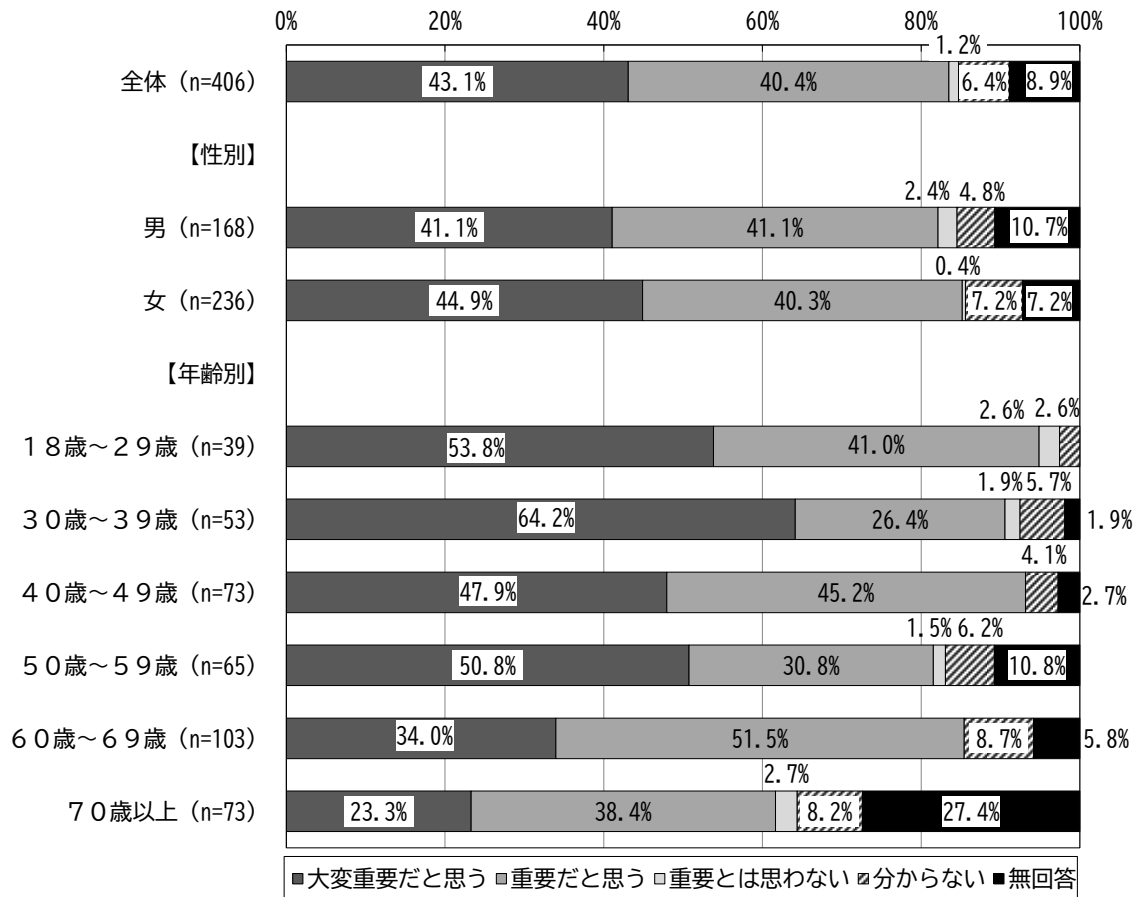
女性及び子育て世帯のための防災情報の提供



女性に配慮した安全・安心な避難所（プライバシー・防犯対策など）

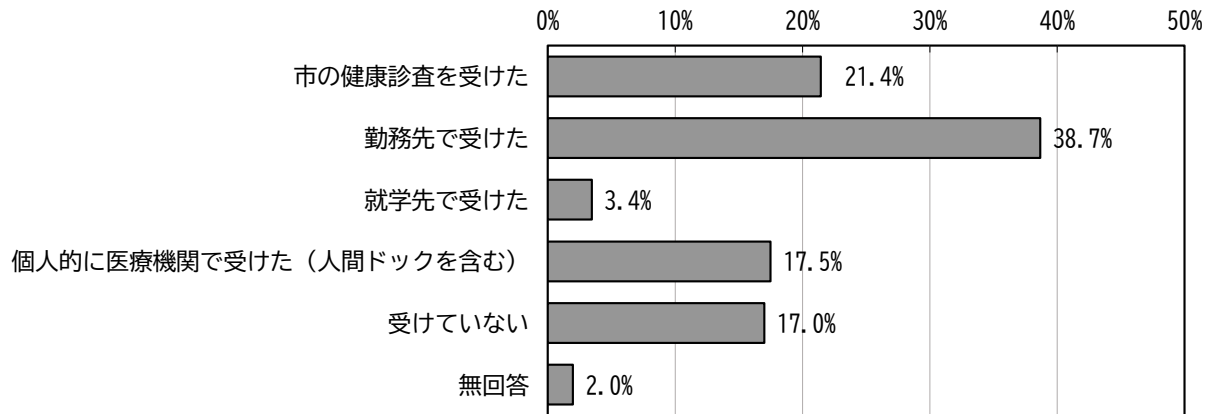


妊産婦・乳幼児をもつ女性に対応した避難マニュアルの作成



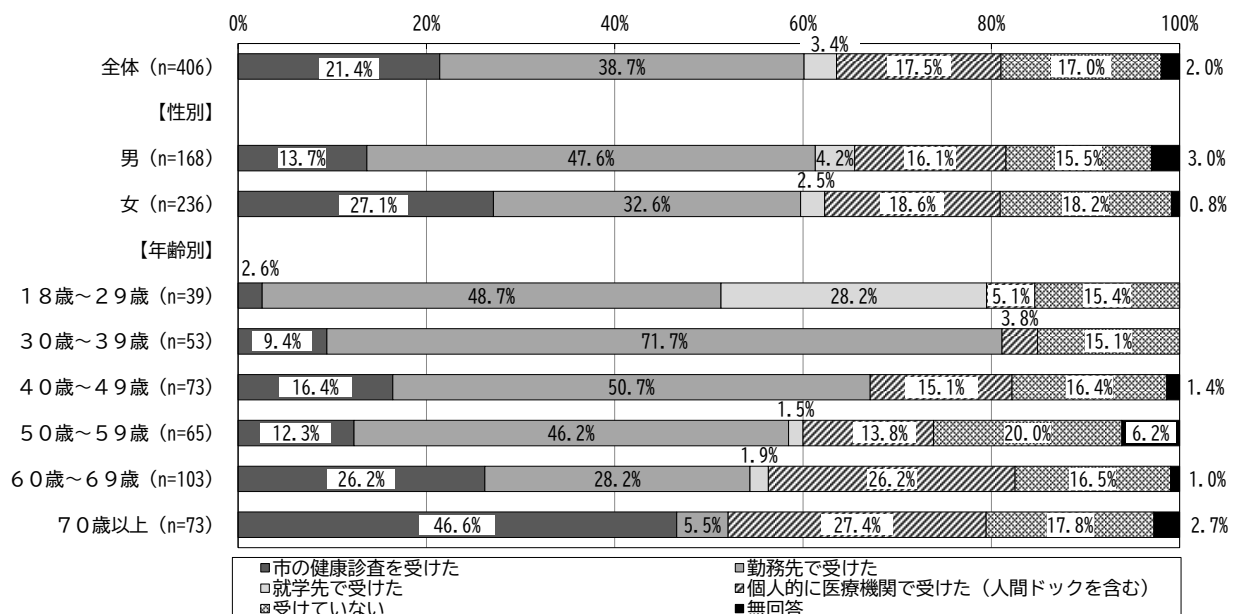
問 24 あなたは、最近1年間に健康診査を受けましたか。次の中から1つ選んでください。

最近1年間に健康診査を受けたかについては、「勤務先で受けた」が38.7%と最も多く、次いで「市の健康診査を受けた」が21.4%、「個人的に医療機関で受けた（人間ドックを含む）」が17.5%となっています。



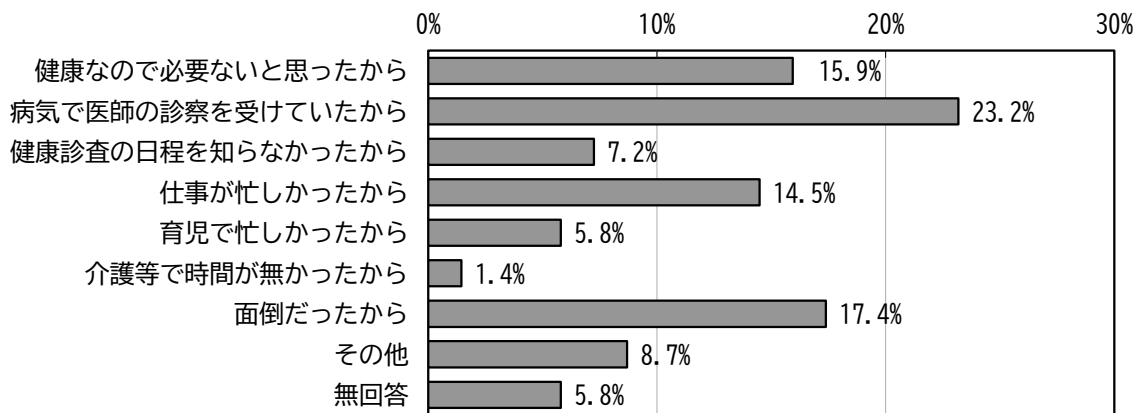
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------|-----|--------|
| 市の健康診査を受けた | 87 | 21.4% |
| 勤務先で受けた | 157 | 38.7% |
| 就学先で受けた | 14 | 3.4% |
| 個人的に医療機関で受けた（人間ドックを含む） | 71 | 17.5% |
| 受けていない | 69 | 17.0% |
| 無回答 | 8 | 2.0% |
| 合計 | 406 | 100.0% |

【性別・年齢別クロス】



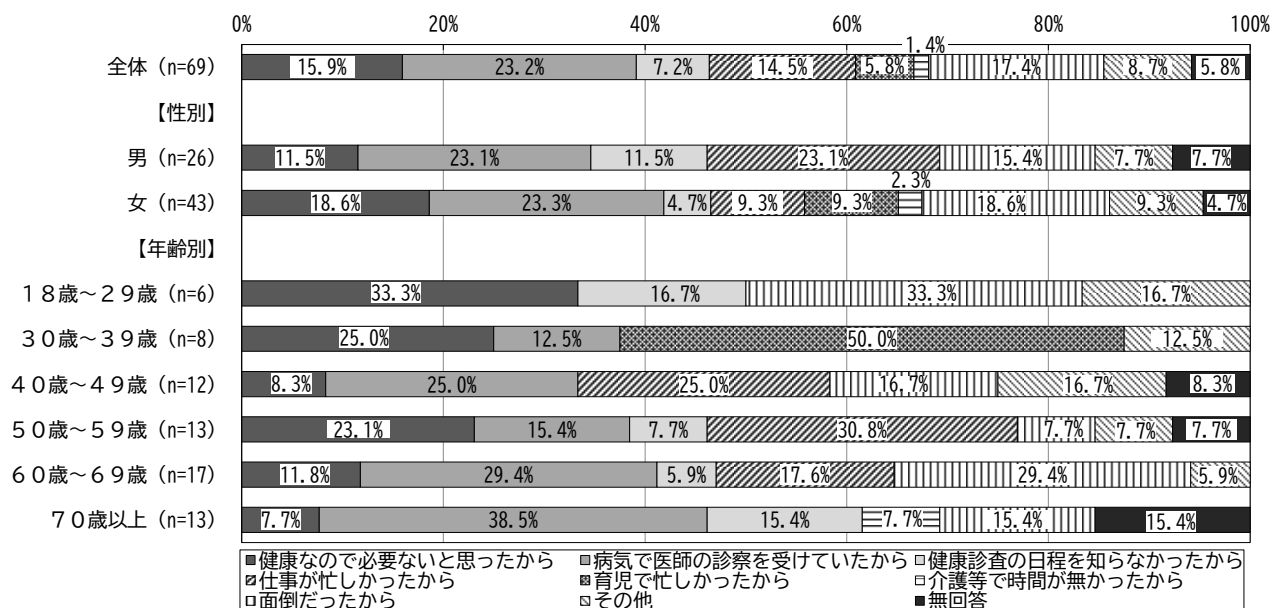
問 25 健康診査を受けなかった理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

健康診査を受けなかった理由については、「病気で医師の診察を受けていたから」が23.2%と最も多く、次いで「面倒だったから」が17.4%、「健康なので必要ないと思ったから」が15.9%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| 健康なので必要ないと思ったから | 11 | 15.9% |
| 病気で医師の診察を受けていたから | 16 | 23.2% |
| 健康診査の日程を知らなかったから | 5 | 7.2% |
| 仕事が忙しかったから | 10 | 14.5% |
| 育児で忙しかったから | 4 | 5.8% |
| 介護等で時間が無かったから | 1 | 1.4% |
| 面倒だったから | 12 | 17.4% |
| その他 | 6 | 8.7% |
| 無回答 | 4 | 5.8% |
| 回答者数 | 69 | 100.0% |
| 非該当 | 337 | |
| 合計 | 406 | |

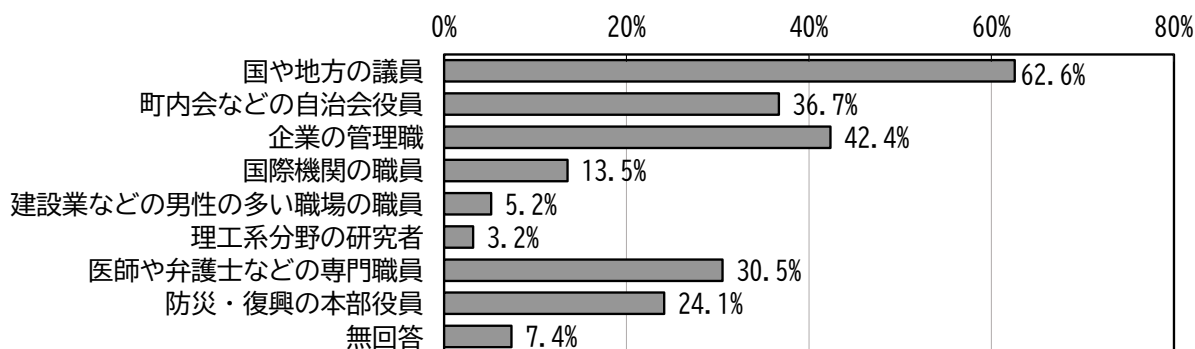
【性別・年齢別クロス】



男女共同参画について

問 26 女性の意見をより反映させるために、女性の参画を進める必要があると考える分野はどれですか。次の中から必要だと思われるものを、3つ以内で選んでください。

女性の意見をより反映させるために、女性の参画を進める必要がある分野だと思われるものについては、「国や地方の議員」が 62.6%と最も多く、次いで「企業の管理職」が 42.4%、「町内会などの自治会役員」が 36.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|------------------|-----|-------|
| 国や地方の議員 | 254 | 62.6% |
| 町内会などの自治会役員 | 149 | 36.7% |
| 企業の管理職 | 172 | 42.4% |
| 国際機関の職員 [※] | 55 | 13.5% |
| 建設業などの男性の多い職場の職員 | 21 | 5.2% |
| 理工系分野の研究者 | 13 | 3.2% |
| 医師や弁護士などの専門職員 | 124 | 30.5% |
| 防災・復興の本部役員 | 98 | 24.1% |
| 無回答 | 30 | 7.4% |
| 回答者数 | 406 | |

※国際機関の職員とは

国際社会共通の利益のために、国連やその下部組織、専門機関等に勤務している人のこと。国際連合（UN）、国連児童基金（UNICEF）などで日本人も多数活躍しています。

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 国や地方の議員 | 町内会などの自治会役員 | 企業の管理職 | 国際機関の職員 [※] | 建設業などの男性の多い職場の職員 | 理工系分野の研究者 | 医師や弁護士などの専門職員 | 防災・復興の本部役員 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|--------------|--------------|--------------|----------------|------------------|------------|---------------|-------------|-------------|------|
| 全体 | 254 62.6% | 149 36.7% | 172 42.4% | 55 13.5% | 21 5.2% | 13 3.2% | 124 30.5% | 98 24.1% | 30 7.4% | 406 |
| 男 | 110 65.5% | 71 42.3% | 79 47.0% | 18 10.7% | 10 6.0% | 9 5.4% | 38 22.6% | 39 23.2% | 11 6.5% | 168 |
| 女 | 143 60.6% | 77 32.6% | 92 39.0% | 37 15.7% | 11 4.7% | 4 1.7% | 86 36.4% | 59 25.0% | 18 7.6% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

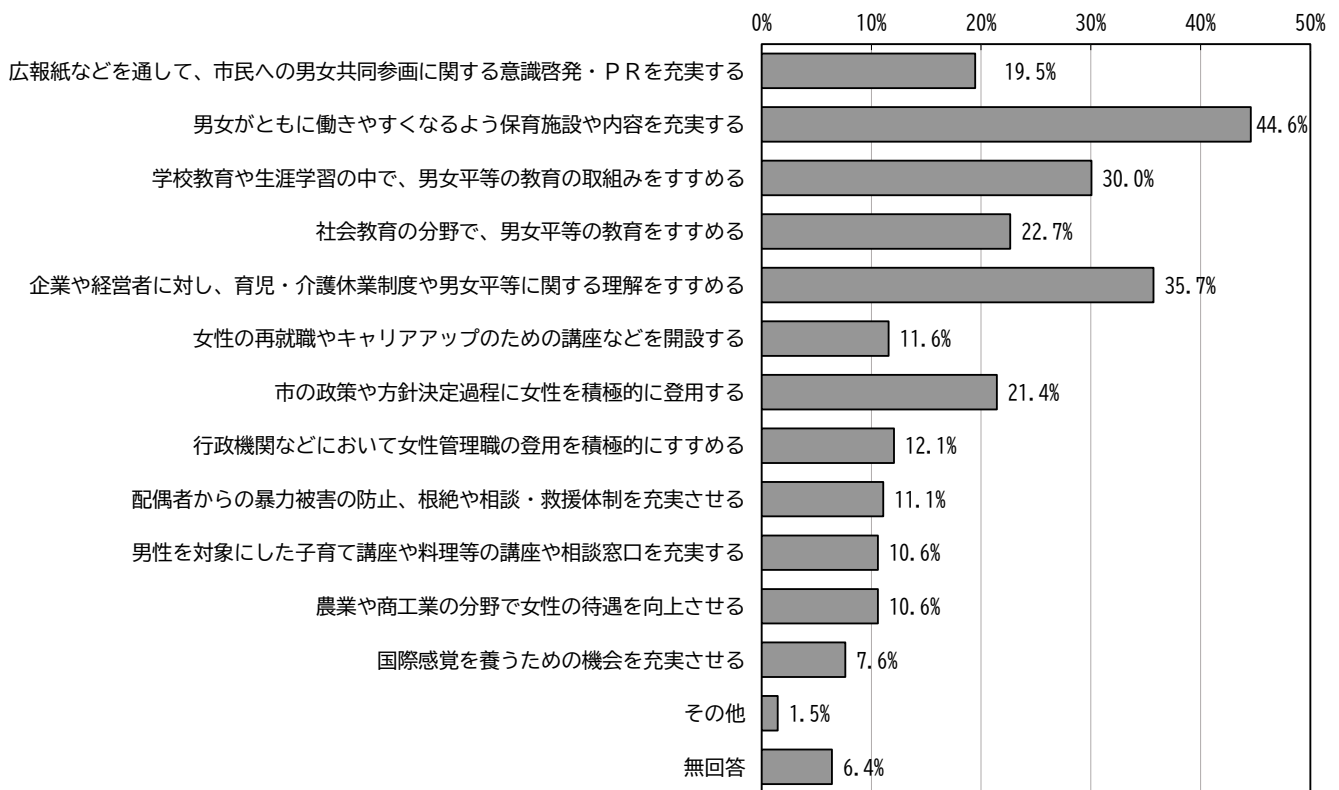
【年齢別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 広報紙などを通して、市民への男女共同参画に関する意識啓発・PRを充実する | 男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する | 学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる | 社会教育の分野で、男女平等の教育をすすめる | 企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる | 女性の再就職やキャリアアップのための講座などを開設する | 市の政策や方針決定過程に女性を積極的に登用する | 行政機関などにおいて女性管理職の登用を積極的にすすめる | 配偶者からの暴力防止、根絶や相談・救援体制を充実させる | 男性を対象にした子育て講座や料理等の講座や相談窓口を充実する | 農業や商工業の分野で女性の待遇を向上させる | 国際感覚を養うための機会を充実させる | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 79 19.5% | 181 44.6% | 122 30.0% | 92 22.7% | 145 35.7% | 47 11.6% | 87 21.4% | 49 12.1% | 45 11.1% | 43 10.6% | 43 10.6% | 31 7.6% | 6 1.5% | 26 6.4% | 406 |
| 男 | 32 19.0% | 75 44.6% | 56 33.3% | 43 25.6% | 47 28.0% | 23 13.7% | 40 23.8% | 21 12.5% | 17 10.1% | 15 8.9% | 22 13.1% | 15 8.9% | 1 0.6% | 10 6.0% | 168 |
| 女 | 47 19.9% | 105 44.5% | 65 27.5% | 48 20.3% | 98 41.5% | 24 10.2% | 47 19.9% | 28 11.9% | 28 11.9% | 28 11.9% | 21 8.9% | 16 6.8% | 5 2.1% | 15 6.4% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 100.0% | 1 |

問 27 今後、男女共同参画について、坂東市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から重要だと思われるものを、3つ以内で選んでください。

今後、男女共同参画について、坂東市はどのようなことに力を入れていくべきだと思うかについては、「男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する」が44.6%と最も多く、次いで「企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる」が35.7%、「学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる」が30.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|--------------------------------------|-----|-------|
| 広報紙などを通して、市民への男女共同参画に関する意識啓発・PRを充実する | 79 | 19.5% |
| 男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する | 181 | 44.6% |
| 学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる | 122 | 30.0% |
| 社会教育の分野で、男女平等の教育をすすめる | 92 | 22.7% |
| 企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる | 145 | 35.7% |
| 女性の再就職やキャリアアップのための講座などを開設する | 47 | 11.6% |
| 市の政策や方針決定過程に女性を積極的に登用する | 87 | 21.4% |
| 行政機関などにおいて女性管理職の登用を積極的にすすめる | 49 | 12.1% |
| 配偶者からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制を充実させる | 45 | 11.1% |
| 男性を対象にした子育て講座や料理等の講座や相談窓口を充実する | 43 | 10.6% |
| 農業や商工業の分野で女性の待遇を向上させる | 43 | 10.6% |
| 国際感覚を養うための機会を充実させる | 31 | 7.6% |
| その他 | 6 | 1.5% |
| 無回答 | 26 | 6.4% |
| 回答者数 | 406 | |

【性別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 広報紙などを通して、市民への男女共同参画に関する意識啓発・PRを充実する | 男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する | 学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる | 社会教育の分野で、男女平等の教育をすすめる | 企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる | 女性の再就職やキャリアアップのための講座などを開設する | 市の政策や方針決定過程に女性を積極的に登用する | 行政機関などにおいて女性管理職の登用を積極的にすすめる | 配偶者からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制を充実させる | 男性を対象にした子育て講座や料理等の講座や相談窓口を充実する | 農業や商工業の分野で女性の待遇を向上させる | 国際感覚を養うための機会を充実させる | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|-----|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 79 19.5% | 181 44.6% | 122 30.0% | 92 22.7% | 145 35.7% | 47 11.6% | 87 21.4% | 49 12.1% | 45 11.1% | 43 10.6% | 43 10.6% | 31 7.6% | 6 1.5% | 26 6.4% | 406 |
| 男 | 32 19.0% | 75 44.6% | 56 33.3% | 43 25.6% | 47 28.0% | 23 13.7% | 40 23.8% | 21 12.5% | 17 10.1% | 15 8.9% | 22 13.1% | 15 8.9% | 1 0.6% | 10 6.0% | 168 |
| 女 | 47 19.9% | 105 44.5% | 65 27.5% | 48 20.3% | 98 41.5% | 24 10.2% | 47 19.9% | 28 11.9% | 28 11.9% | 28 11.9% | 21 8.9% | 16 6.8% | 5 2.1% | 15 6.4% | 236 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 100.0% | 1 |

【年齢別クロス】

(上段：度数、下段：比率)

| | 広報紙などを通して、市民への男女共同参画に関する意識啓発・PRを充実する | 男女がともに働きやすくなるよう保育施設や内容を充実する | 学校教育や生涯学習の中で、男女平等の教育の取組みをすすめる | 社会教育の分野で、男女平等の教育をすすめる | 企業や経営者に対し、育児・介護休業制度や男女平等に関する理解をすすめる | 女性の再就職やキャリアアップのための講座などを開設する | 市の政策や方針決定過程に女性を積極的に登用する | 行政機関などにおいて女性管理職の登用を積極的にすすめる | 配偶者からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制を充実させる | 男性を対象にした子育て講座や料理等の講座や相談窓口を充実する | 農業や商工業の分野で女性の待遇を向上させる | 国際感覚を養うための機会を充実させる | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|---------|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------|-----------|-------------|------|
| 全体 | 79 19.5% | 181 44.6% | 122 30.0% | 92 22.7% | 145 35.7% | 47 11.6% | 87 21.4% | 49 12.1% | 45 11.1% | 43 10.6% | 43 10.6% | 31 7.6% | 6 1.5% | 26 6.4% | 406 |
| 18歳～29歳 | 2 5.1% | 21 53.8% | 6 15.4% | 10 25.6% | 19 48.7% | 4 10.3% | 4 10.3% | 3 7.7% | 11 28.2% | 8 20.5% | 4 10.3% | 2 5.1% | 0 0.0% | 1 2.6% | 39 |
| 30歳～39歳 | 8 15.1% | 35 66.0% | 14 26.4% | 7 13.2% | 26 49.1% | 4 7.5% | 12 22.6% | 5 9.4% | 7 13.2% | 10 18.9% | 3 5.7% | 3 5.7% | 2 3.8% | 0 0.0% | 53 |
| 40歳～49歳 | 4 5.5% | 30 41.1% | 25 34.2% | 16 21.9% | 25 34.2% | 14 19.2% | 14 19.2% | 9 12.3% | 11 15.1% | 11 15.1% | 6 8.2% | 8 11.0% | 2 2.7% | 4 5.5% | 73 |
| 50歳～59歳 | 15 23.1% | 21 32.3% | 17 26.2% | 19 29.2% | 20 30.8% | 6 9.2% | 16 24.6% | 7 10.8% | 7 10.8% | 4 6.2% | 4 6.2% | 8 12.3% | 2 3.1% | 6 9.2% | 65 |
| 60歳～69歳 | 27 26.2% | 51 49.5% | 35 34.0% | 19 18.4% | 35 34.0% | 12 11.7% | 29 28.2% | 15 14.6% | 4 3.9% | 6 5.8% | 20 19.4% | 7 6.8% | 0 0.0% | 4 3.9% | 103 |
| 70歳以上 | 23 31.5% | 23 31.5% | 25 34.2% | 21 28.8% | 20 27.4% | 7 9.6% | 12 16.4% | 10 13.7% | 5 6.8% | 4 5.5% | 6 8.2% | 3 4.1% | 0 0.0% | 11 15.1% | 73 |
| 無回答 | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 |

最後に、男女の平等、男女共同参画社会の実現に向けて、何が必要だと感じますか。ご自由にお書きください。また、市へのご意見、ご要望、まちづくりのアイデアなどがありましたら是非お聞かせください。

男女平等意識について・・・・・・・・・・25件

- 1. ジェンダーギャップの順位が日本は低い。これを是正するためには一度女性優位にする必要があると考えます。曲がった金属を平らにするためには、反対側まで曲げることと同じです。2. 男女平等の意識醸成は必要だが、それよりも政策、法律、条例、ルール、決まり事として男女平等とし、取り組むことにより具現化できると考えます。平等を表す場合は数値が必要です。例えば、女性比率40%以上、何人以上など。 (男性、40歳~49歳)
- このアンケートに回答しているだけで男女って平等ではないのだと思いました。問13が男性の育児休暇や介護休暇についての質問なら同様に女性のそれも質問すべきですし、問15が女性の働き方について質問するなら同様に男性のそれも質問すべきです。質問しないことが差別されているような気がしてしまいました。大変失礼な意見だとは思いますが検討をお願いします。 (女性、40歳~49歳)
- まだまだ色々な場面、場所で男性が優位ですが、広報等育児・介護等など積極的な参加ができるような事を発信していただけたらと思います。 (女性、30歳~39歳)
- 家庭面では共同作業として平等に扱われるべきであるが、業務面では特に特殊業務では、平等に出来ない事もあることから、男女各々にしか出来ない業務はその性別がやるべきである。 (男性、60歳~69歳)
- 懐古主義の方々の説得。 (女性、20歳~29歳)
- 外で働けば給料がもらえるが、家事は無償。お休みもなし。男性の方がなぜか給料がいいので、男は外、女は内になってしまう。平等というが、大多数の人には無理だろう。やっぱり体格差もあるし、同じ仕事なら向き不向きあるが、それぞれ違った特性にあう仕事で同じように価値が認められれば、差はちぢむのではないだろうか。 (女性、50歳~59歳)
- 区別すべきところは区別するべきで、個人個人が好きなもので能力を発揮し結婚という概念を覆すような心地よい未来を何か模索して実現して行ってほしい。日本の情報資源で何とか乗り切ってほしいが、バランス感覚を養えばいいと思う。Love and piece。 (男性、30歳~39歳)
- 現状に於いて男女がそれほど不平等だとは思わない。社会進出については「家庭と仕事」の分担に於いて、従来は男性が仕事を分担し、女性が家庭を分担するケースが多く、男性の社会進出が多いのが目に着くのであって、女性が軽視されているとは思わない。其々の夫婦間で能力の適性に合わせて分担を決めれば良い。ただ、能力の有る女性が社会に進出出来る仕組みが必要とは考える。この事は能力の有る人が政治進出する場合でも同じで、進出出来る仕組みが必要である。つまり機会均等は男女平等だけに限った話では無い。平等を推進するならもっと広く考える必要があると考えます。 (男性、70歳以上)
- 市議会議員の女性の割合を増やす、男女やあらゆるジェンダーの平等な権利を保障する制度を整備する。 (女性、20歳~29歳)
- 女性の意見をよく聞く。おじさんだけで物事を決めない。歩道の草や車道(道の上)に出ている木を無くしてほしい。イメージが悪いし、危ない。 (男性、40歳~49歳)

- 上層部の年配男性の方の考え方が変わらない限り結局何言っても無駄なのかなって思っています。坂東市のイベント事とかもコロナの影響でできないのは分かりますが、近隣の境、水海道でもお祭りや音楽イベントを少しずつ開催して活気が戻ってきています。市長は本当に坂東市を活性化させたいと思っているとは全然思えません。正直、コロナ対策をしてマスクを付けてやっていてもこれだけの人数出ていますしもうこれだけやって出るのじゃないやっても無駄ですよ。ほんといい加減にしてほしいです。若い方に坂東市を変えて欲しいです。（女性、20歳～29歳）
- 世界との格差を自覚すること。（男性、60歳～69歳）
- 男女が等しく社会活動に参加できる市の継続した取り組み。（男性、60歳～69歳）
- 男女は平等ではない。女性は生理妊娠出産があります。家庭という小さな社会は女性の愛情という名の自己犠牲で成り立っている。それが当たり前だという世の中を変えなければ、もっと夫が、会社が、社会が、女性を支援しなければ、共同参画は出来ない。さらに少子化も止まらない。季節ごとに花畑をつくってほしい。ボランティアを募ってみんなで作る。（女性、60歳～69歳）
- 男女関係なく、他の人の人間性を認め、敬う気持ちを育て、周囲の人達の事を考えられる様な人が沢山いる坂東市になって欲しいです。（女性、70歳以上）
- 男女差別を無くすこと。（女性、18歳～19歳）
- 男女平等ですが、男性・女性の得意分野や物の見方など違いも含めて、互いに話し合い、認め合う事が出来たら良いと思います。女性の代表の人が増えたら良いと思います。（女性、30歳～39歳）
- 男女平等の社会基盤を構築することが大切だと思います。（男性、70歳以上）
- 男女平等参画社会の定義には共感します。が、男女の平等ということにこだわっている必要性は理解できず、「多様な生き方」が尊重されるという部分に対して、むしろ逆行の様に感じます。もちろん社会弱者は公的に守られるべきと、強く思いますが、その安心感を得られれば、もっと根本的な問題可決に繋がると思っています。本当に困ったら、役所が窓口になって、絶対守ってもらえる、助けてもらえると、信頼できる様な坂東市になったらいいですね。特に子供、若い世代、お母さん方への教育は不可欠と考えます。柔軟なので。自分と相手の自由意思を尊重し、自分への信頼が出来れば、男女平等参画社会に一步進めるのでは。信頼される大人を増やしたい。（女性、50歳～59歳）
- 男女平等等が少子化と地方過疎化の原因になってないだろうか。（男性、50歳～59歳）
- 男性とか女性とか関係なく、人間力があり、人望がある方が先頭に立って議論し、取り組みをする事が大切だと思います。（女性、50歳～59歳）
- 男性の家事への参加に対する考えは、年代別にはかなり差があると思うが、幼い頃からの家庭、社会への環境で、男女平等の意識を身につけていく事が、大切なのではと思います。（女性、60歳～69歳）
- 男性は～、女性は～、という考え方がまだまだ職場にも家庭にも残っているので、具体的な場面を通して、どんな言動や制度が不平等にあたるのかを啓発していく必要がある。女性の役職への登用についても、男女差をつけることに明確な理由がない場合は企業にペナルティをつけるなど、平等が当たり前という態度を行政側からも示してほしい。（女性、20歳～29歳）

■男性中心の今までの社会の考えを変える意識や啓発活動が大切です。今は市議会議員では女性は一人ですが市の条例で半々にするなど大胆な政策を全国に先駆けて行って頂きたいと思います。（男性、60歳～69歳）

■男尊女卑社会をまず認める。現状を知る。女性ではなく男性が。（女性、30歳～39歳）

家庭生活について・・・・・・・・・・8件

■私は70代です。昔のしきたり、嫁はこうあるべき、女はこうあるべきという時代を過ごしてきました。本当につらい人生でした。これからの人々には夫婦で話し合い協力して幸せになっていただきたいと思います。（女性、70歳以上）

■女が家事をするのはわかるけど、少し協力してほしい。待っている家族の人に言いたいです。（女性、50歳～59歳）

■女性と男性の意識の違いを変えてほしい。家の事も子育ての事も、仕事から帰ってきたら終わっていることの感謝をしてほしい。仕事をしているが、仕事より子育ての方が100倍大変だと理解するべき！！（女性、30歳～39歳）

■男女ともにお互いに話し合い、足りない所、できない所をおぎないあって、生活できる社会にしたいです。まずはこれからの世代の子供達が元気に生活できる環境をつくってほしいです。工場の誘致も結構ですが、地元の道路の整備や電気のない暗い道をなくすことも忘れないでください。（女性、60歳～69歳）

■男女の平等について、まず家庭の中から夫婦が共働きで、仕事を持っている女性には、夫の人が、家事、育児、清掃、洗濯などできる限り家事を協力していく事が現状の家庭において大切だと思います。自分が持っている価値観を大切にして、偏見にとられる事なく、男女の性別にもとられる事なく若い人々には活躍して行ってほしいです。（もちろん中高年の皆様にも）今は多様性の時代なので、一人一人価値観も違うので大変な事かと思えます。個人の好奇心（学ぼうとする心）も大切だと思います。多様性を理解して（お互いに）意識の啓発やPRの充実をしていったら良いかと思えます。それぞれの能力や個性を認め合い、得意な分野で力を発揮できる様な社会を願っています。（女性、60歳～69歳）

■父親が積極的に家事や子育てに参加するために、学校や保育園で父親対象の講義をやるべきだと思う。研修を聴くのが参加するのはほぼ母親のため、父親は無知すぎてなかなか理解してもらえない。文書にしても目を通さないと思う。（女性、30歳～39歳）

■平日がお休み（仕事）の家庭。土・日がお休み（仕事）の家庭さまだと思うので、平日、土・日・祝まんべんなく男性が参加しやすいような子育て講座や相談窓口があると良いと思います。このようなイベントがありますよ！という案内も同時に知らせられると良いですね。子育て世帯やスーパーなどの目に付く所にお知らせを貼る、配付する等をしていただくと気付きやすいと思います。欲を言えばお母さん（子育て中の母）が何かリフレッシュできるような機会や場もあると尚、良いと思います。（男性、30歳～39歳）

■例えば、料理をしてくれる…それは男女平等ではない。その前に食材を購入する。その前に何の食材が不足しているか、冷蔵庫になにがあってなにが不足しているか。そこからが料理。頼まれたことをやって協力している…ではない。個々が率先して言われる前に動く。それが大事。トイレでトイレットペーパーを補充するのではなく、そのペーパーがどれくらい在庫あって、お店で買わなくてはいけないか…を考えることが家事。体を動かす前に頭で考える。そこからがスタート。イエスマン、パシリではなく、能動的に動くことが大事。それが女性を穏やかにする。不満はいっぱい。少しくらい、手伝って、やってあげたつもりになるのは傲慢です。（女性、60歳～69歳）

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について・・・・・・・・・・5件

- イベント開催、パンフレットの配布、学校や職場、地域などで研修会実施。育児休暇を取りやすくしてほしい。働きやすい場所や環境づくりをしてほしい。（女性、40歳～49歳）
- 女性の活躍推進の為に男性の働き方暮らしの見直し男性中心型労働慣行を変革し、職場、地域、家庭のあらゆる面で施策を充実させていく事と思います。（男性、60歳～69歳）
- 消防団のボランティアは必要かもしれないが、その分、子どもとの時間が減る。休みの日に飲み会があったりすると（訓練など）その間妻が子どものことを1人でみないといけなくなる。負担をかけている気がしてしまう。そもそも地域に若い人がいないので少し大変です。（男性、30歳～39歳）
- 赤ちゃんが母親の方が好きなのはどうしようもない事。それを「男も育休取得。女も仕事。」と言うのは無理がある。完璧な男女平等は無理。男女共同参画社会の実現に向けて何が必要かと言われたら、完璧主義者のフェミニストに完璧は無理ですと説明する事。協力できる事ならもちろんする。完璧を求めないでください。（男性、40歳～49歳）
- 平等と子育てに専念できる社会環境づくりのため、問27の設問の多くが実行できるよう希望します。日本の将来のためぜひお願いします。（男性、70歳以上）

仕事について・・・・・・・・・・7件

- これは男の仕事と女が決めている。又は、これは女の仕事と男が決めている。これら、男女共考えを無くさないで。田舎だからね！（男性、60歳～69歳）
- 坂東市に住む女性は仕事に対する向上心が低い方が多いと思う、向上心が高い女性は坂東市を出て仕事などをする方が多いと思うので女性が坂東市の会社で上に立つ方が少ないのは仕方がない事かと思う（公務員等を除く）私の周りの方達を見て聞いて感じる意見なので一概には言えない。アイデアとしては公園等を増やして子供の遊べる環境をもう少し充実させてほしいと少し思う。（男性、20歳～29歳）

- 職業で女性の雇用が少ないから枠を儲けようとする働きが大きくなっていますが、女性だから雇用するのではなく、やりたい・なりたいという気持ちの強い方が男女平等に雇用されるべきだと思います。男女平等の今回の話題とは直接関係はないかもしれませんが、生理用ナプキンが消費税 10%の対象になったのは疑問に思います。必要なもので尚且つ必要な方が限られています。(女性) 高く使いまわしができないため長時間使い病気になる方がいると話を聞いたことがあります。女性に必要だけど男性に必要なもの、男性に必要だけど女性に必要なものを考えていくのも平等の観点に関係すると思います。(女性、20歳~29歳)
- 男女の給料の格差をなくし、女性が社会各分野で活躍できるようになってほしい。(男性、70歳以上)
- 男女の差別を無くす事は大切な事だと思うが、女性だからという理由で公的機関や企業の要職に就けるといのはおかしいと思う。あくまでも性別は関係無く個人の能力を尊重し、その結果として男女比率に差が出るのはやむを得ないと思う。また、差別と区別は違うという事を理解しなければいけない。生物学的にも男女では身体の作りなどに差があり、向き不向きがはっきりと表れる分野もある。上述の通り性別は関係無く個人の資質や能力が尊重される事が大切である。しかしながら、結果とは別に【機会】は男女平等に与えられるべきであり、その面で差がある企業はまだ多数派なのではないかと思う。(男性、30歳~39歳)
- 男女の賃金格差をなくす。歩道など道路の雑草があまりに多く、自転車や歩行者などの通行のさまたげになっている。(坂東インター付近) (男性、40歳~49歳)
- 当地のグリーンランドの自治会や七郷小学校でも女性が区長、校長となっております。小学校の校長先生が女性となり、最初は初めてで珍しく感じました。週1・2回程学童と歩いています(サポートしている)。いつも校門前で麻校長が迎えてくれます。子どもたちも「お母さん先生」という感じであいさつします。大人の私自身もほっとする…安堵感を覚えます。校長先生、教頭先生は女性と男性が交代で担っても悪くないなとこの頃考えています。(女性、70歳以上)

学校教育について・・・・・・・・・・5件

- 1. 男性の意識が変わるような教育を(子どもの頃から)する。2. 女性ももっと強くなれるような教育をする。(女性が弱すぎるから) (男性、60歳~69歳)
- 学校教育でしっかり教えるのが一番良いと思います。(男性、40歳~49歳)
- 基本的な人間教育を学校・社会・コミュニティで行う事で、特別ではなく人を思いやる社会の形成を目指す。(男性、50歳~59歳)

■子どもの考え方、価値観は大人による影響が大きいと思います。坂東市は田舎だし、高齢者も多いので、ジェンダーや男女平等の考え方を変えていくのは難しいと思いますが、まずは学校での教師～親の考え方を改められるように関わっていくこと、教育していくことが大切だと思います。私自身、学生時代、性について嫌な思いをしたことがあります。性教育をきちんと小学校からしてください。男女別で教えた方がきちんと聞くと聞きます。また、教師の中には、どうせみんな知っているからと性教育をきちんとしない人がいました。友人にはどうしたら子どもができるのか知らない人もいました。(高校時代) 実際子どもみたいな自分たちから学びます。正しくない知識を。きちんと教えてあげるよう教育してください。(女性、20歳～29歳)

■私は退職者であり、今現在の子供達の生活ぶりをみて、私達70代の子育ての時とは全く別の生活であり、出費(ケータイ、子供の習い事等)も重く、大変な時代だと思います。益々男女(夫婦)が協力し合い、共稼ぎでの生活が当然の世の中だと思うので、男女平等の教育を小さい頃から教えていくべきと切に思います。(女性、70歳以上)

■男女平等の意識の醸成は、幼少期からの教育が必要かと思えます。(男性、40歳～49歳)

■男女平等の教育と理解。(男性、50歳～59歳)

男女の人権について・・・・・・・・・・2件

■男性の姓を名のるのが当たり前みたいな時点でおかしいと思います。男性の家へ入るなど、男性の実家優先など、田舎は特にあります。そういうのも男性が上みたいな感じ。(女性、40歳～49歳)

■年長者、会社上司等のアンコンシャス・バイアスを変えるような取組が必要と思えます。(男性、30歳～39歳)

その他・・・・・・・・・・29件

■①以前から個人宅などで有害ごみなどを燃やした匂いに悩まされています。ゴミの出し方や個人宅でのごみ焼却炉等の使い方の指導をしてほしい。②外国籍の方が指定外の曜日にごみを出してしまうため、指定日に出したごみを持って行ってもらえず困っています。日本語以外のごみの出し方ポスター等は作成しているのでしょうか。(女性、50歳～59歳)

■ペットの飼い方ができていない人が結構多いかな?と思えます。身近にねこ40匹くらいいるらしい家があります。きちんとした飼い方ができていないようで、近くのごみ集積所を荒らして非常に困っています。数年前は10匹くらいと聞いていたので、どんどん増えているようです。その他犬のフンの処理もしない方が多くなってきているようです。対策はないのでしょうか?(女性、60歳～69歳)

■またコロナが増えてきているので行事の開催についてよく考えてほしい。(無理に行わない)外国籍の方が増えており、正直不安に感じることがあります。(女性、20歳～29歳)

■猿島地区の街頭が少なく危険に思えます。(男性、60歳～69歳)

- 家庭がある・ないに関わらず、坂東市民として医療・福祉に力を入れてほしいと思います。全員が共通して関わる事だからです。他の市町村の良い所をどんどん取り入れて、“守り”ではなく、“攻め”の姿勢で取り組むところを見たいです。例えば、高校生まで医療費無料、給食費・学童費の補助など一例ですが、こういったところに力を入れていただくと、大人が社会で活躍しやすい環境になり、その子供達が次の時代をより良いものに築き上げてくれるのではないのでしょうか。”今の大人”に対してではなく、子供達へ投資することで自然と「男女の平等」というものが、見えてくるのではないかと考えます。（女性、30歳～39歳）
- 街の中心地に坂東市の資料館をぜひとも作ってほしいです。ほかの地域では、どんな小さな町でもあります。新しく作るのは大変なので空き家を利用したらいいと思います。たとえば秀緑の前の春若前の建物を利用しないのはとてももったいないと思います。（女性、60歳～69歳）
- 学校内の部活などもスポーツ選択の格差がある。子どもが習うことに対して坂東市は他と比べて大きく劣っていると思う、狭い選択肢が狭い視野を生むことになると思いますスポーツジムやヨガ教室、とりあえず老人に向けたプールなどではなく競技を行える25m以上のプールなどテニススクールなど拡充すべきだと思います男の子も女の子も色々なスポーツを選べる魅力ある市になって行って欲しいです。（男性、40歳～49歳）
- 古い考えと悪しき習慣を無くし、新しいセンスのある人間の意見をどんどん聞いてほしい…。例えば、クリスマスのイルミネーション。せっかくお金をかけても美しくない…やらなくて良いのでは…。（女性、50歳～59歳）
- 娯楽施設、スポーツジム等がない。交通が不便、駅を作ってほしい。老後、低賃金で入れるホーム。（女性、70歳以上）
- 公共交通機関の不自由さがある立地で、少子高齢化が進んでいるので、周辺の自治体に負けないくらい若い世代へ投資していかないと未来がないと思う。また、医療機関も脆弱な地域だと感じている。（女性、30歳～39歳）
- 行政トップの覚悟。（男性、60歳～69歳）
- 国、地方の制度の見直しが必要。〈市への意見、要望〉・市政の見える化・少子化対策の充実・市の特産物（野菜）を扱う。「道の駅」開設（男性、50歳～59歳）
- 坂東市の取り組みが若者に情報がほとんど届いていないので、情報発信の方法を考え直すべきです。また、政治や社会に興味のない多くの若者は取組に参加せず、お年寄りの方中心で取り組みが行われているので、興味のない若者をどのように参加させるべきか方法を考えるべきです。（女性、18歳～19歳）
- 私は弟（実の）が障害者と告げられてからも、別に居ますがずっと面倒をみています。市役所様にはいつも手続きでお世話になっていますが、特に介護福祉課、年金課など、人によって対応の仕方は様々、時々感じがあまり良くない人もいて、以前口調の凄い人にも会いました。全員の人がそうだとは言いません。対応には気をつけてほしい。市民の為の市役所なので。 （女性、60歳～69歳）
- 若い坂東市民が世間を知るイベントをしてもらいたいです。（男性、40歳～49歳）
- 水害の避難所が遠く、歩いて避難することが難しいです。歩いて行ける範囲に避難所がほしいです。（女性、50歳～59歳）
- 生きがいを見いだせる街ー坂東市をめざしてがんばろう！！（男性、70歳以上）

- 先進的な取り組みを実践している市町村区のアイデアを参考にすることも、1つの方法だと思います。坂東市が、男女ともに安心して暮らせる市となるよう、よろしくお願い致します。
(女性、50歳～59歳)
- 託児所のある企業などが少なく感じる空き家などリフォームし、子育て世代の方々が共同で使える施設など。ドッグカフェとかコンセプトカフェも設置してほしい。八坂公園の恐竜の劣化がひどいので修理希望。(男性、40歳～49歳)
- 町中や公園などの冬場のイルミネーションなど、税金のかかる事をやめて、子供の為になる事に税金を使ってほしい。(男性、40歳～49歳)
- 超高齢社会となりつつあるので、介護のための研修を受けたい。(女性、70歳以上)
- 鉄道の誘致に真剣に取りくむと共に、しっかりとインフラの整備を考え、車に乗らなくても生活できる市にしてほしい。(女性、40歳～49歳)
- 道路のセンターライン及び、車道外側線が消えている所が何ヶ所もあり、とても危険です。子供達の安全を守って下さい。ラインを塗り直すだけで、車の事故は確実に減ります。(特にひどいのは、ベルフォーレから岩井野田線小山への道路です。ライブラインもセンターラインも消えています)(女性、40歳～49歳)
- 日常生活における「相手を思いやる心」「個性尊重の考え」そして「適材適所」が基盤になると考えます。(女性、60歳～69歳)
- 農業で外にいることが多く、夕方の時間に(5時頃)チャイムや時報の知らせがあると嬉しいです。(女性、70歳以上)
- 表面上の制定などより、現状の細かい所に目を向けないと、何も変わらない。(男性、40歳～49歳)
- 平等という言葉にとらえられすぎない柔軟な考え方。(男性、40歳～49歳)
- 保育園で公には土曜保育をやっているアピールをしているのに、実際は半日しかやっていない。1か月も前に申請しないと受け入れてもらえない等がある。半日といっても、9:30-11:30で、わずか2時間の保育で働ける人っているのかな、と昔から疑問。交通機関が整っていないために高校の送り迎え(雨など特に)に自家用車が必要で困る。バスを充実させてほしい。(子供の学校選びにも制限がかかっており、教育という点でもデメリット)(男性、40歳～49歳)
- 保育施設・介護施設を利用しやすいように。(女性、70歳以上)

坂東市
男女共同参画に関する住民意識調査報告書

令和4年9月

坂東市 企画部市民協働課

〒360-0692 茨城県坂東市岩井 4365 番地

TEL：(0297) 21-2183 (直通)

FAX：(0297) 35-8201
